

共用試験委員会

-平成 24 年度 共用試験実施に向けた作業の進捗状況について-

共用試験員委員会

委員長 高井伸二

1. 共用試験委員会 活動報告（議事録） (資料 1)

2. vetCBT 問題内容検討部会（杉山 誠）
 - 1) vetCBT 問題内容検討部会委員一覧 (資料 2-1)
 - 2) vetCBT 問題精選システム説明会 (資料 2-2)
 - 3) CBT 問題精選プログラムマニュアル Ver61 (資料 3)
 - 4) vetCBT 問題精選修正マニュアル v2.1 (資料 4)
 - 5) CBT 問題精選プログラム説明プレゼン資料 (資料 5)
 - 6) vetCBT 問題精選修正作業 v22 プレゼン (資料 6)

3. vetOSCE 準備小委員会（北川 均）
 - 1) OSCE 実施案 幹事会報告 (資料 7)
 - 2) シミュレーター委員会開催報告 (資料 8)
 - 3) 子牛シミュレーターK1 農水 (資料 9-1)
 - 4) 犬シミュレーター (資料 9-2)

4. 獣医学共用試験 CBT システムの開発状況（遠藤 大二） (資料 10)

5. 広報小委員会（澁谷 泉）

6. 科研費基盤研(A) 活動報告 アンケート調査の実施(中間報告) (資料 11)

7. その他

資料 1

平成 24 年度 獣医学共用試験委員会・議事録 第 1-3 回

第 1 回

- 1 日時 平成 24 年 4 月 20 日 (金) 10:00～15:15
- 2 場所 東京大学農学部
- 3 委員
酪農学園大学：山下和人教授
北里大学：高井伸二教授
日本獣医生命科学大学：鷺巣月見教授 (欠席)
酪農学園大学 遠藤大二教授 (欠席)
鳥取大学 澁谷 泉教授
オプザバー (株)ジンジャーアップ 松本博希氏 (開発部グループリーダー)
岐阜大学：北川均教授
岐阜大学：杉山誠教授
麻布大学：浅井史敏教授 (欠席)
東京大学：尾崎博教授
東京大学：杉浦教授

4. 議題

各委員会の今後の進め方について

1) 獣医学共用試験委員会

共用試験委員会の構成について検討し、各小委員会の正副責任者に入って頂き、以下の 14 名で構成することとした。

- 共用試験委員会：高井・杉山
- 大学代表者会議：尾崎
- vetCBT 小委員会：(杉山)・稲葉・杉浦
- vetCBT 問題 F M 委員会：浅井・遠藤
- vetOSCE 準備委員会：北川・鷺巣
- トライアル実施委員会：(高井)・山下・望月
- 広報委員会：澁谷・(遠藤)・堀・北村 合計 14 名

(1) 科研費交付申請完了の説明があった(資料 1：交付申請書)

(2) 基盤研究(A)の平成 24 年度実施計画に関する確認と検討

平成 24 年度計画について、進捗状況と今後の対応について説明があった。

① 共用試験準備委員会の立ち上げ

獣医学共用試験委員会として平成 24 年 3 月 26 日の全国協議会において承認(資料 2 1-体制図、2-委員会機能と構成)

② 全獣医学系教員の意識調査(アンケート)(資料 3：看護の報告書)

山下先生に看護の報告書を参考に叩き台を作成して頂くこととした。

③ 医学・歯学共用試験並びに薬学共用試験に関する調査と情報収集：

第 6 回獣医学教育改革シンポジウム(獣医学会・岩手)が橋本先生の企画で計画されている(資料 8 第 6 回シンポジウム案)

④ 獣医学共用試験の問題作成

既に設置された小委員会で検討することとした。

- 1) CBT 問題作成マニュアルの作成
- 2) CBT 問題作成依頼
- 3) CBT 問題のブラッシュアップ
- 4) CBT 問題の等価性に関する検討
- 5) CBT 問題の新規派生問題の作成
- 6) OSCE 問題の作成

2) 共用試験実施に向けての課題

(1) 今後のスケジュール

スケジュール案(資料 9)に沿って、1 年間の流れについて検討し、一部修正の上、これを承認した(添付修正案 2)。

(1) 共用試験の検証システムの導入：杉浦先生に担当して頂く

(2) 共用試験実施概要の作成(平成 25 年度トライアルに向けて)

トライアル実施委員会において、共用試験実施概要を 9 月開催予定の全国大学獣医学関係代表者会議までに取りまとめることとした。同委員会では、共用試験の第 1 回トライアルの実施時期・実施環境についても、東大等を候補に実施することで検討をすすめることとした。

(3) 大学からの共用試験に参加する意志の確認

文科省の調査協力者会議の提言及び全国大学獣医学関係代表者会議の動向より、共用試験については獣医系大学の総意として実施する方向で進んでいることから、問題作成等にあたり各大学に対し特別な参加意志確認を行わないこととした。なお、共用試験関連の機構設立の際には意志確認が必要で

資料1

あることが確認された。

(4) 共用試験に関わる規則の制度化

結果の取扱い、不正防止策、罰則規定等について尾崎先生が担当し案作りを進めることとした。

(5) 獣医学共用試験機構の設置(尾崎先生が担当して案作りを進める)

(6) その他

具体的な問題について、医学機構・福田先生を訪問し、見学とレクチャーを受けることが提案された。小委員会で質問事項を纏め、6月中旬以降を目処に日程調整をすることとした。

3) 小委員会からの報告と今後の進め方について

① vetCBT 小委員会 杉山(岐阜大)・稲葉(北大)・杉浦(東大)

資料を使って、問題生鮮作業工程についての説明があり、詳細を検討した。

資料4-1CBT 問題精選作業工程図-全体像案

資料4-2CBT 問題精選作業工程図-評価結果の取扱い案

資料4-3CBT 問題精選作業工程図-画面イメージ案

資料4-4CBT 問題精選作業工程図-工程具体案

②vetCBT 問題内容検討部会 杉山(岐阜大)・稲葉(北大)

③vetCBT 問題フォーマット・マニュアル(FM) 小委員会 浅井(麻布大)・遠藤(酪農大)

4つの資料について検討した。これについては、16大学代表者から、各大学において説明を頂くこととした。

資料5-1 CBTの機密性に関する取り扱い

資料5-2 獣医学共用試験とは

資料5-3 CBT 問題作成マニュアル

資料5-4 CBT 問題作成例 120406

④vetOSCE 準備小委員会 北川(岐阜大)・鷲巢(日獣大)

北川先生から、これまでに実施された2回の委員会で検討された事項について説明があった。

現在、担当を決めて、それぞれの項目について検討しているとのこと。

資料6-1 第1回 vetOSCE 準備委員会議事録案

資料6-2 第2回 vetOSCE 準備委員会議事録案

⑤トライアル実施小委員会 高井(北里大)副・山下(酪農大)

⑥広報小委員会 澁谷(鳥取大)副・遠藤(酪農大)副・堀(東大)北村(鳥取大)

資料7. 共用試験 HP

澁谷先生から、立ち上げたHPについて、機構の名称は、vet-CAT(common achievement test)とすること等の説明があった。今回の会議の議事録、資料についても、今後HPにアップして保存することとなった。

4) その他

(1) 次回の会議予定:6月中旬を予定することとした。

(2) 16大学の代表者に、大学代表者会議の委員2名の再確認と資料10CBT入力者登録票を配布し、5月中に各大学における全教員の登録者リストの作成を依頼することとした。

(3) 本日の会議資料について、纏まり次第、16大学代表者会議の委員に配付することとした。

(4) vetOSCE 準備小委員会より第154回日本獣医学会における関連シンポジウムでvetOSCEに関する説明を行うとの紹介があった。vetCBT試験についても説明する必要があるのではないかとの意見が出され、委員長とシンポジウム責任者の橋本教授(北大)との間で調整を図ることとした。

以上。

資料 1

第 2 回

日 時：平成 24 年 8 月 14 日（火）13:00～19:00

場 所：東京大学農学部 3 号館 105 号室（会議室）

出席者：

酪農学園大学：山下和人教授

北海道大学：稲葉睦教授

北里大学：高井伸二教授

岐阜大学：北川均教授

岐阜大学：杉山誠教授

酪農学園大学：遠藤大二教授

麻布大学：浅井史敏教授

東京大学：尾崎博教授

東京大学：杉浦教授

オブザーバー（株）ジンジャーアップ 松本博希氏（開発部グループリーダー）

報告事項

○交通事情（大雨のため、東海道新幹線が運転見合わせ）で委員の到着が遅れ、出席予定者 9 名全員が揃ってから、30 分遅れで会議を開始した。

○まず、ジンジャーアップ・松本さんに関連する問題精選システムに関する意見交換とお願いをした。来週水曜日（8 月 22 日）頃までに、精選システムが運用可能となるように、松本さんをお願いした。

○第 1 回獣医学共用委員会議事録（資料 1）を承認した。

審議事項

1. 獣医学共用試験の基本的考え方の確認（資料 2）

資料 2-1：共用試験制度に関する基本的な考え方について確認した。

資料 2-2：共用試験 Q&A 共用試験の理解醸成のために、Q&A を作成する。杉山先生に作成をお願いした。

資料 2-3：共用試験について（池本・日獣大学長）の考え方の紹介があった。

資料 2-4：農水省：獣医師法 17 条の適用について（臨床実習整備に関する報告書平成 22 年 6 月：獣医事審議会計画部会）抜粋

資料 2-5：中央教育審議会大学部会（第 108 回）大学教育部会（第 20 回）平成 24 年 7 月 24 日開催において、専門教育課・内藤課長から、獣医学教育における質保証の取り組みに関する説明があった。その中で、モデルコアカリキュラムの策定による教育内容・方法の改善促進、大学間連携による教育体制の充実、第三者評価・参加型実習前の学生評価に共用試験の導入について説明があったとの報告。

○共用試験に関する理解醸成と啓蒙のために、基本的な考え方について、資料整備をし、HP にアップして、獣医学教育関係者のみならず、今後、参加型実習教育を支える現場獣医師に対しても分かりやすい広報の材料とすることとした。

2. 平成 24 年度（秋）全国大学獣医学関係代表者協議会

平成 24 年 9 月 13 日の全国協議会において、共用試験委員会幹事会の今回検討中の資料を取り纏めて報告する予定。最初に高井が説明するが、小委員会の経過報告・審議事項については各責任者（杉山・浅井・北川・高井・渋谷）が説明することとした（13 日午前 10 時の会議出席）。

3. 各会議・委員会の経過報告

1) 共用試験委員会、獣医学共用試験大学代表者会議（資料 3）

○資料 3-1：大学代表者の変更（各大学・私大協からの変更依頼）

東大：尾崎先生→桑原先生

日大：鎌田先生・上地先生→上地先生・森友先生・松本先生

北里大：高井先生→宝達先生

麻布大：浅井先生・藤井先生→土屋先生・村上先生

○資料 3-1：vet-CBT 小委員会に遠藤先生（酪農大）の追加

○資料 3-1：臨床分野 B 責任者を望月先生（東大）から山下先生（酪農大）に変更

○資料 3-2：共用試験関連組織名簿も資料 3-1 に沿って変更

○vet-CBT 問題フォーマットマニュアル小委員会の IT 関連実務者（16 大学）とトライアル実施小委員会の実務委員（16 大学）を同じとすることについて話題提供があり、今後検討することとした。

2) vetCBT 問題 FM 小委員会（資料 4）

責任者・浅井先生から、第一回問題作成作業の結果の報告があり、7720 題作成御礼された。

大学別・科目別出題数の詳細データもあるが、次回以降の依頼材料とすることとした。

3) vetCBT 小委員会（資料 5）

責任者・杉山先生から、vet-CBT 問題内容部会委員（資料 5）を用いて、準備状況の説明があった。臨床 B の準備状況が止まっており、責任者の望月先生に再三の依頼をしているが動く気配がないので、担当の交代について検討した。責任者を望月先生（東大）から山下先生（酪農大）に交代し、望月先生は副責任者となることとした。責任者交代については、杉山先生・尾崎先生か

資料 1

ら望月先生に連絡して頂く。

山下先生には、早急に、科目副責任者と連絡を取り、埋まっていない科目委員を決めて頂くこととした。

4) vetOSCE 準備小委員会 (当日配布)

責任者・北川先生から、これまでの経過報告が資料を用いて説明された。小委員会は 4 月から 2 回開催し、メール会議で随時検討しているとのこと。

5) トライアル実施小委員会 資料・アンケート調査

責任者・高井から、これまでの経過報告があった。本委員会は、各大学から IT 環境整備の委員をお願いする予定であるが、浅井小委員会の委員ともダブっており、それについて今後検討することとした。

本委員会では、科研費の本年度事業計画となっている共用試験アンケート調査を担当しており、その原案が提示された。4 月の段階では看護のアンケート調査を下敷きに考えたが、すでに、CBT 問題作成に至っており、アンケート内容もそれに沿って追加修正する必要があり、小委員会での追加検討を依頼した。

6) 広報小委員会

責任者渋谷先生が欠席のため、杉山先生がこれまでの概要を説明された。HP が立ち上がったので、HP のコンテンツの充実を図ることとした。

7) コアカリ委員会 (資料あり 尾崎先生 3-8)

共通テキスト編集時に生じるコアカリマイナーチェンジの要望について

共通テキスト編集作業中に、1) 到達目標の順番の変更、2) 文言の修正、3) 到達目標の追加の要望があり、1) と 2) は了承。3) の追加は認められないが、コアではないとの注釈を入れて、教科書に記述することは可。

4. 今後の検討事項

1) 獣医学共用試験

a. トライアル及び本試験実施までのスケジュール (資料 6)

資料 6-1: 共用試験本格実施までのスケジュール計画案

資料 6-2: 共用試験スケジュール計画案

二つの資料に沿って杉山先生から、問題作成・トライアルの説明があった。

b. 運営体制の確立 (機構の設立) (尾崎先生: 資料 4-1-b)

杉浦先生から、平成 28 年 3 月 (平成 27 年度) に一般社団法人として評価機構を立ち上げ、次のステップで、文科省・公益法人へと変更を予定しているとの説明があった。

初年度予算額 (資料 4-1-b) について説明があった。

c. 大学負担金及び受験料の設定 (資料 7-1)

学生受験料は 2 万円を切ることなどの依頼があり、1.8 万円とした。案の中で学会費は 20 万から 50 万円とすることで、収入額の確保することなどを議論した。事業費などで不透明な点もあり、今後の検討課題とした。

d. 実施環境の整備 (トライアル及び本試験、サーバ、端末等) (資料 8)

資料 8-1 (尾崎先生 4-2-b): CBT 実施に伴う設備・装置の比較

遠藤先生から、CBT 実施に伴う設備・装置の比較表の説明があった。専用 PC 室、ノート型 PC、タブレット型 PC の 3 種の比較があり、総合的にはタブレット型 PC (iPad など) が価格、セキュリティ、波及効果などの面から優れており、これを利用することを決定した。

資料 8-2 (パワーポイントファイル: 低コスト高安定性の実施形態の提案) の説明

遠藤先生から解説があった。

資料 8-3 (大阪府大からの問い合わせ): 遠藤先生 (杉山先生・尾崎先生) を PC 環境に関する問い合わせの担当者とした。

e. 実施日程及び追試験制度 (資料 9)

実施日程は 4 年後期末を想定しているが、詳細な実施日程については、16 大学の全国協議会で調整する必要がある。

f. 試験結果の取扱い (判定基準等)

各大学の検討事項であるが、CBT 試験は 60%以上、OSCE は 4 段階で D 評価があれば不合格、C 評価が半数以上でも不合格とすることを提案することとした。

g. その他

2) vetCBT (当日配布)

a. 第 3 回トライアル試験までのスケジュール

資料 1

杉山先生から当日配布資料を用いてスケジュール案の説明があった。

- b. 問題精選システムの確立
遠藤先生から、問題精選システムの説明があり、ジンジャーアップの松本さんにこれからの予定についての要望があった。システムが 22 日（水）以降に動くようお願いした。（当日提示）
- c. 問題出題システムの確立（遠藤）
- d. 問題検証システムの確立（尾崎先生 資料 4-1）-f)
杉浦先生から、項目反応理論を用いた共用試験 CBT に関する説明があった。
トライアルの回数、学生数、出題数などについて話題提供があった。出題は医学部ではランダム方式であるが、獣医学では問題評価の点からも難しく、薬学のような問題をセットで準備することが良いであろうとなった。精度についても、1 問あたりの回答者数が少ないので、医学部のようにはならないであろうことが予想された。
- e. 試験実施の具体的方法（問題数、試験時間等）
300 問で 6 時間の試験ということとした。
- f. 問題データの維持管理（遠藤）
遠藤先生から、第一回問題についても、別のソフト会社に依頼し、CBT 問題データの維持管理を行った旨の報告があった。
- h. 各トライアル試験（vetCBT）の目的及び実施方法
今回提案されたスケジュール案に沿って実施することで、準備に入ることとした。
- i. コアカリ改訂への対応
コアカリ教科書からの要望書のところでも検討したが、4 年後の改訂に向けて、検討することとした。
- i. その他

3) vetOSCE 試験

（当日配布）

- a. 具体的内容
責任者の北川先生から、これまでに小委員会で検討された具体的な内容について配布資料をもとにして、説明があった。医療面接を核として、5 つのステーションでの試験を検討している報告に対して、実施可能な範囲に縮小すべきではとの意見が交わされた。
内容については、今後もさらに小委員会での検討をお願いした。
- c. 科学研究費申請
OSCE を実施するためには、各種シミュレーターの開発が不可欠であり、この費用は科研費などを利用したいとの提案があった。これに対して、科研費に相応しい内容かとの疑問符もあったが、さらに、文科省、私大協、あらゆる方策を検討することとした。科研費の場合は、遅くとも、9 月の代表者会議でお願いする必要があるので、早急に結論づけることとした。
科研費・基盤研究 B 獣医学臨床教育用スキルズラボの開発に関する研究
- d. トライアル試験と必要な環境整備
トライアル小委員会での報告で済み（継続検討）
- e. 各大学の環境整備
タブレット型 PC での実施に向けた情報収集を図ることとした。
- e. その他

4) その他

9 月 13 日の全国協議会での資料とするように、早急に、対応することとして、第二回幹事会を終了した。

以上。

資料 1

第 3 回

- 1 日 時 平成 24 年 12 月 24 日 (月) 13:00~17:20
2 場 所 東京大学農学部 3 号館 獣医薬理学研究室・尾崎教授室
3 委員

北海道大学：稲葉 睦教授 鳥取大学：澁谷 泉教授 雪で飛行機欠航
岐阜大学：北川 均教授 岐阜大学：杉山 誠教授
酪農学園大学：遠藤 大二教授 酪農学園大学：山下 和人教授
麻布大学：浅井 史敏教授 北里大学：高井 伸二
東京大学：尾崎 博教授 東京大学：杉浦 教授
北里大学：吉川 泰弘教授

4. 議題

1) 獣医学共用試験委員会小委員会からのこれまでの経過報告

○ 共用試験委員会：高井 アンケート調査の実施 500 名以上の回答があり、現在、データ集計中である。
○ 大学代表者会議：尾崎 16 大学が参加することとなった。16 大学が共用試験に参加する旨を会長名で通知することとした。

○ vetCBT 小委員会：杉山・・別紙を用いて、現状の問題点の説明があった。結論として、現在のソフト制作会社の精選ソフトには根本的な問題があり、これ以上の改善が望めないため、開発中止とすることとした。(精選システムの開発の現状と対応案)

ソフト作成費について：昨年度の口蹄疫事業で共用試験問題ソフトの開発として 300 万円程が、支払われており、それによって問題作成ソフト並びに精選ソフトの開発が継続されていた。問題作成ソフトは完成し、当初も目的が達成されたが、精選ソフト開発についても昨年度予算で執行されていたが、これ以上の進展が望めないため、中止とすることとした。昨年度についても契約書を取り交わしておらず、尾崎先生から社長宛に文書で、精選ソフトの開発中止の旨を伝えて頂くこととした。

本科研費では、これまでの問題作成ソフトと問題精選ソフトの開発は関係なしというスタンスであることを確認した。

○vetCBT 問題 FM 委員会：浅井

当初の目的を達成した旨と、本委員会の今後の位置づけについての質問が出され、CBT 問題小委員会中で、IT 環境担当：遠藤先生、マニュアル担当：浅井先生、問題評価：杉浦先生というように、それぞれの役割分担を明確にすることとし、次回の協議会までに組織図を改訂することとした。

○ vetOSCE 準備委員会：北川

各大学の OSCE 担当者のご紹介があった。

実施要領案について詳細説明があり、試験内容が 10 年後の完成形とでも言うべき、直ぐに実施するには難易度の高いものであるとの指摘があった。3 段階位に、順を追って実施することが多くの賛同が得られるであろうが、現時点で、5 つのステーションでの試験を必須として実施にはハードルが高いとの点で、意見が一致した。

○トライアル実施委員会：山下・・・次年度からの検討事項

○広報委員会：澁谷 (雪の為、飛行機が欠航し、欠席) 共用試験 Web ページの維持・管理、並びに「共用試験 Q/A」と「組織図」に関する情報更新を行った。

2) CBT 問題精選のシステムに関する検討

△次年度以降の「問題作成」「問題精選」「出題」「問題評価」に関するソフト開発については、Version2 という会社に依頼する方針で、遠藤先生に仕様書などの詳細を詰めて頂くこととした。

3) 平成 25 年度のトライアルについて

(1) トライアルに用いるソフト・ハード

△16 大学に IT 環境に関するアンケート調査を実施し、早急にパソコン室などの状況を調べることとした (遠藤先生に依頼)。

△トライアルは 4 年後であり、現時点で、利用するデバイスを決定するのは時期尚早。現時点では、トライアルを実施し、どのような環境が良いかを含めて検討することが必要。

(2) トライアルの時期と参加校

△ トライアル参加校については、CBT 小委員会主導型で依頼することとした。

4) 基盤研究(A) 平成 25 年度の計画に関する検討

(1) 平成 24 年度の実績報告書・・収支簿 (別添) 450 万円余があり、今後、CBT 小委員会、OSCE

資料 1

小委員会での旅費の利用予定額、ソフト開発費用などの概算を早急に出して頂き、調整することとした。

(2) 平成 25 年度の継続申請書：予算の割り振りと機器について

次年度計画については、平成 25 年 3 月末頃までに、必要機器などの優先順位を決めて、予算計上することとした。

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	総計
申請額	1150 万円	17919 万円	20195 万円	49614 万円
配分額	850 万円(74%)	1326 万円？	1494 万円？	3670 万円？

備品と消耗品

	平成 25 年度	平成 26 年度	総計
申請額：備品	55 万円(サーバ 2 台)	83 万円 (サーバ 3 台)	138 万円
申請額：消耗品	387 万円 (ソフトライセンス代)	387 万円 (ソフトライセンス代)	774 万円
合計	442 万円→327 万？	470 万円→348 万？	912 万円

以上。

アンケート調査の御礼

下記のアンケート調査を平成 24 年 11 月～12 月に実施し、512 名からの回答がありました。厚く御礼申し上げます。

この調査結果については、科研費報告書に取り纏めますが、本日は、グラフ化できた概要を配付させていただきます。

平成 24 年度 科学研究費助成事業 科学研究費補助金 基盤研究 (A)
「参加型臨床実習生の質の確保のための獣医学共用試験の開発的研究」
研究者代表 吉川 泰弘

参加型臨床実習における実習学生の質確保を目的とした獣医学共用試験 (vet-CAT) の
開発研究のためのアンケート調査

資料 10

獣医学共用試験 CBT システム開発について (遠藤 大二)

獣医学共用試験 CBT システムの構成

問題収集システム: 全国の先生方から問題を収集して安全に保管する。

問題精選システム: 収集された問題を各科目の委員の先生方が精査して、実施用の問題を選択・修正する。

(出題問題の選定): CBT に用いる 300 問を何セットか選定する。システムとして運用するか、担当委員が集まって選ぶかについては未定。

CBT 実施システム: 精選され、出題セットになった問題を出題し、学生に回答させる。続けて採点をし、必要な情報を CBT 委員会に提出する。

開発状況

1. **問題収集システム:** 第 1 バージョンが完成、2012 年度に収集実施。2013 年度には 2012 年度精選過程の状況や委員からの要望を勘案して改訂予定。2014 年度には、安定版として完成予定。
2. **問題精選システム:** 第 1 バージョンが完成、2012 年度に運用中。全国の説明会等で種々の意見・要望が出たため、2013 年度に改訂予定。2015 年度までには、安定版とする。
3. **出題問題の選定:** トライアルを通じて、方法を検討予定。現在、未着手。
4. **CBT 実施システム:** 2012 年度に独自開発および e ラーニング方式双方の試作品が完成。内部的な試験運用を実施。2013 年度前半にいずれかの方式で(下記)、トライアル用システムを完成予定。2014 年 2 月には限定された大学でトライアル実施予定。

直近の検討事項

4 の CBT 実施システムについて、

- 1) 各大学がコアカリキュラム教育を充実させるために整備する e ラーニングを活用する方式(e ラーニング転用方式)
- 2) CBT システムは通常教育と全く切り離して開発する方式(独自開発方式)のいずれか一つを 2013 年度初頭には選択する必要がある。2 系統の同時開発は予算・人員上無理。

資料 10

下記の長所短所を勘案して、共用試験幹事会で方向を決定する

1) e ラーニング転用方式

長所:

実績があり、安定運用が可能。管理要員も確保が比較的容易。

現行システムの改変で可能なため、問題点が予測しやすい。

コアカリキュラムの教育充実と CBT が連動できる。

短所:

e ラーニングシステムは、試験に特化していないため、システム上 CBT への最適化が難しい。

e ラーニングシステムの権利を獣医学共用試験機構が保有できないため、将来的にも使用権利のコストが毎年かかる(各校 30-300 万円程度)。

全国をサーバー1 つで運用すると、日本の何処かのサーバーがクラッキングされるなどのインターネット上の不測の障害を受けやすい。

各大学にサーバーを設置するとインターネットのトラブルが防げるが、使用料が大学ごとに加算される。

2) 独自開発方式

長所:

ソフトウェア本体の権利を獣医学共用試験機構が保有できるため、将来的には使用権利のコストがかからない。

獣医学の共用試験用に最適化できる(人数・会場・機器に適応可能)。

ソフトウェアを自由に改変して、コアカリキュラムの通常教育用の e ラーニングバージョンを作成可能。

短所:

実績が無い場合、トライアルを通じて問題点を抽出・改善する必要がある。そのため、開発は 2013 年度前半に完了する必要がある(見通しは立っている)。

システムを理解した管理用の要員の準備に時間を要する。

資料 10

獣医学共用試験 CBT 実施システムの選択肢についての参考画像

2013年3月11日(月)

酪農学園大学 遠藤大二

両方式について試作版システムが稼働しているため、参考画像を示す。

1) e ラーニング転用方式

Learning Management System の科目として試験を登録

The screenshot shows the Glaxa LMS interface for a course titled 'クラス: CBT問題確認用'. The user is logged in as '確認用教員 さん' in '学生モード'. The main content area displays course management tools: '教材作成', 'コンテンツの追加', and '出席確認'. Below these are sections for 'お知らせ' (Notice) and '教材一覧' (Content List). The '教材一覧' section contains a table with one entry:

教材名	正解率	受講者	公開設定	非表示	編集	成績
? 導入教育・基礎獣医学教育分野 マニュアル用ダミー科目		1				

回答画面

導入教育・基礎獣医学教育分野 マニュアル用ダミー科目

- 次のうち裸子植物でない物はどれでしょう。
 花
 根
 果実
 クキ
 種子
1点
- 光合成は細胞の中のどの部分で行われるか。
 細胞質
 核
 細胞壁
 細胞膜
 葉緑体
1点
- 果実は何が変化したものか。
 雄しべ
 雌しべ
 胚珠
 子房
 種子
1点

採点結果については、改修が必要

資料 10

おつかれさまでした！
全てのページの受講を完了しました。

0 / 20

ページ	問題番号	問題	正解	解答	採点結果	解説
1	1	次のうち裸子植物でない物は何でしょう。	果実	根	✗	
	2	光合成は細胞の中のどの部分で行われるか。	葉緑体	細胞壁	✗	
	3	果実は何が変化したものか。	胚珠	雌しべ	✗	
	4	次の選択肢の中から被子植物を選びなさい。	朝顔	イチゴ	✗	

2) 独自開発方式

ログイン後のメイン画面(本番では 300 問が提示)

問題選択・回答中



終了した問題の色を変える

回答を進行させる



実施時には、大学ごとにサーバーを置き、実施母体からの Fax 等により、試験を開始するコードを伝達する。

アンケート集計(問1～問10)

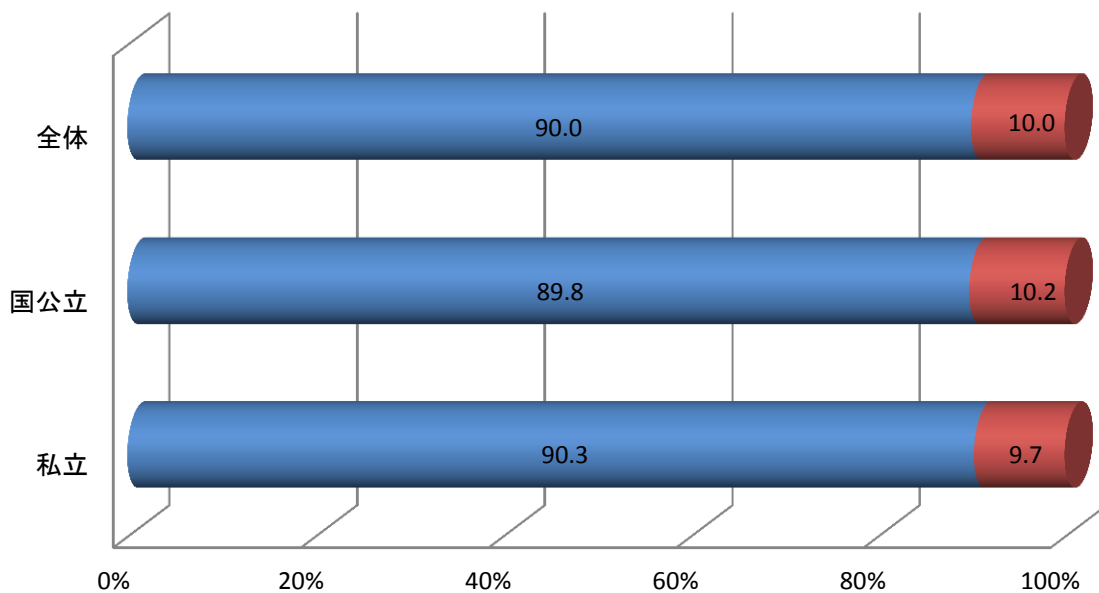
1) ご自身に関してお答えください(番号に○を付けて下さい)。

問1. あなたの性別は?

1. 男 2. 女

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別	
問1	26	4											北大	国公	
問1	34	6											帯畜	国公	
問1	17	0											岩大	国公	
問1	17	1											東大	国公	
問1	16	4											農工大	国公	
問1	24	2											岐阜大	国公	
問1	25	1											鳥取大	国公	
問1	18	2											山口大	国公	
問1	22	2											宮崎大	国公	
問1	26	4											鹿大	国公	
問1	38	4											府大	国公	
問1	33	2											酪農学園	私	
問1	49	3											北里大	私	
問1	38	4											日獣	私	
問1	36	3											日大	私	
問1	40	9											麻布大	私	
合計	459	51													
回答数	全体: 510		国公立: 293		私立: 217										

1. 性別



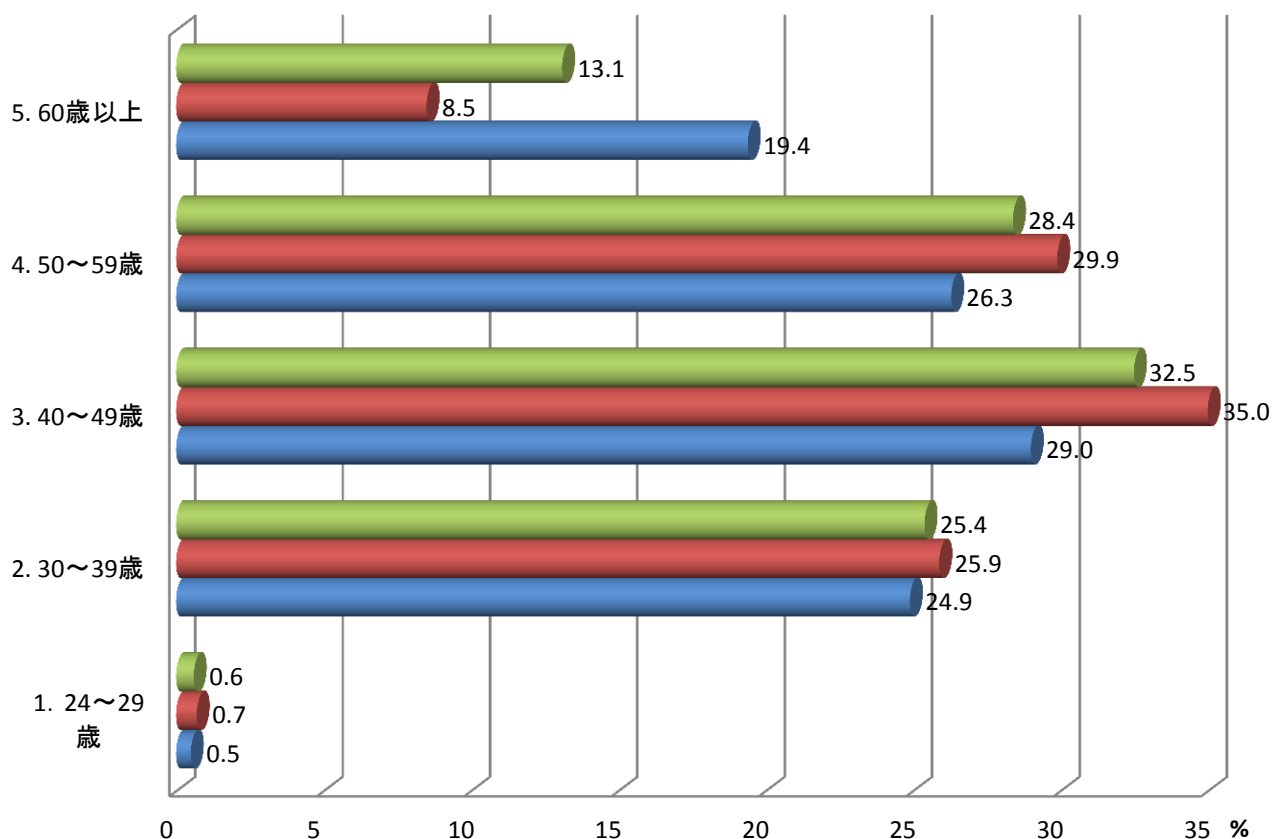
	私立	国公立	全体
1. 男	90.3	89.8	90.0
2. 女	9.7	10.2	10.0

問2. あなたの年齢は？

1. 24～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳 4. 50～59歳 5. 60歳以上

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問2	0	12	9	7	2								北大	国公
問2	1	14	9	15	2								帯畜	国公
問2	0	1	8	3	5								岩大	国公
問2	0	2	8	7	1								東大	国公
問2	0	5	5	9	1								農工大	国公
問2	0	8	10	4	4								岐阜大	国公
問2	0	5	12	7	2								鳥取大	国公
問2	0	7	7	6	0								山口	国公
問2	1	7	7	7	2								宮崎大	国公
問2	0	6	15	7	2								鹿大	国公
問2	0	9	13	16	4								府大	国公
問2	0	7	9	12	7								酪農学園	私
問2	0	12	16	15	9								北里大	私
問2	0	12	15	9	6								日獣	私
問2	1	11	12	6	9								日大	私
問2	0	12	11	15	11								麻布大	私
合計	3	130	166	145	67								511	
回答数	全体: 511		国公立: 294		私立: 217									

2. 年齢



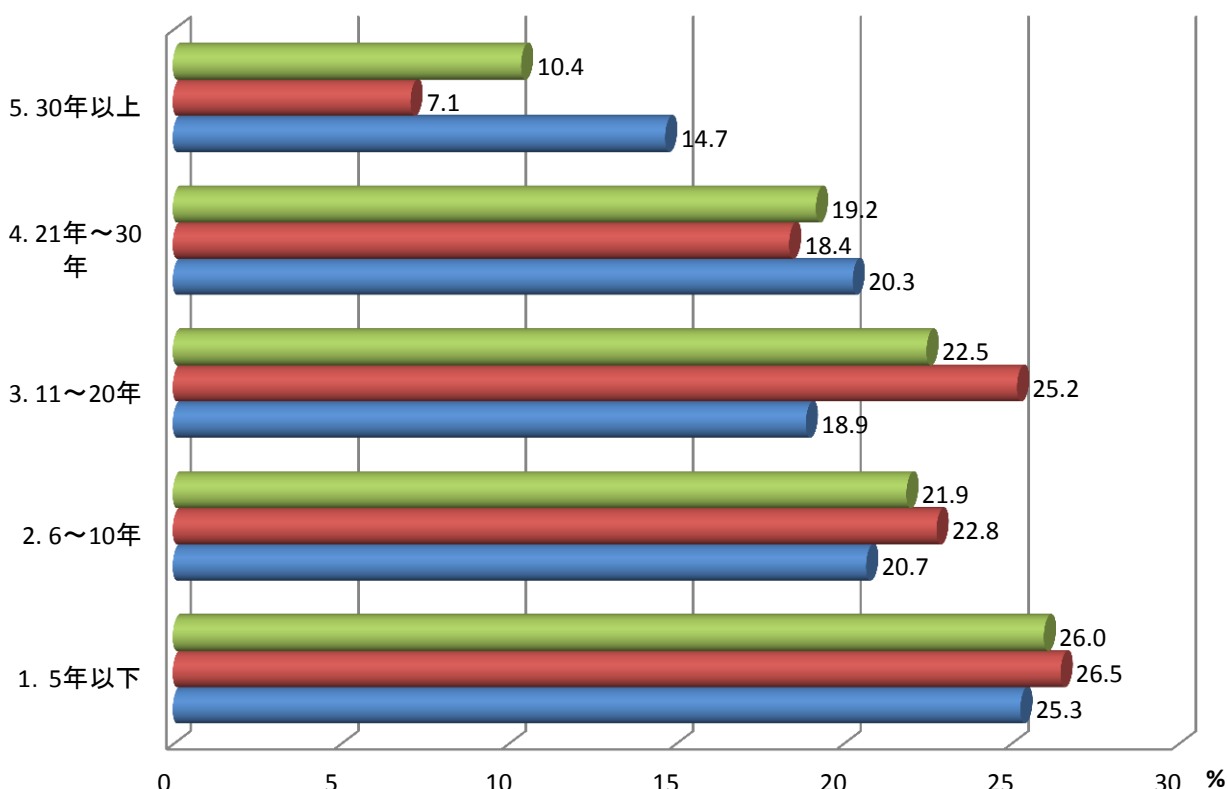
	1. 24～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳	4. 50～59歳	5. 60歳以上
■ 全体	0.6	25.4	32.5	28.4	13.1
■ 国公立	0.7	25.9	35.0	29.9	8.5
■ 私立	0.5	24.9	29.0	26.3	19.4

問3. あなたの獣医系大学教員経験年数は？

1. 5年以下 2. 6～10年 3. 11～20年 4. 21年～30年 5. 30年以上

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問3	9	7	7	5	2								北大	国公
問3	14	9	10	5	2								帯畜	国公
問3	3	4	5	2	3								岩大	国公
問3	1	3	6	7	1								東大	国公
問3	4	7	4	4	1								農工大	国公
問3	4	8	6	5	3								岐阜大	国公
問3	6	6	6	7	1								鳥取大	国公
問3	9	4	4	2	1								山口	国公
問3	11	2	6	3	2								宮崎大	国公
問3	10	6	9	4	1								鹿大	国公
問3	7	11	11	10	4								府大	国公
問3	8	5	5	10	7								酪農学園	私
問3	11	11	12	11	7								北里大	私
問3	14	12	6	7	3								日獣	私
問3	10	9	8	7	5								日大	私
問3	12	8	10	9	10								麻布大	私
合計	133	112	115	98	53								511	
回答数	全体: 511		国公立: 294		私立: 217									

3. 獣医系大学教員としての経験年数



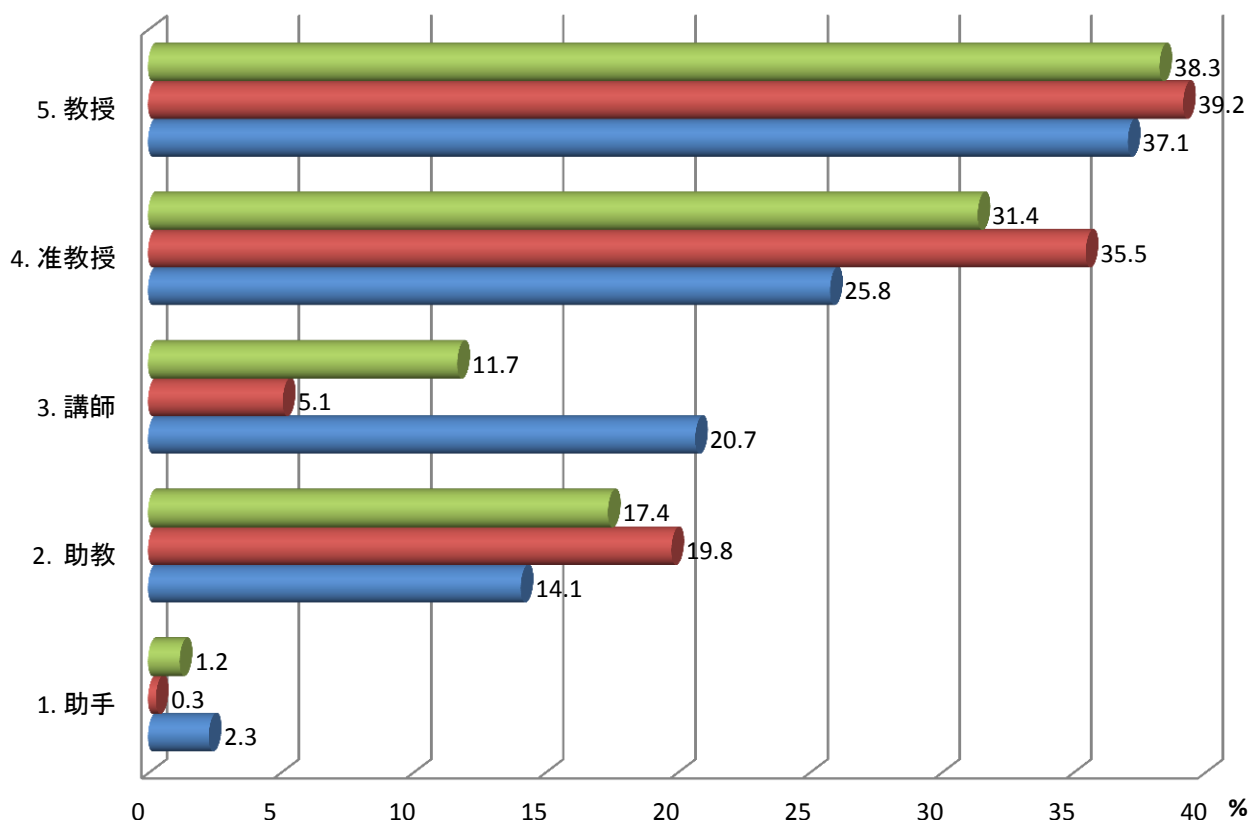
	1. 5年以下	2. 6～10年	3. 11～20年	4. 21年～30年	5. 30年以上
■ 全体	26.0	21.9	22.5	19.2	10.4
■ 国公立	26.5	22.8	25.2	18.4	7.1
■ 私立	25.3	20.7	18.9	20.3	14.7

問4. あなたの現在の職位は？

1. 助手 2. 助教 3. 講師 4. 准教授 5. 教授

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問4	0	9	2	10	9								北大	国公
問4	0	10	3	8	19								帯畜	国公
問4	1	2	0	4	10								岩大	国公
問4	0	4	6	7	1								東大	国公
問4	0	3	2	9	6								農工大	国公
問4	0	2	0	13	11								岐阜大	国公
問4	0	2	2	10	12								鳥取大	国公
問4	0	5	0	6	9								山口大	国公
問4	0	6	0	7	11								宮崎大	国公
問4	0	2	0	15	13								鹿大	国公
問4	0	13	0	15	14								府大	国公
問4	0	1	5	9	20								酪農学園	私
問4	0	6	14	16	14								北里大	私
問4	0	9	9	7	15								日獣	私
問4	5	6	5	9	14								日大	私
問4	0	8	11	14	16								麻布大	私
合計	6	88	59	159	194								506	
回答数	全体: 506		国公立: 293		私立: 213									

4. 職位



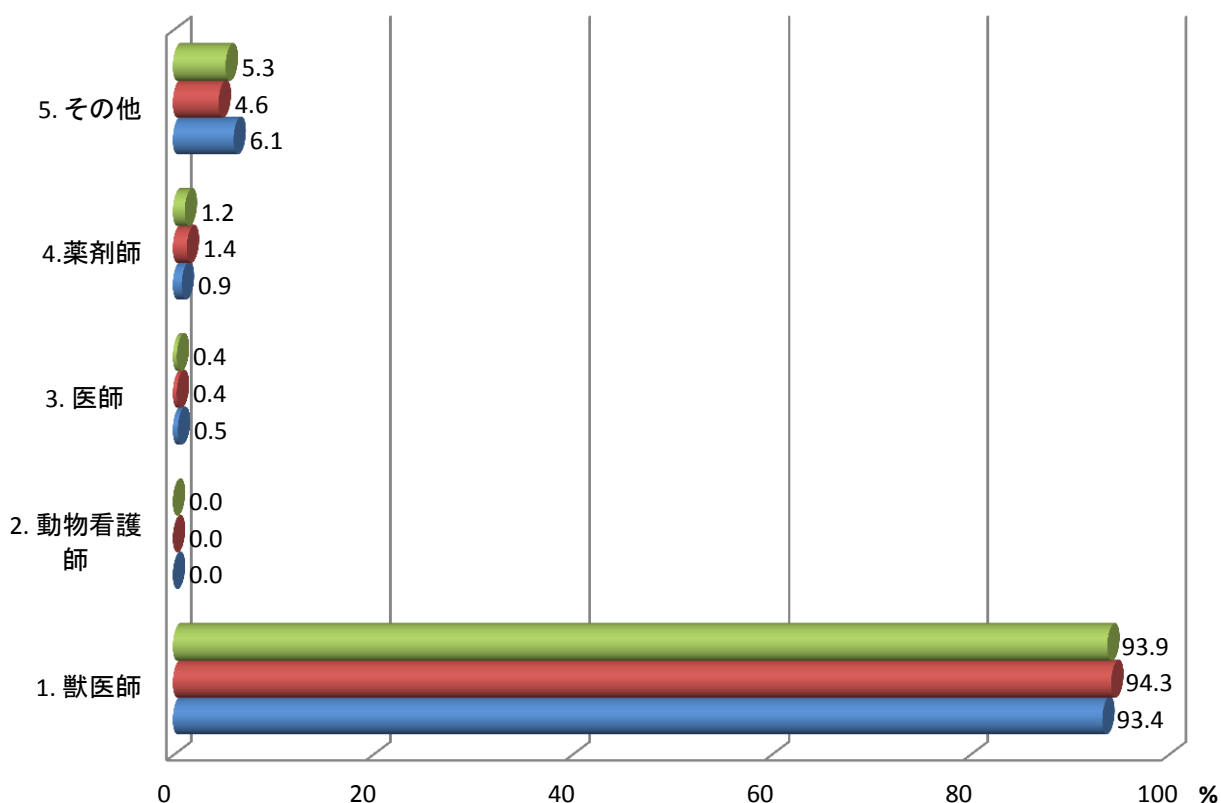
	1. 助手	2. 助教	3. 講師	4. 准教授	5. 教授
■ 全体	1.2	17.4	11.7	31.4	38.3
■ 国公立	0.3	19.8	5.1	35.5	39.2
■ 私立	2.3	14.1	20.7	25.8	37.1

問5. あなたが現在所有している資格は？（複数回答可）

1. 獣医師 2. 動物看護師 3. 医師 4. 薬剤師 5. その他（具体的に)

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問5	29	0	0	0	1								北大	国公
問5	32	0	0	1	2								帯畜	国公
問5	16	0	0	1	0								岩大	国公
問5	15	0	0	0	0								東大	国公
問5	19	0	0	0	2								農工大	国公
問5	26	0	0	0	0								岐阜大	国公
問5	24	0	0	0	1								鳥取大	国公
問5	19	0	1	0	0								山口大	国公
問5	22	0	0	0	2								宮崎大	国公
問5	26	0	0	0	5								鹿大	国公
問5	38	0	0	2	0								府大	国公
問5	31	0	0	0	6								酪農学園	私
問5	50	0	0	1	1								北里大	私
問5	35	0	1	1	4								日獣	私
問5	37	0	0	0	1								日大	私
問5	45	0	0	0	1								麻布大	私
合計	464	0	2	6	26								498	
回答者数	全体: 494		国公立: 282		私立: 212									

5. 所有している資格(複数回答可)



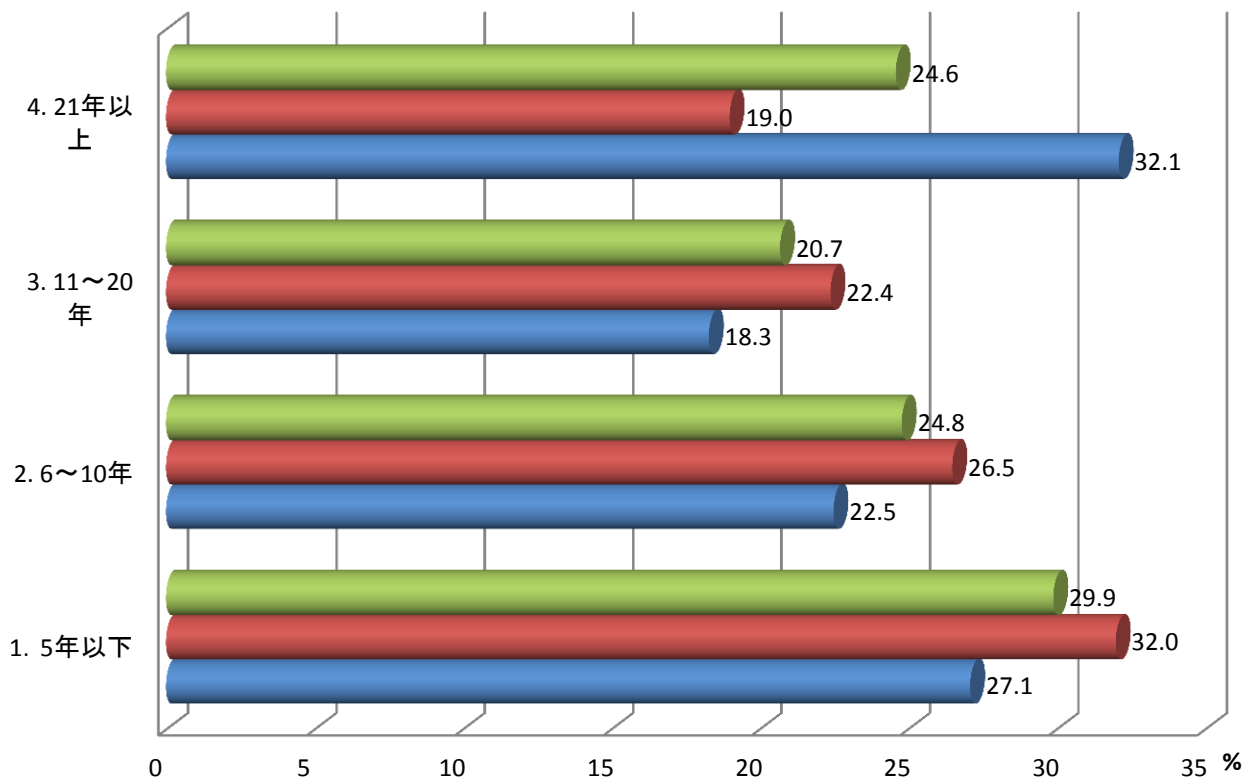
	1. 獣医師	2. 動物看護師	3. 医師	4. 薬剤師	5. その他
■ 全体	93.9	0.0	0.4	1.2	5.3
■ 国公立	94.3	0.0	0.4	1.4	4.6
■ 私立	93.4	0.0	0.5	0.9	6.1

問6. 現在の所属大学におけるあなたの在職年数は？

1. 5年以下 2. 6～10年 3. 11～20年 4. 21年以上

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問6	9	10	7	4									北大	国公
問6	17	10	8	10									帯畜	国公
問6	5	8	2	2									岩大	国公
問6	2	3	5	6									東大	国公
問6	7	5	4	4									農工大	国公
問6	4	11	7	4									岐阜大	国公
問6	6	5	7	5									鳥取大	国公
問6	10	5	4	1									山口大	国公
問6	14	3	3	4									宮崎大	国公
問6	12	6	7	5									鹿大	国公
問6	8	12	12	11									府大	国公
問6	10	7	5	13									酪農学園	私
問6	13	11	12	17									北里大	私
問6	12	14	6	10									日獣	私
問6	10	9	9	11									日大	私
問6	14	8	8	19									麻布大	私
合計	153	127	106	126									512	
回答者数	全体: 512		国公立: 294		私立: 218									

6. 所属大学における在職年数



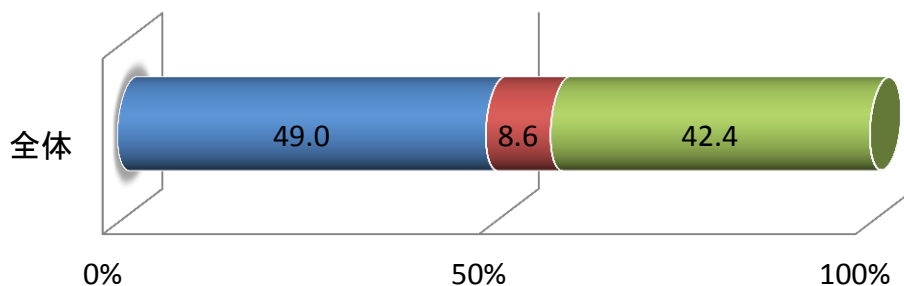
	1. 5年以下	2. 6～10年	3. 11～20年	4. 21年以上
■ 全体	29.9	24.8	20.7	24.6
■ 国公立	32.0	26.5	22.4	19.0
■ 私立	27.1	22.5	18.3	32.1

問7. あなたが現在所属する大学の設置形態は？

1. 国立大学 2. 公立大学 3. 私立大学

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問7	30	0	0										北大	国公
問7	40	0	0										帯畜	国公
問7	17	0	0										岩大	国公
問7	18	0	0										東大	国公
問7	20	0	0										農工大	国公
問7	26	0	0										岐阜大	国公
問7	26	0	0										鳥取大	国公
問7	20	0	0										山口大	国公
問7	24	0	0										宮崎大	国公
問7	30	0	0										鹿大	国公
問7	0	44	0										府大	国公
問7	0	0	35										酪農学園	私
問7	0	0	52										北里大	私
問7	0	0	42										日獣	私
問7	0	0	39										日大	私
問7	0	0	49										麻布大	私
合計	251	44	217										512	
回答者数	全体: 512			国公立: 295			私立: 217							

7. 所属する大学の設置形態



	全体
■ 1. 国立大学	49.0
■ 2. 公立大学	8.6
■ 3. 私立大学	42.4

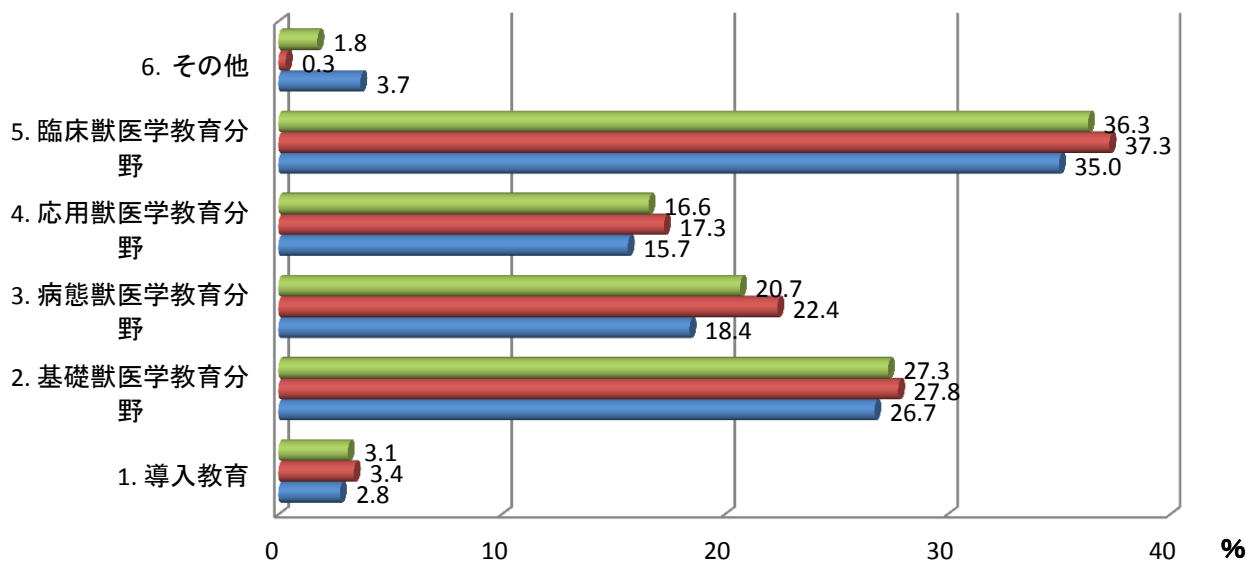
問8. あなたが現在所属する大学における主な教育分野は下記のどれですか？

1. 導入教育（獣医学概論、獣医倫理・動物福祉、獣医事法規）
2. 基礎獣医学教育分野（解剖学、組織学、発生学、生理学、生化学、薬理学、動物遺伝育種学、動物行動学、実験動物学、放射線生物学）
3. 病態獣医学教育分野（病理学、免疫学、微生物学、家禽疾病学、魚病学、動物感染症学、寄生虫学）
4. 応用獣医学教育分野（動物衛生学、公衆衛生学、食品衛生学、環境衛生学、毒性学、人獣共通感染症学、疫学、野生動物学）
5. 臨床獣医学教育分野
6. その他（具体的に）

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問8	1	7	7	5	10	1							北大	国公
問8	0	9	14	9	13	0							帯畜	国公
問8	1	7	3	2	7	0							岩大	国公
問8	0	11	2	3	5	0							東大	国公
問8	0	6	2	4	8	0							農工大	国公
問8	1	4	4	5	14	0							岐阜大	国公
問8	1	8	4	4	10								鳥取大	国公
問8	1	4	4	1	10	0							山口大	国公
問8	1	5	7	5	9	0							宮崎大	国公
問8	2	9	7	5	12	0							鹿大	国公
問8	2	12	12	8	12	0							府大	国公
問8	0	13	5	6	12	1							酪農学園	私
問8	0	14	11	10	18	0							北里大	私
問8	3	8	6	7	12	6							日獣	私
問8	3	7	10	5	17	0							日大	私
問8	0	16	8	6	17	1							麻布大	私
合計	16	140	106	85	186	9							533	
回答者数	全体: 512		国公立: 295		私立: 217									

(※複数回答者あり)

8. 所属する大学における主な教育分野



	1. 導入教育	2. 基礎獣医学教育分野	3. 病態獣医学教育分野	4. 応用獣医学教育分野	5. 臨床獣医学教育分野	6. その他
■ 全体	3.1	27.3	20.7	16.6	36.3	1.8
■ 国公立	3.4	27.8	22.4	17.3	37.3	0.3
■ 私立	2.8	26.7	18.4	15.7	35.0	3.7

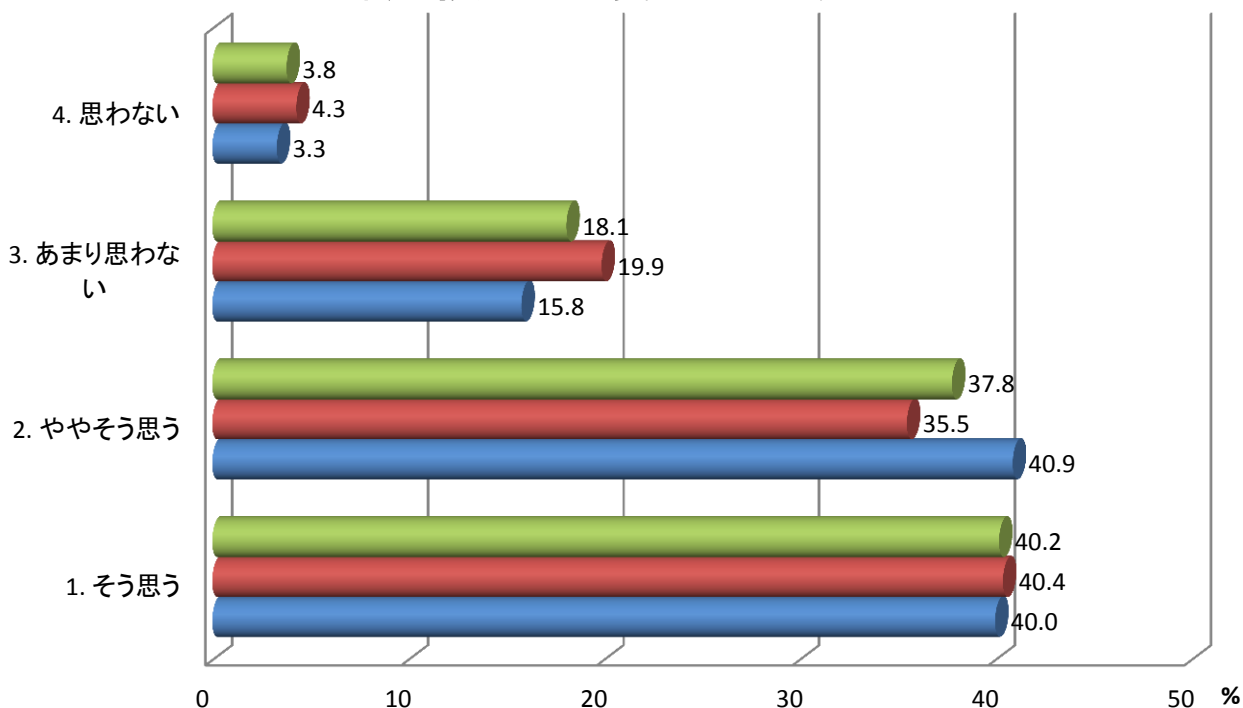
2) 共用試験の前提に、実践力強化のための高学年での参加型臨床実習があります。現在の高学年の教育状況についてお答えください。

問9. 現在、5-6年次の学生間で臨床系・応用系獣医学領域の知識・技能・態度に差があると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. 思わない

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問9	15	9	3	3									北大	国公
問9	16	17	4	0									帯畜	国公
問9	4	7	4	1									岩大	国公
問9	7	5	3	1									東大	国公
問9	5	10	5	0									農工大	国公
問9	8	7	9	1									岐阜大	国公
問9	13	4	6	2									鳥取大	国公
問9	9	7	3	0									山口大	国公
問9	12	10	2	0									宮崎大	国公
問9	13	9	4	1									鹿大	国公
問9	12	15	13	3									府大	国公
問9	14	17	3	1									酪農学園	私
問9	16	20	13	3									北里大	私
問9	18	17	7	0									日獣	私
問9	22	12	3	2									日大	私
問9	16	22	8	1									麻布大	私
合計	200	188	90	19										497
回答者数	全体: 497				国公立: 282				私立: 215					

9. 5-6年次の学生間で臨床系・応用獣医学領域の知識・技能・態度に差があるか



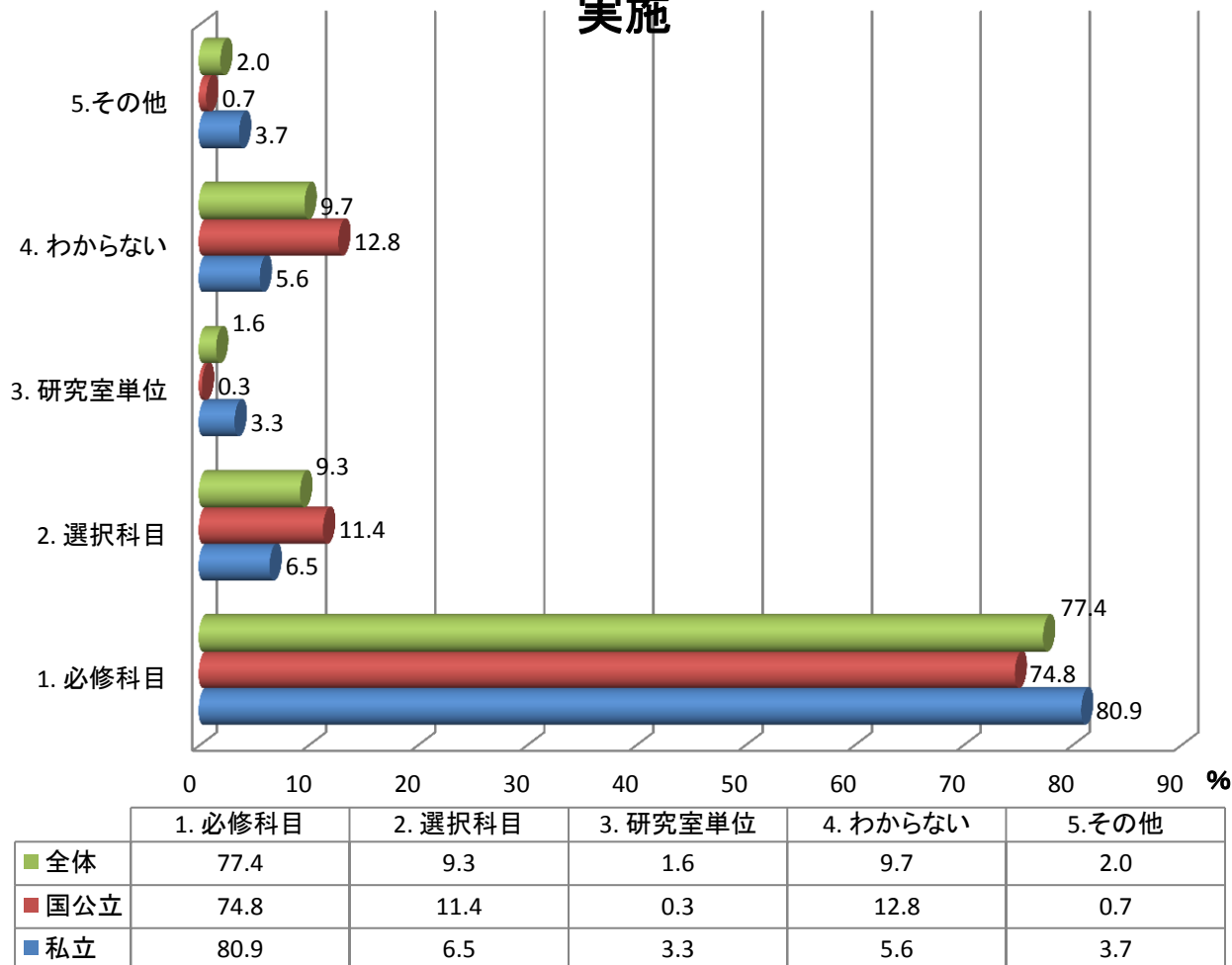
	1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまり思わない	4. 思わない
■ 全体	40.2	37.8	18.1	3.8
■ 国公立	40.4	35.5	19.9	4.3
■ 私立	40.0	40.9	15.8	3.3

問10. 所属する大学では、附属動物病院を活用した実践体験的実習を行っていますか？

1. 必須科目としている 2. 選択科目としている 3. 科目ではなく研究室単位で実施している
4. 分からない 5. その他 ()

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問10	25	2	0	3	0								北大	国公
問10	27	0	0	12	0								帯畜	国公
問10	15	0	0	2	0								岩大	国公
問10	12	2	0	2	0								東大	国公
問10	17	0	0	3	0								農工大	国公
問10	26	0	0	0	0								岐阜大	国公
問10	24	0	0	2	0								鳥取大	国公
問10	17	0	0	3	0								山口大	国公
問10	22	0	1	1	0								宮崎大	国公
問10	25	0	0	4	0								鹿大	国公
問10	7	29	0	5	2								府大	国公
問10	20	5	3	4	4								酪農学園	私
問10	45	4	2	1	0								北里大	私
問10	39	0	0	2	1								日獣	私
問10	37	0	1	0	1								日大	私
問10	33	5	1	5	2								麻布大	私
合計	391	47	8	49	10								505	
回答者数	全体: 505		国公立: 290		私立: 215									

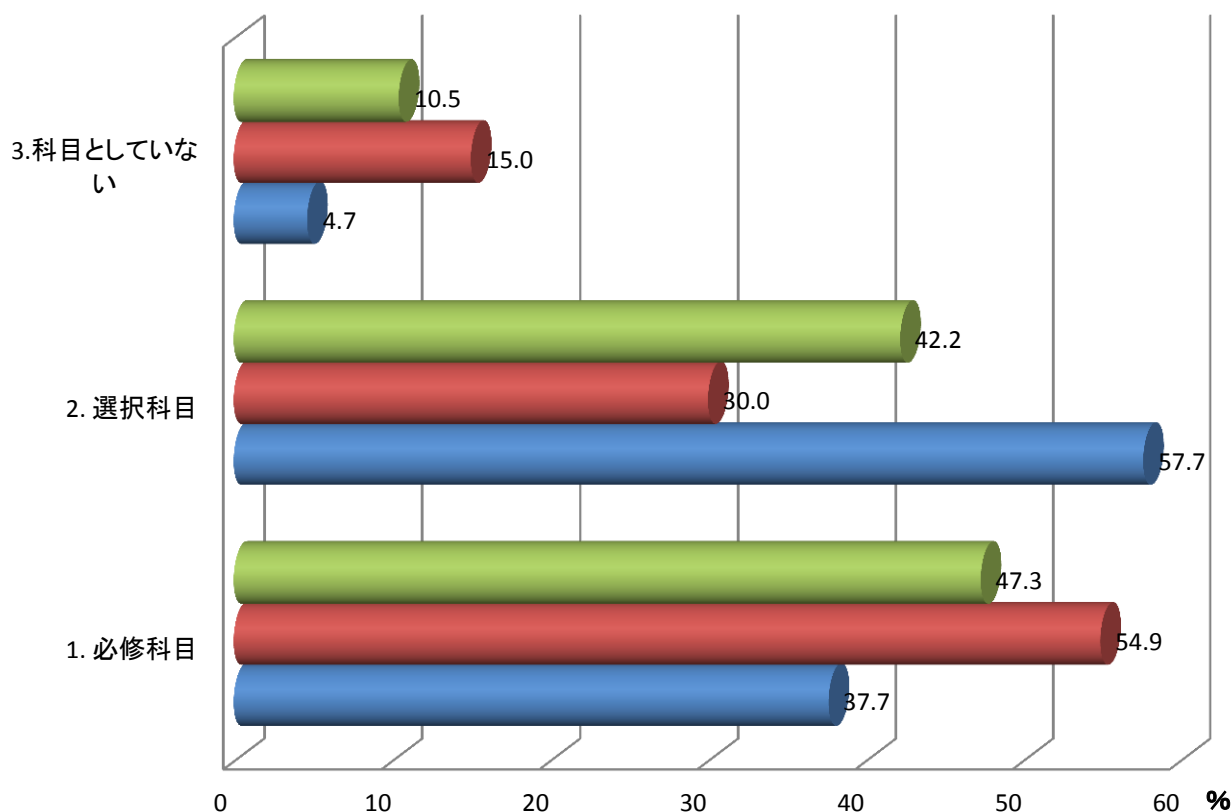
10. 附属動物病院を活用した実践体験的実習の実施



問11. 所属する大学では、学外における実践体験的実習を科目として指定していますか？
 1. 必須科目としている 2. 選択科目としている 3. 特に科目としていない

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別	
問11	5	20	5										北大	国公	
問11	28	0	3										帯畜	国公	
問11	8	5	2										岩大	国公	
問11	11	3	2										東大	国公	
問11	6	10	4										農工大	国公	
問11	23	1	2										岐阜大	国公	
問11	10	13	2										鳥取大	国公	
問11	12	2	4										山口大	国公	
問11	24	0	0										宮崎大	国公	
問11	13	6	6										鹿大	国公	
問11	10	22	11										府大	国公	
問11	2	25	7										酪農学園	私	
問11	12	37	2										北里大	私	
問11	39	2	1										日獣	私	
問11	28	11	0										日大	私	
問11	0	49	0										麻布大	私	
合計	231	206	51										488		
回答者数	全体: 488			国公立: 273			私立: 215								

11. 学外における実践体験実習の科目形態



	1. 必修科目	2. 選択科目	3. 科目としていない
■ 全体	47.3	42.2	10.5
■ 国公立	54.9	30.0	15.0
■ 私立	37.7	57.7	4.7

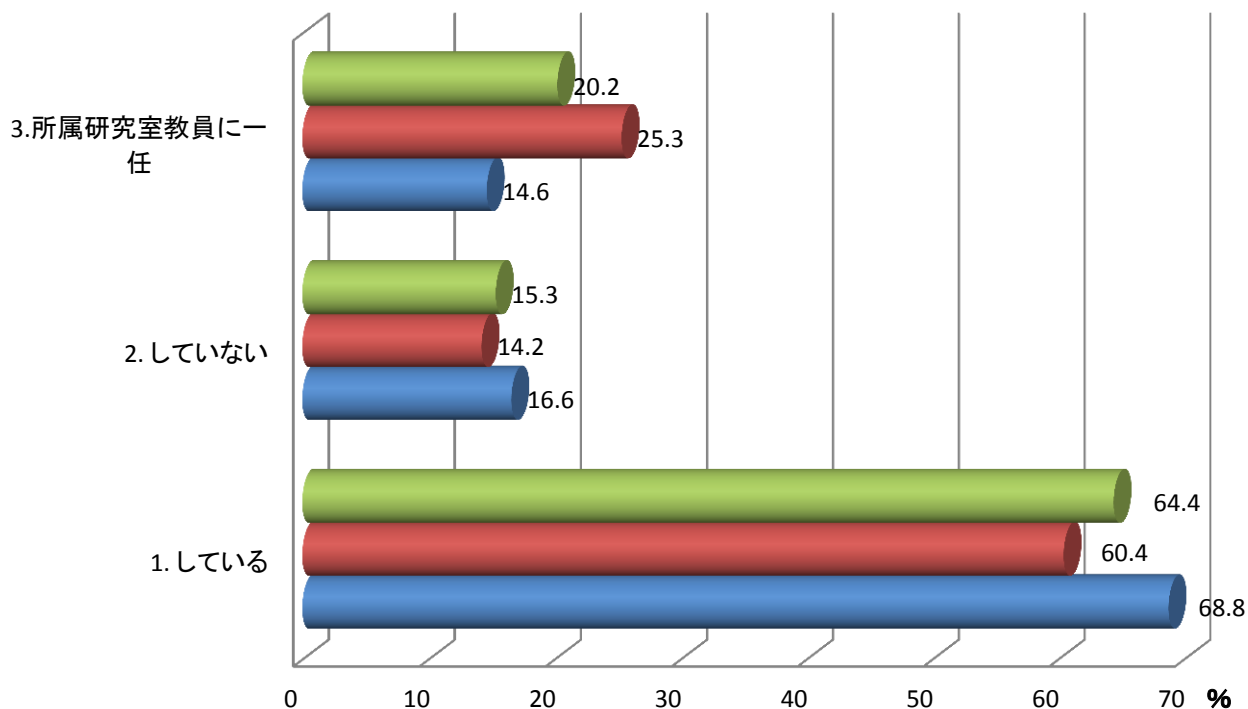
問12. 前問で1あるいは2と回答した人に質問です。学外実習の前に、大学あるいは学科全体として、学外実習の心得などを全員に周知徹底していますか？

1. している 2. していない 3. 所属する研究室の教員に任せている

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別	
問12	10	3	10										北大	国公	
問12	20	1	4										帯畜	国公	
問12	10	2	2										岩大	国公	
問12	8	2	7										東大	国公	
問12	8	5	2										農工大	国公	
問12	21	1	1										岐阜大	国公	
問12	8	4	9										鳥取大	国公	
問12	9	1	5										山口大	国公	
問12	17	2	5										宮崎大	国公	
問12	11	3	5										鹿大	国公	
問12	14	8	7										府大	国公	
問12	9	10	9										酪農学園	私	
問12	19	17	13										北里大	私	
問12	33	2	5										日獣	私	
問12	31	5	3										日大	私	
問12	49	0	0										麻布大	私	
合計	277	66	87										430		
回答者数	全体: 430			国公立: 225		私立: 205									

(※問11.で1あるいは2の回答者は437であるが回答者は430名)

12. 学外実習における心得などの周知徹底について(対象者:問11で1or2と回答)



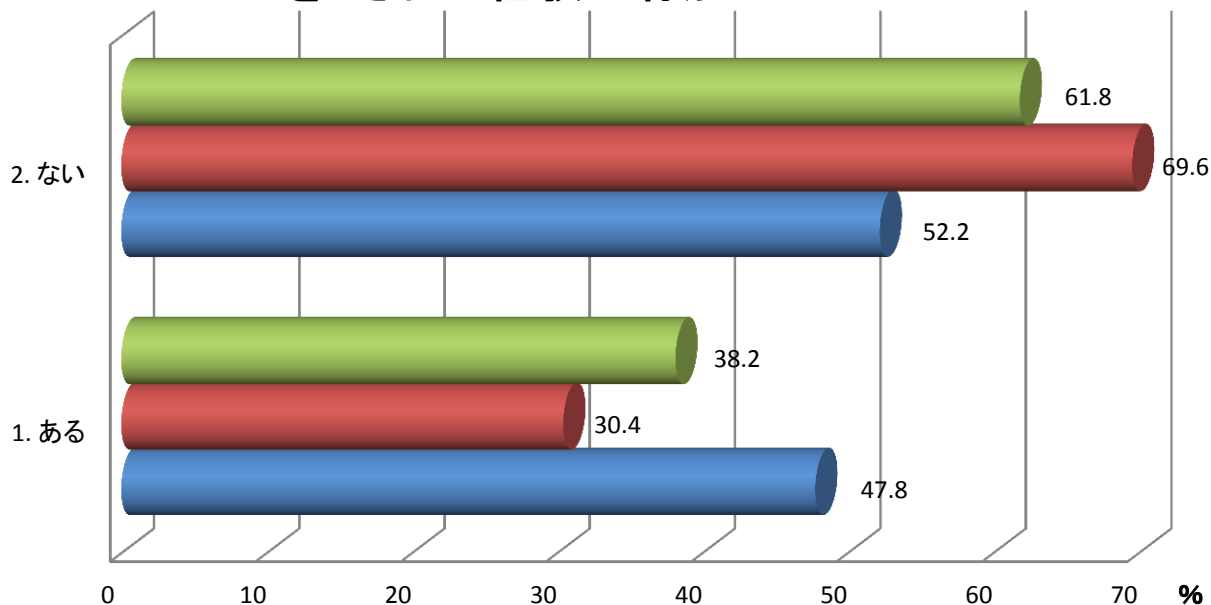
	1. している	2. していない	3. 所属研究室教員に一任
■ 全体	64.4	15.3	20.2
■ 国公立	60.4	14.2	25.3
■ 私立	68.8	16.6	14.6

問13. 学外実習にあたり、実習先から学生に関する問題指摘をされた経験がありますか？

1. ある 2. ない

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別	
問13	7	19											北大	国公	
問13	14	15											帯畜	国公	
問13	4	13											岩大	国公	
問13	2	15											東大	国公	
問13	11	9											農工大	国公	
問13	7	18											岐阜大	国公	
問13	3	22											鳥取大	国公	
問13	3	12											山口大	国公	
問13	8	15											宮崎大	国公	
問13	9	15											鹿大	国公	
問13	9	23											府大	国公	
問13	15	16											酪農学園	私	
問13	22	29											北里大	私	
問13	18	24											日獣	私	
問13	16	22											日大	私	
問13	26	15											麻布大	私	
合計	174	282											456		
回答者数	全体: 456		国公立: 253		私立: 203										

13. 学外実習 実習先から学生に関する問題指摘をされた経験の有無について



	1. ある	2. ない
■ 全体	38.2	61.8
■ 国公立	30.4	69.6
■ 私立	47.8	52.2

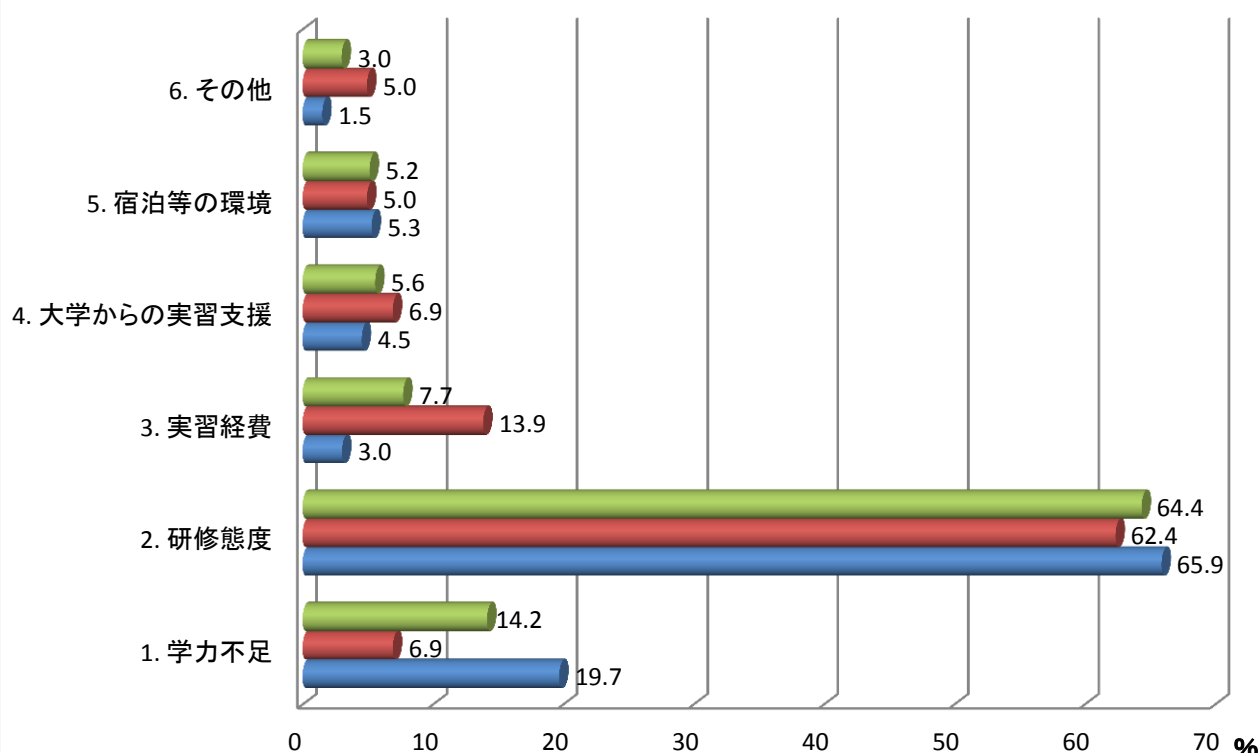
問14. 前問で1と回答した人に質問です。どのような問題指摘でしたか？

1. 学生の学力不足 2. 学生の研修態度 3. 実習経費 4. 大学からの実習支援
5. 宿泊等の環境 6. その他 ()

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問14	0	5	0	0	0	1							北大	国公
問14	0	12	2	5	3	1							帯畜	国公
問14	0	3	0	0	0	1							岩大	国公
問14	1	2	1	1	1	0							東大	国公
問14	1	11	1	0	0	1							農工大	国公
問14	1	6	0	0	1	1							岐阜大	国公
問14	2	3	0	0	0	0							鳥取大	国公
問14	0	4	0	0	0	0							山口大	国公
問14	0	1	7	0	0	0							宮崎大	国公
問14	2	9	0	0	0	0							鹿大	国公
問14	0	7	3	1	0	0							府大	国公
問14	4	14	0	1	1	1							酪農学園	私
問14	1	20	0	0	0	0							北里大	私
問14	9	17	2	4	3	0							日獣	私
問14	8	11	1	1	0	1							日大	私
問14	4	25	1	0	3	0							麻布大	私
合計	33	150	18	13	12	7							233	
回答者数	全体: 233		国公立: 101		私立: 132									

(※問13.で1の回答者は174であるが回答者は233名)

14. 問題指摘の内容について (対象者:問13.で1と回答)



	1. 学力不足	2. 研修態度	3. 実習経費	4. 大学からの実習支援	5. 宿泊等の環境	6. その他
■ 全体	14.2	64.4	7.7	5.6	5.2	3.0
■ 国公立	6.9	62.4	13.9	6.9	5.0	5.0

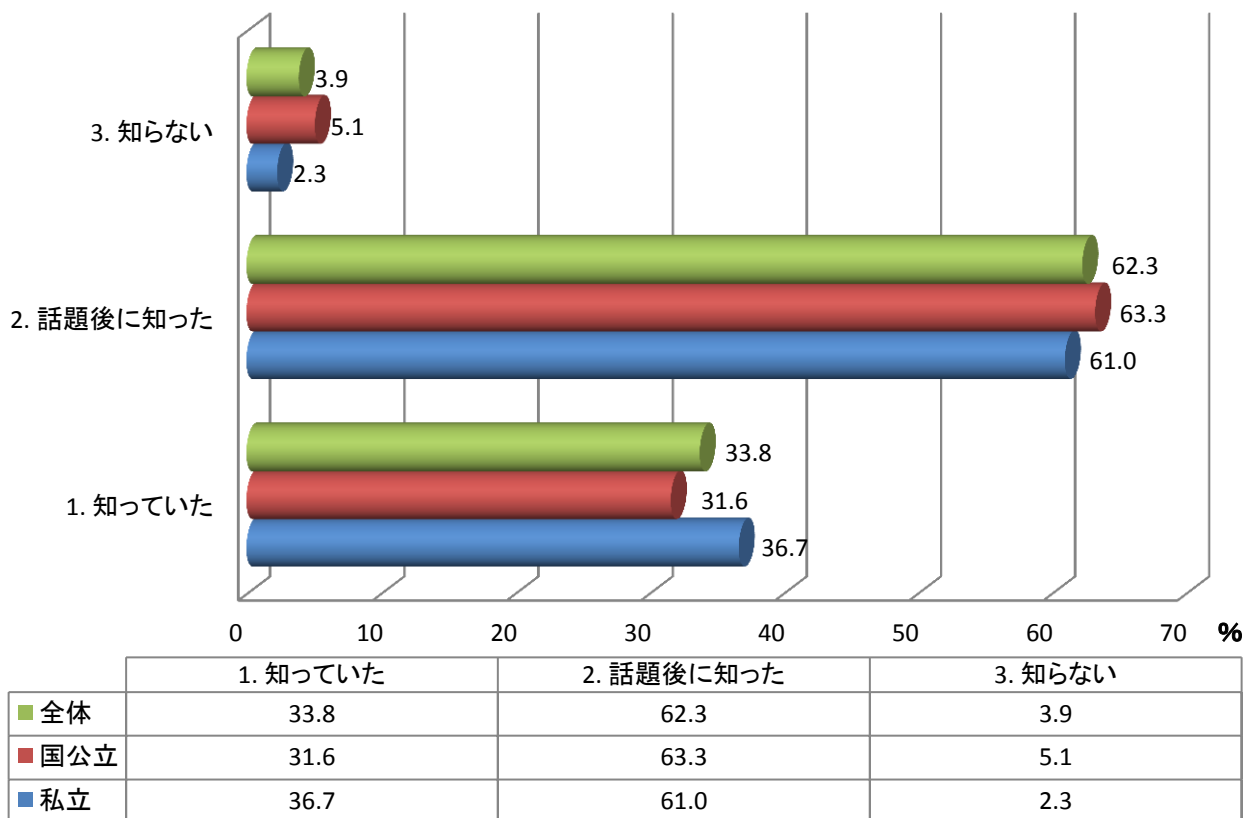
3) 共用試験についてお答えください。

問15. 医学・歯学並びに薬学において、5年次の参加型臨床実習の学生質保証のために4年後期末に、共用試験が実施されていたことをご存知でしたか？

1. 獣医学共用試験の話題が出る前から知っていた 2. 話題になってから知った 3. 知らない

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別	
問15	8	20	2										北大	国公	
問15	10	25	5										帯畜	国公	
問15	4	11	2										岩大	国公	
問15	11	7	0										東大	国公	
問15	4	15	1										農工大	国公	
問15	6	19	1										岐阜大	国公	
問15	9	16	1										鳥取大	国公	
問15	8	11	0										山口大	国公	
問15	5	19	0										宮崎大	国公	
問15	9	20	1										鹿大	国公	
問15	19	23	2										府大	国公	
問15	10	24	1										酪農学園	私	
問15	17	36	0										北里大	私	
問15	22	20	0										日獣	私	
問15	15	24	0										日大	私	
問15	16	29	4										麻布大	私	
合計	173	319	20										512		
回答者数	全体: 512			国公立: 294			私立: 218								

15. 医歯薬において5年次参加型臨床実習の学生質保証のため4年後期末に共用試験を実施している事について

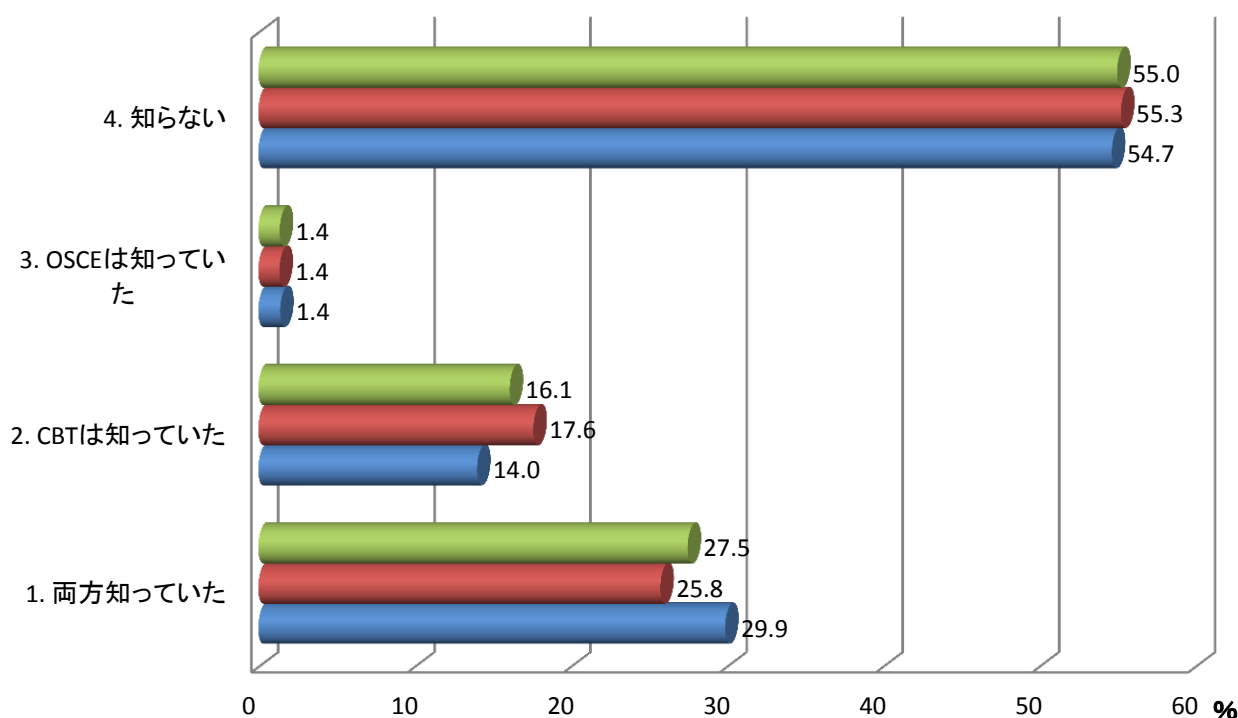


問16. 獣医学共用試験の話題が出る前から、医学・薬学の共用試験がコンピュータを用いる知識試験（CBT）と実技試験（OSCE）から構成されることをご存知でしたか？

1. 両方知っていた 2. CBTは知っていた 3. OSCEは知っていた 4. 知らなかった

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問16	6	4	0	20									北大	国公
問16	6	7	0	27									帯畜	国公
問16	5	3	0	9									岩大	国公
問16	7	7	0	4									東大	国公
問16	4	4	0	12									農工大	国公
問16	6	2	1	17									岐阜大	国公
問16	5	4	1	16									鳥取大	国公
問16	5	5	2	8									山口大	国公
問16	6	4	0	14									宮崎大	国公
問16	9	5	0	16									鹿大	国公
問16	17	7	0	20									府大	国公
問16	9	3	0	23									酪農学園	私
問16	12	10	0	28									北里大	私
問16	21	5	0	15									日獣	私
問16	12	2	3	22									日大	私
問16	10	10	0	29									麻布大	私
合計	140	82	7	280									509	
回答者数	全体: 509		国公立: 295		私立: 214									

16. 医薬の共用試験がコンピュータを用いる知識試験（CBT）と実技試験（OSCE）から構成されること



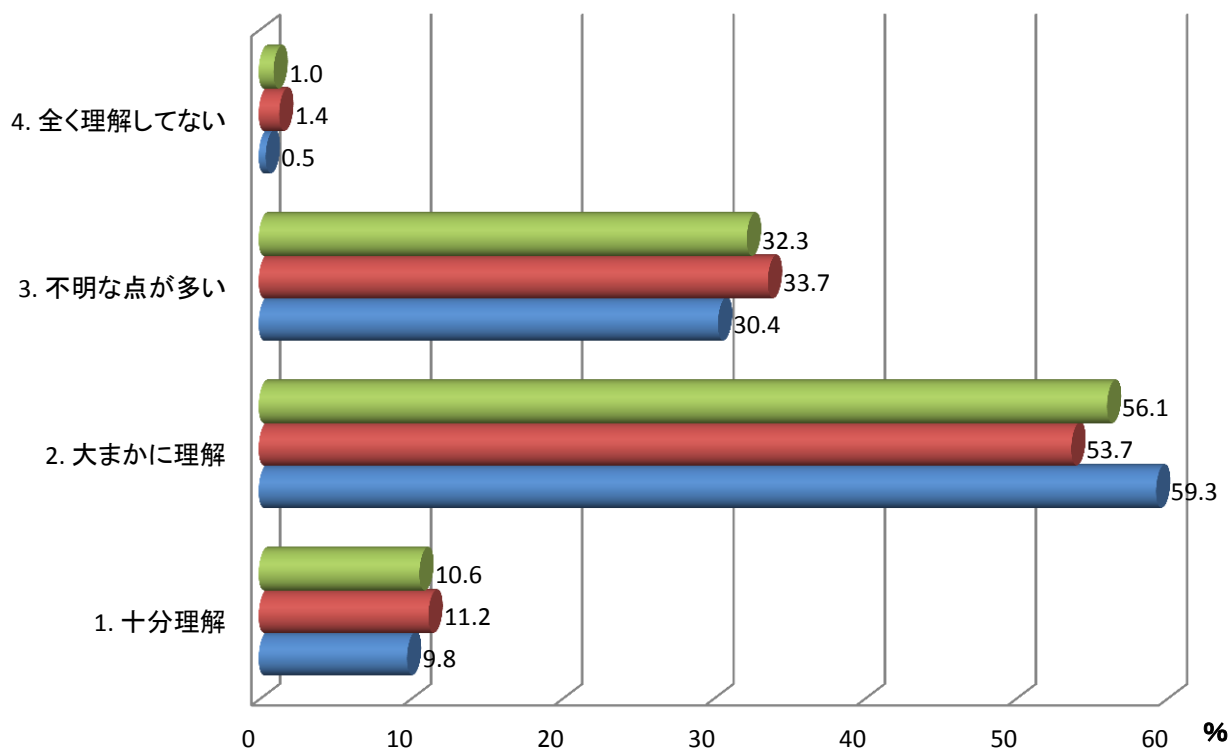
	1. 両方知っていた	2. CBTは知っていた	3. OSCEは知っていた	4. 知らない
■ 全体	27.5	16.1	1.4	55.0
■ 国公立	25.8	17.6	1.4	55.3
■ 私立	29.9	14.0	1.4	54.7

問17. 現在、獣医学共用試験に対して、自分は何のくらいの理解度といますか？

1. 十分に理解している 2. 大まかに理解している 3. 不明な点が多い 4. 全く理解していない

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問17	5	16	8	1									北大	国公
問17	3	21	16	0									帯畜	国公
問17	2	6	7	2									岩大	国公
問17	5	10	3	0									東大	国公
問17	0	12	8	0									農工大	国公
問17	4	17	5	0									岐阜大	国公
問17	3	17	6	0									鳥取大	国公
問17	0	11	8	0									山口大	国公
問17	5	7	12	0									宮崎大	国公
問17	3	16	11	0									鹿大	国公
問17	3	25	15	1									府大	国公
問17	4	19	11	1									酪農学園	私
問17	4	33	13	0									北里大	私
問17	4	29	9	0									日獣	私
問17	6	17	15	0									日大	私
問17	3	29	17	0									麻布大	私
合計	54	285	164	5									508	
回答者数	全体: 508		国公立: 294		私立: 214									

17. 獣医学共用試験に対する理解度について



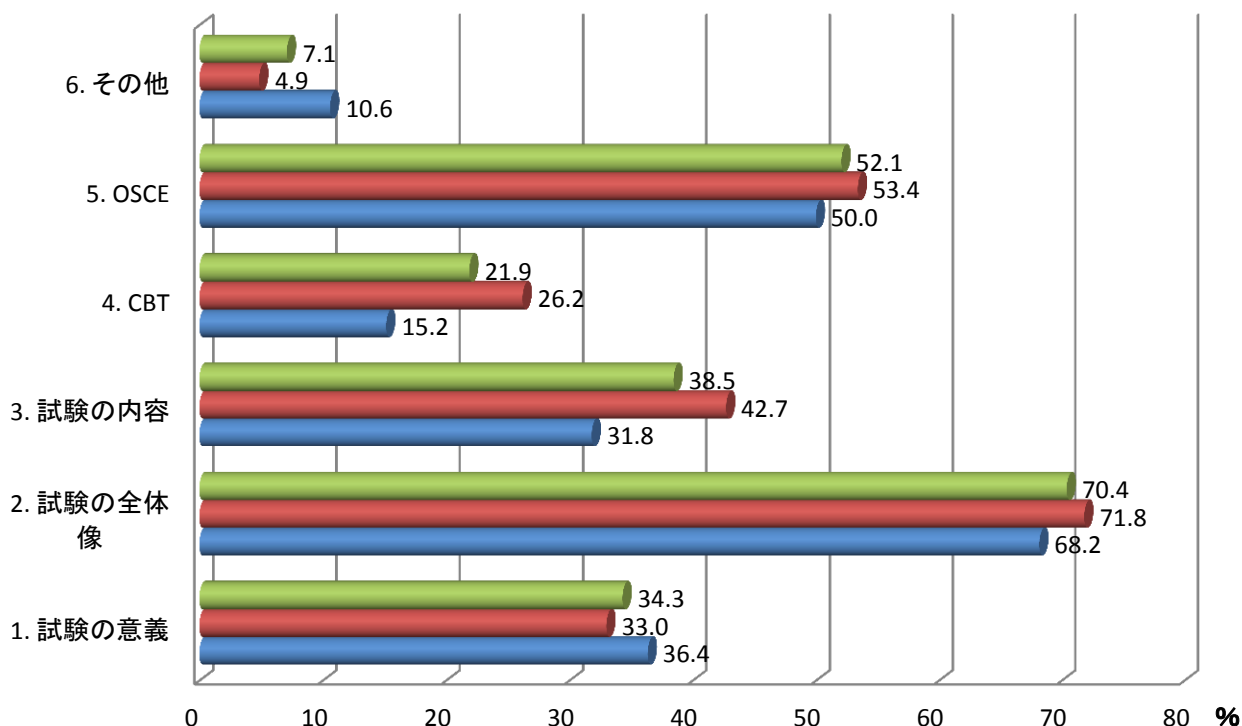
	1. 十分理解	2. 大まかに理解	3. 不明な点が多い	4. 全く理解していない
■ 全体	10.6	56.1	32.3	1.0
■ 国公立	11.2	53.7	33.7	1.4
■ 私立	9.8	59.3	30.4	0.5

問18. 前問で3あるいは4と回答した人に質問です。どのような点に理解が足りないと思いますか？
(複数回答可)

1. 試験の意義 2. 試験の全体像 3. 試験の内容 4. CBT 5. OSCE
6. その他 ()

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問18	3	7	4	4	6	0							北大	国公
問18	3	13	7	5	13	3							帯畜	国公
問18	3	7	3	2	2	0							岩大	国公
問18	2	2	1	1	3	0							東大	国公
問18	5	4	2	2	4	0							農工大	国公
問18	2	4	4	2	4	0							岐阜大	国公
問18	0	3	1	2	4	0							鳥取大	国公
問18	0	1	1	0	1	0							山口大	国公
問18	3	9	7	1	2	2							宮崎大	国公
問18	7	9	7	5	8	0							鹿大	国公
問18	6	15	7	3	8	0							府大	国公
問18	5	7	3	2	5	2							酪農学園	私
問18	3	11	7	2	6	0							北里大	私
問18	3	7	3	1	2	1							日獣	私
問18	6	9	5	2	9	2							日大	私
問18	7	11	3	3	11	2							麻布大	私
合計	58	119	65	37	88	12							379	
回答者数	全体: 169		国公立: 103		私立: 66									

18. どのような点に理解が足りないか (対象者: 問17で3あるいは4と回答、複数回答可)



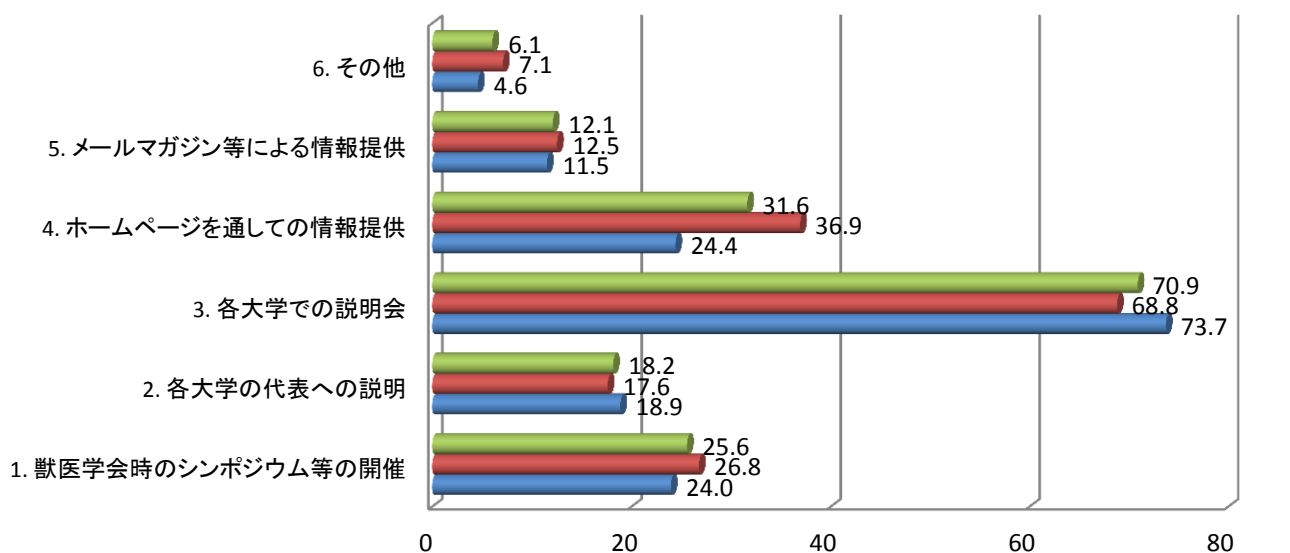
	1. 試験の意義	2. 試験の全体像	3. 試験の内容	4. CBT	5. OSCE	6. その他
■ 全体	34.3	70.4	38.5	21.9	52.1	7.1
■ 国公立	33.0	71.8	42.7	26.2	53.4	4.9
■ 私立	36.4	68.2	31.8	15.2	50.0	10.6

問19. 獣医学共用試験に対する理解度を高めるためには、どのようにしたら良いとお考えですか？
 (複数回答可)

1. 獣医学会時のシンポジウム等の開催
2. 各大学の代表への説明
3. 各大学での説明会
4. ホームページを通しての情報提供
5. メールマガジン等による情報提供
6. その他 ()

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別	
問19	11	5	13	5	3	0							北大	国公	
問19	9	4	33	17	6	1							帯畜	国公	
問19	5	7	14	5	3	6							岩大	国公	
問19	5	1	11	7	3	1							東大	国公	
問19	6	6	12	7	3	0							農工大	国公	
問19	6	6	19	12	2	1							岐阜大	国公	
問19	12	4	23	11	1	1							鳥取大	国公	
問19	4	2	12	8	5	2							山口大	国公	
問19	6	3	16	7	2	5							宮崎大	国公	
問19	5	4	18	14	4	2							鹿大	国公	
問19	10	10	32	16	5	2							府大	国公	
問19	8	8	21	9	3	4							酪農学園	私	
問19	12	7	39	11	8	1							北里大	私	
問19	14	7	35	14	7	1							日獣	私	
問19	13	12	31	10	2	4							日大	私	
問19	5	7	34	9	5	0							麻布大	私	
合計	131	93	363	162	62	31							842		
回答者数	全体:		512	国公立:		295	私立:		217						

19. 獣医学共用試験に対する理解度を高めるには (複数回答可)



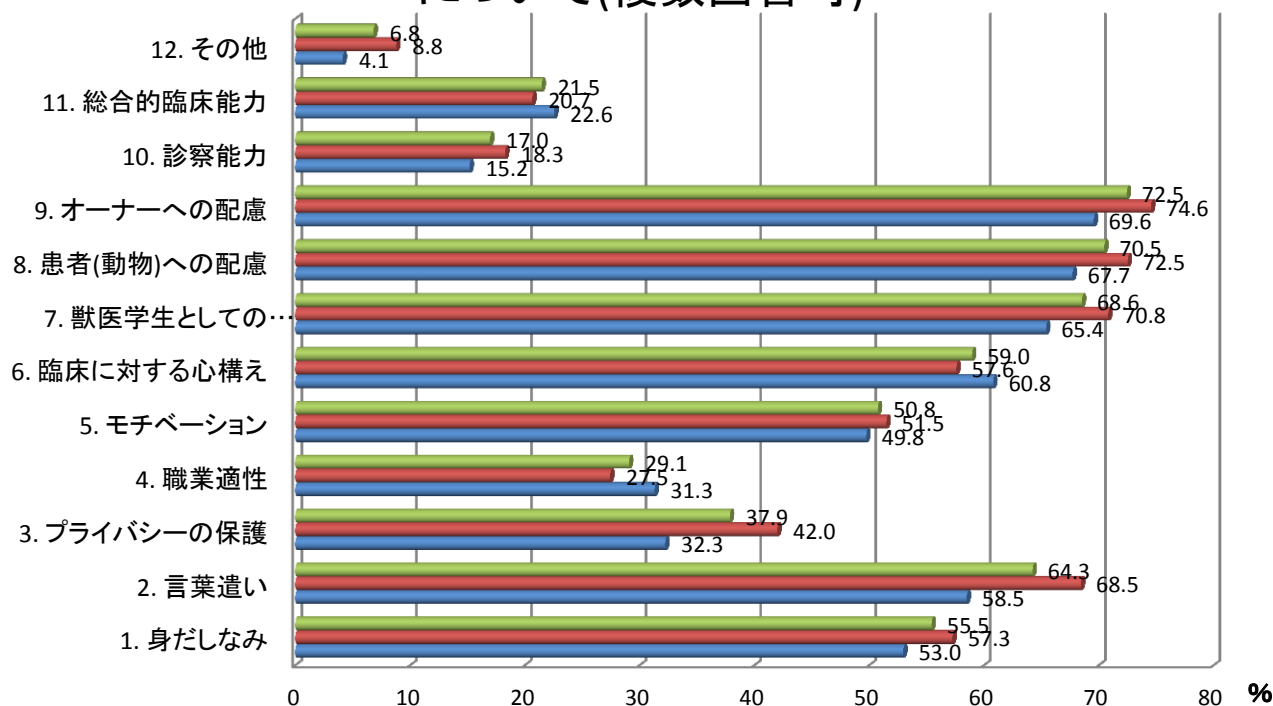
	1. 獣医学会時のシンポジウム等の開催	2. 各大学の代表への説明	3. 各大学での説明会	4. ホームページを通しての情報提供	5. メールマガジン等による情報提供	6. その他
■ 全体	25.6	18.2	70.9	31.6	12.1	6.1
■ 国公立	26.8	17.6	68.8	36.9	12.5	7.1
■ 私立	24.0	18.9	73.7	24.4	11.5	4.6

問20. 参加型臨床実習を受けるにあたり必要な実技能力は何と考えますか？（複数回答可）

1. 身だしなみ
2. 言葉遣い
3. プライバシーの保護
4. 職業適性
5. モチベーション
6. 臨床に対する心構え
7. 獣医学生としての自覚
8. 患者（動物）への配慮
9. オーナーへの配慮
10. 診察能力
11. 総合的臨床能力
12. その他

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問20	20	24	14	6	19	21	23	24	24	8	8	1	北大	国公
問20	18	23	13	7	18	23	31	30	25	7	8	3	帯畜	国公
問20	12	14	6	1	9	10	13	10	12	1	0	12	岩大	国公
問20	11	11	8	5	8	7	12	12	13	3	3	1	東大	国公
問20	12	11	11	6	12	10	14	14	16	4	5	1	農工大	国公
問20	17	18	14	7	9	13	20	21	21	3	3	2	岐阜大	国公
問20	11	17	10	11	12	15	17	21	21	5	4	0	鳥取大	国公
問20	16	17	12	9	14	14	13	16	16	3	7	1	山口大	国公
問20	12	19	11	6	12	14	17	20	22	8	9	1	宮崎大	国公
問20	18	25	9	12	19	17	22	18	21	8	9	2	鹿大	国公
問20	22	23	16	11	20	26	27	28	29	4	5	2	府大	国公
問20	12	15	8	10	23	20	23	17	21	4	6	3	酪農学園	私
問20	32	31	13	14	23	31	32	36	36	9	11	1	北里大	私
問20	25	30	17	13	20	21	26	29	32	9	13	2	日獣	私
問20	25	27	19	22	19	25	26	30	31	7	7	1	日大	私
問20	21	24	13	9	23	35	35	35	31	4	12	2	麻布大	私
合計	284	329	194	149	260	302	351	361	371	87	110	35	2833	
回答者数	全体:		512		国公立:		295		私立:		217			

20. 参加型臨床実習を受ける上で必要な実技能力について(複数回答可)



	1. 身だしなみ	2. 言葉遣い	3. プライバシーの保護	4. 職業適性	5. モチベーション	6. 臨床に対する心構え	7. 獣医学生としての自覚	8. 患者(動物)への配慮	9. オーナーへの配慮	10. 診察能力	11. 総合的臨床能力	12. その他
■ 全体	55.5	64.3	37.9	29.1	50.8	59.0	68.6	70.5	72.5	17.0	21.5	6.8
■ 国公立	57.3	68.5	42.0	27.5	51.5	57.6	70.8	72.5	74.6	18.3	20.7	8.8

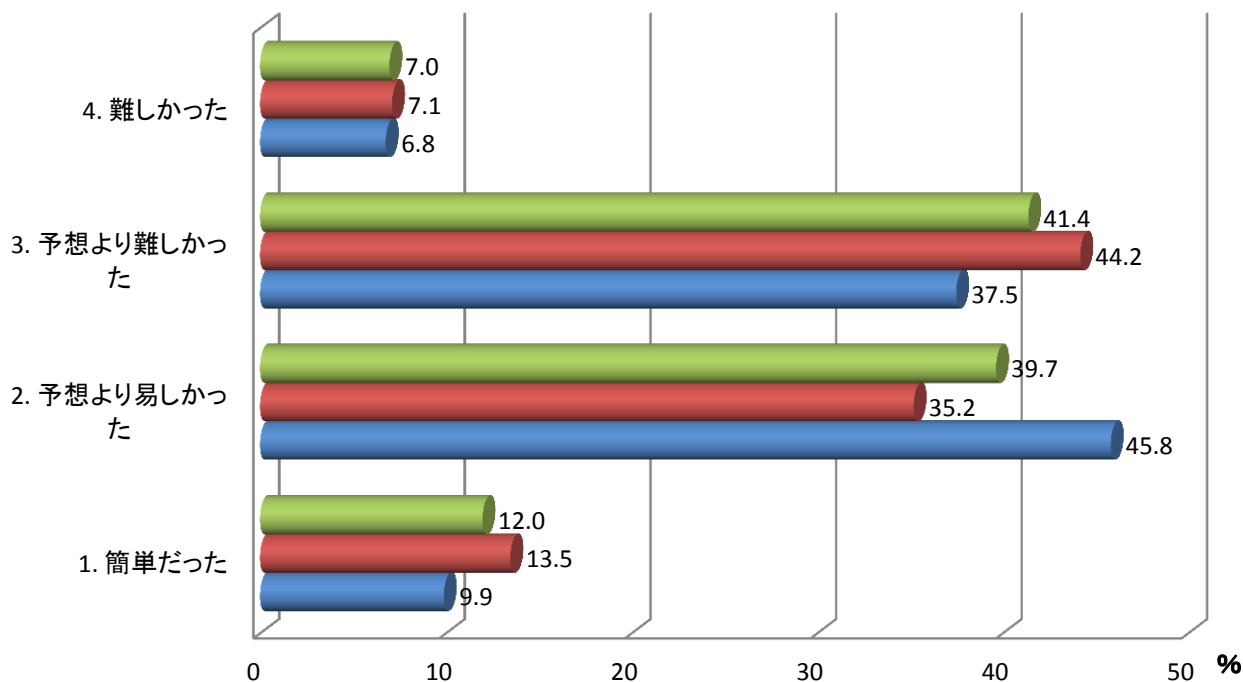
4) 共用試験の問題作成に関する質問にお答えください。

問21. 問題を作成した率直な感想をお答え下さい。

1. 簡単だった 2. 予想より易しかった 3. 予想より難しかった 4. 難しかった

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問21	6	9	10	4									北大	国公
問21	5	9	19	3									帯畜	国公
問21	4	4	6	2									岩大	国公
問21	3	8	5	0									東大	国公
問21	1	10	9	0									農工大	国公
問21	5	6	14	0									岐阜大	国公
問21	3	13	9	1									鳥取大	国公
問21	2	1	9	6									山口大	国公
問21	0	10	6	2									宮崎大	国公
問21	3	11	13	1									鹿大	国公
問21	4	13	18	0									府大	国公
問21	5	20	7	3									酪農学園	私
問21	1	17	24	4									北里大	私
問21	4	17	16	0									日獣	私
問21	2	15	10	2									日大	私
問21	7	19	15	4									麻布大	私
合計	55	182	190	32									459	
回答者数	全体: 459		国公立: 267		私立: 192									

21. 問題を作成した率直な感想について



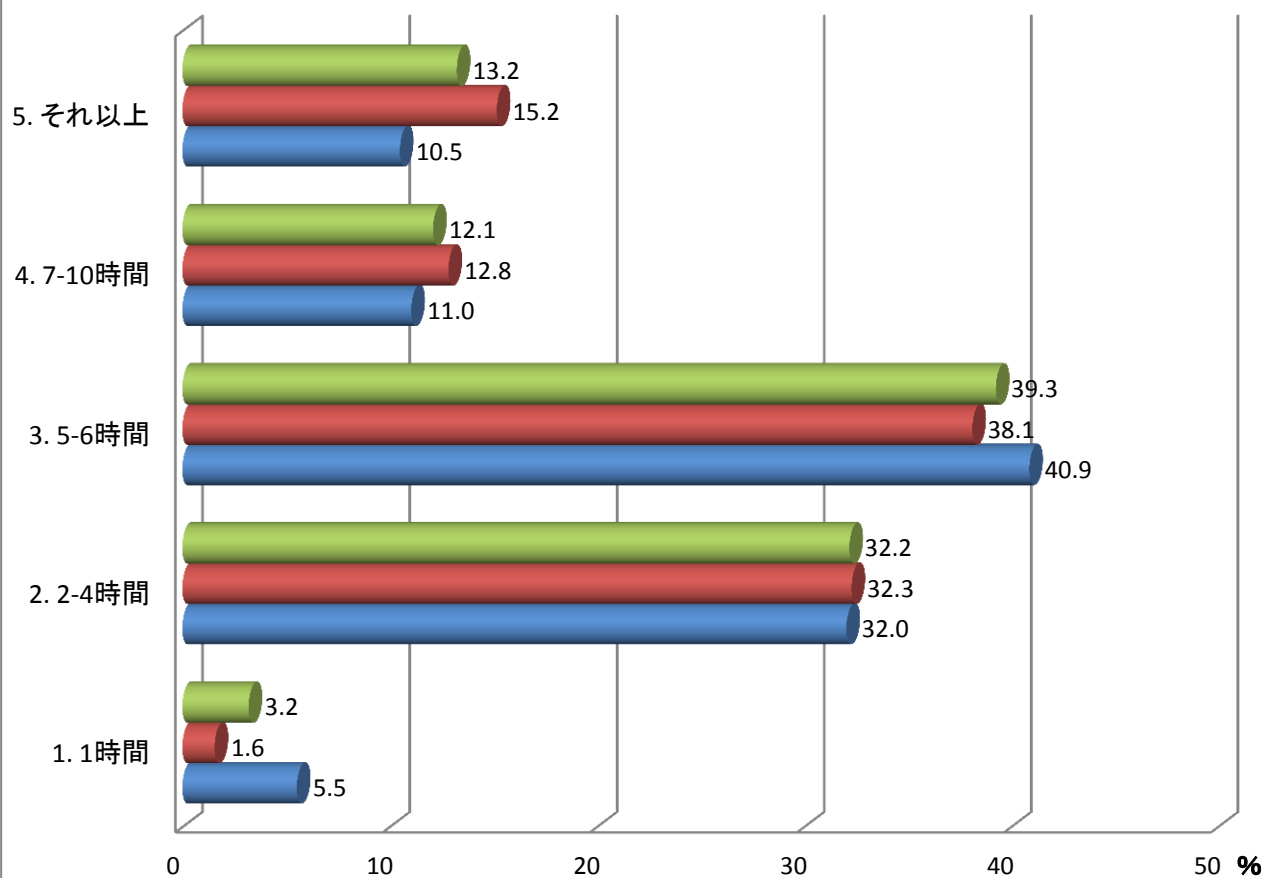
	1. 簡単だった	2. 予想より易しかった	3. 予想より難しかった	4. 難しかった
■ 全体	12.0	39.7	41.4	7.0
■ 国公立	13.5	35.2	44.2	7.1
■ 私立	9.9	45.8	37.5	6.8

問23. 10題の入力に何日費やしましたか？（10題以上入力された方は最初の10題）

1. 1時間 2. 2-4時間 3. 5-6時間 4. 7-10時間 5. それ以上

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問23	0	10	12	2	4								北大	国公
問23	0	9	15	3	6								帯畜	国公
問23	0	5	6	1	4								岩大	国公
問23	1	10	5	2	0								東大	国公
問23	0	5	9	4	0								農工大	国公
問23	0	7	11	3	3								岐阜大	国公
問23	0	8	10	6	2								鳥取大	国公
問23	0	7	0	5	6								山口大	国公
問23	0	5	8	1	5								宮崎大	国公
問23	2	6	12	3	5								鹿大	国公
問23	1	11	10	3	4								府大	国公
問23	2	15	13	2	3								酪農学園	私
問23	0	16	17	7	5								北里大	私
問23	2	9	14	4	4								日獣	私
問23	3	7	10	1	2								日大	私
問23	3	11	20	6	5								麻布大	私
合計	14	141	172	53	58								438	
回答者数	全体: 438		国公立: 257		私立: 181									

23. 問題10題の入力に費やした時間



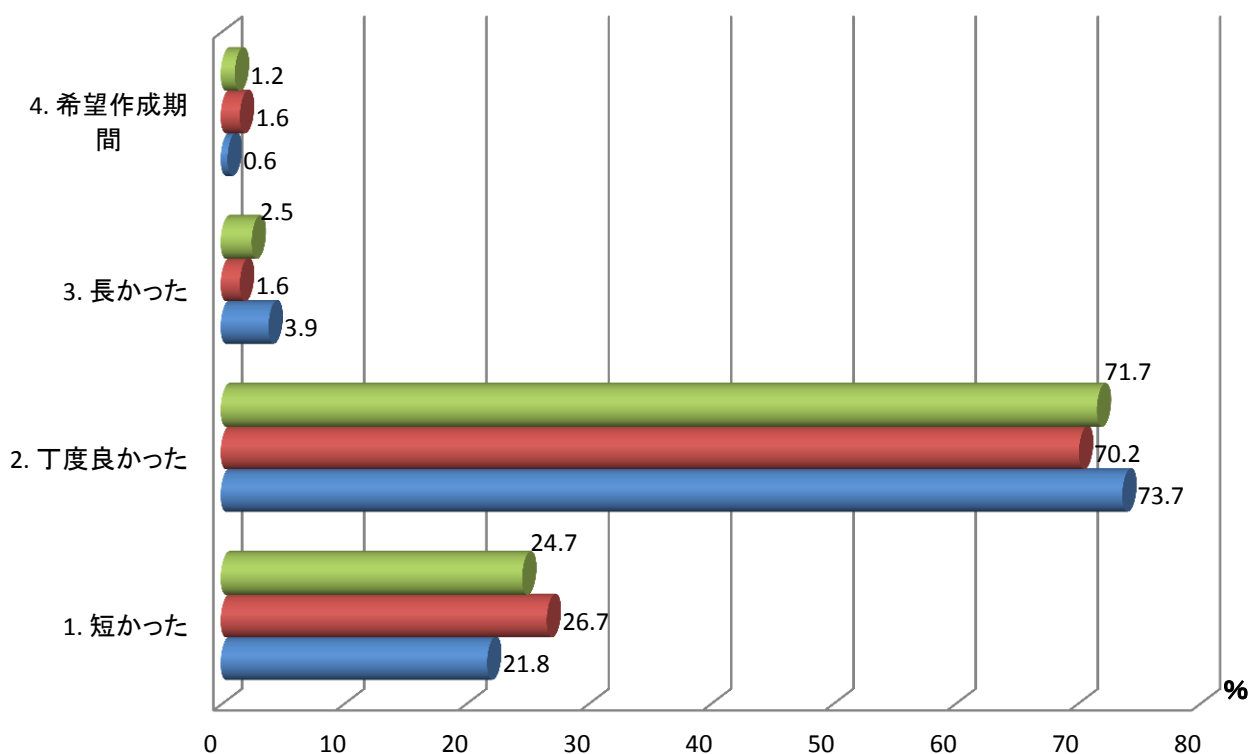
	1. 1時間	2. 2-4時間	3. 5-6時間	4. 7-10時間	5. それ以上
■ 全体	3.2	32.2	39.3	12.1	13.2
■ 国公立	1.6	32.3	38.1	12.8	15.2
■ 私立	5.5	32.0	40.9	11.0	10.5

問24. 問題作成期間（今回は約4週間）についてお答え下さい。

1. 短かった 2. 丁度良かった 3. 長かった 4. 希望する作成期間（ 週間）

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問24	7	19	0	1									北大	国公
問24	7	24	0	1									帯畜	国公
問24	4	10	1	1									岩大	国公
問24	2	12	1	0									東大	国公
問24	6	13	0	0									農工大	国公
問24	6	18	0	0									岐阜大	国公
問24	0	26	0	0									鳥取大	国公
問24	11	6	1	0									山口大	国公
問24	5	15	0	0									宮崎大	国公
問24	8	19	1	0									鹿大	国公
問24	12	17	0	1									府大	国公
問24	7	26	2	0									酪農学園	私
問24	10	35	0	0									北里大	私
問24	6	26	0	0									日獣	私
問24	10	11	1	0									日大	私
問24	6	34	4	1									麻布大	私
合計	107	311	11	5									434	
回答者数	全体: 434		国公立: 255		私立: 179									

24. 問題作成期間(4週間)について

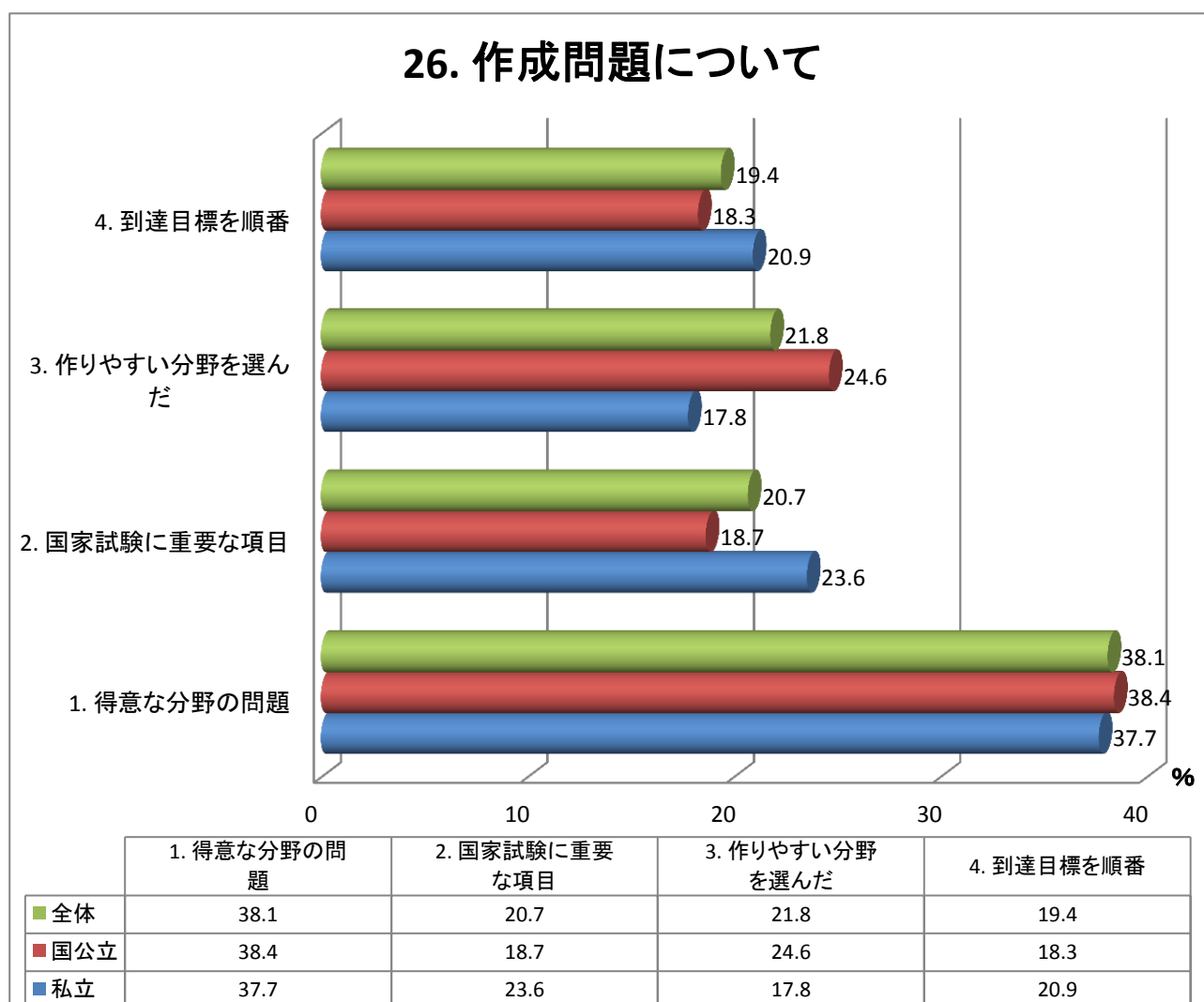


	1. 短かった	2. 丁度良かった	3. 長かった	4. 希望作成期間
■ 全体	24.7	71.7	2.5	1.2
■ 国公立	26.7	70.2	1.6	1.6
■ 私立	21.8	73.7	3.9	0.6

問26. あなたが行った作成問題についてお答え下さい。

1. 得意な分野の問題を作成した
2. 国家試験に重要な項目を作成した
3. 作りやすい分野を選んで問題を作成した
4. 到達目標を順番に作成した

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問26	12	6	7	4									北大	国公
問26	11	6	9	9									帯畜	国公
問26	7	2	5	2									岩大	国公
問26	5	4	7	0									東大	国公
問26	7	6	1	3									農工大	国公
問26	8	2	10	6									岐阜大	国公
問26	13	6	5	2									鳥取大	国公
問26	4	3	6	5									山口大	国公
問26	11	3	2	4									宮崎大	国公
問26	12	3	8	8									鹿大	国公
問26	13	9	6	6									府大	国公
問26	9	12	8	8									酪農学園	私
問26	20	11	9	7									北里大	私
問26	14	8	5	10									日獣	私
問26	8	7	3	5									日大	私
問26	21	7	9	10									麻布大	私
合計	175	95	100	89									459	
回答者数	全体: 459		国公立: 268		私立: 191									

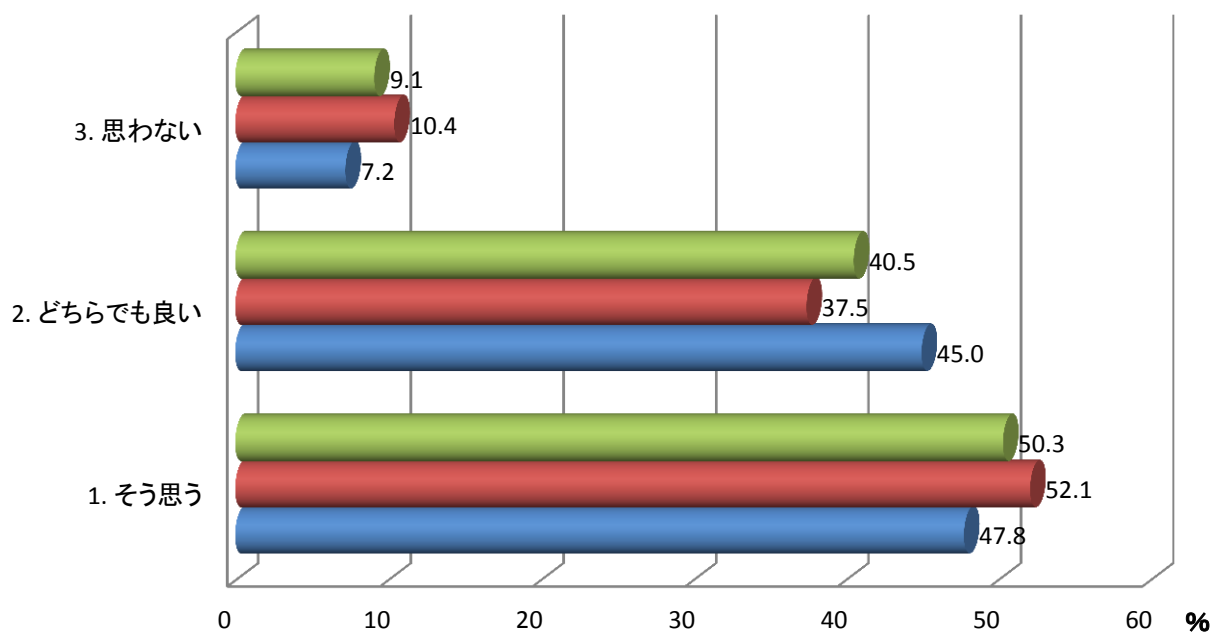


問27. 問題作成において、他の人が作成した問題の項目が分かると便利だとおもいますか？

1. そう思う 2. どちらでも良い 3. 思わない

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別	
問27	18	7	4										北大	国公	
問27	18	13	2										帯畜	国公	
問27	4	9	1										岩大	国公	
問27	11	5	2										東大	国公	
問27	9	6	3										農工大	国公	
問27	10	11	3										岐阜大	国公	
問27	13	10	3										鳥取大	国公	
問27	9	9	1										山口大	国公	
問27	15	3	2										宮崎大	国公	
問27	12	15	1										鹿大	国公	
問27	16	9	5										府大	国公	
問27	20	12	3										酪農学園	私	
問27	22	18	5										北里大	私	
問27	15	16	1										日獣	私	
問27	13	9	1										日大	私	
問27	16	26	3										麻布大	私	
合計	221	178	40										439		
回答者数	全体: 439			国公立: 259			私立: 180								

27. 問題作成において他の人が作成した問題の項目がわかると便利かどうかについて



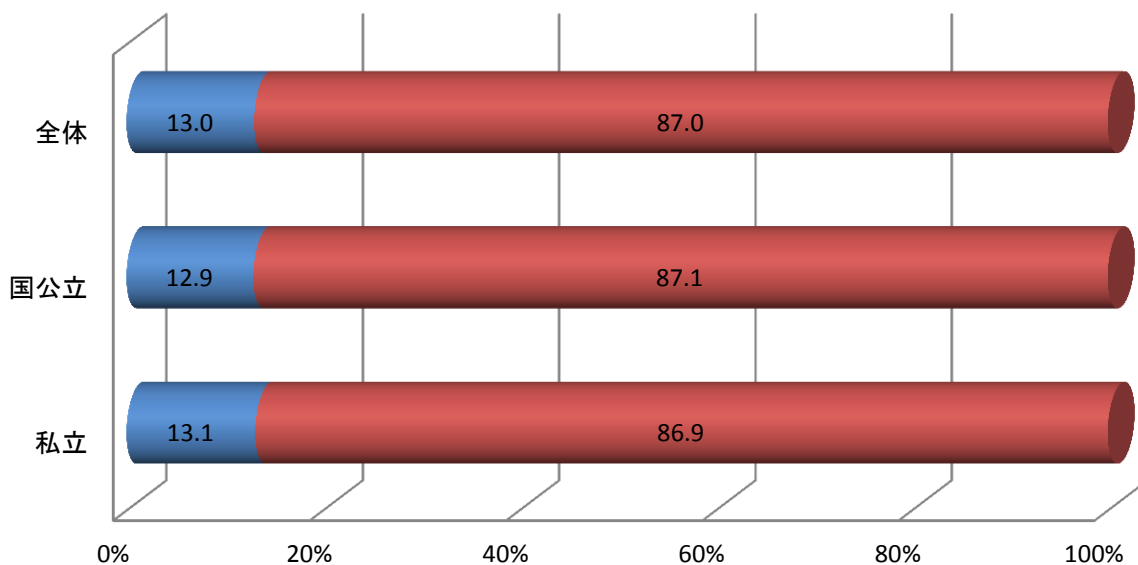
	1. そう思う	2. どちらでも良い	3. 思わない
■ 全体	50.3	40.5	9.1
■ 国公立	52.1	37.5	10.4
■ 私立	47.8	45.0	7.2

問28. 問題作成画面で改良を希望する事項はありますか？

1. ある（具体的に： _____ ） 2. ない

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問28	3	20											北大	国公
問28	5	27											帯畜	国公
問28	0	14											岩大	国公
問28	3	12											東大	国公
問28	3	13											農工大	国公
問28	1	22											岐阜大	国公
問28	3	20											鳥取大	国公
問28	1	13											山口大	国公
問28	2	17											宮崎大	国公
問28	5	21											鹿大	国公
問28	4	23											府大	国公
問28	4	27											酪農学園	私
問28	4	36											北里大	私
問28	6	23											日獣	私
問28	1	20											日大	私
問28	6	33											麻布大	私
合計	51	341											392	
回答者数	全体： 392		国公立： 232		私立： 160									

28. 問題作成画面における改良を希望する事項の有無



	私立	国公立	全体
■ 1. ある	13.1	12.9	13.0
■ 2. ない	86.9	87.1	87.0

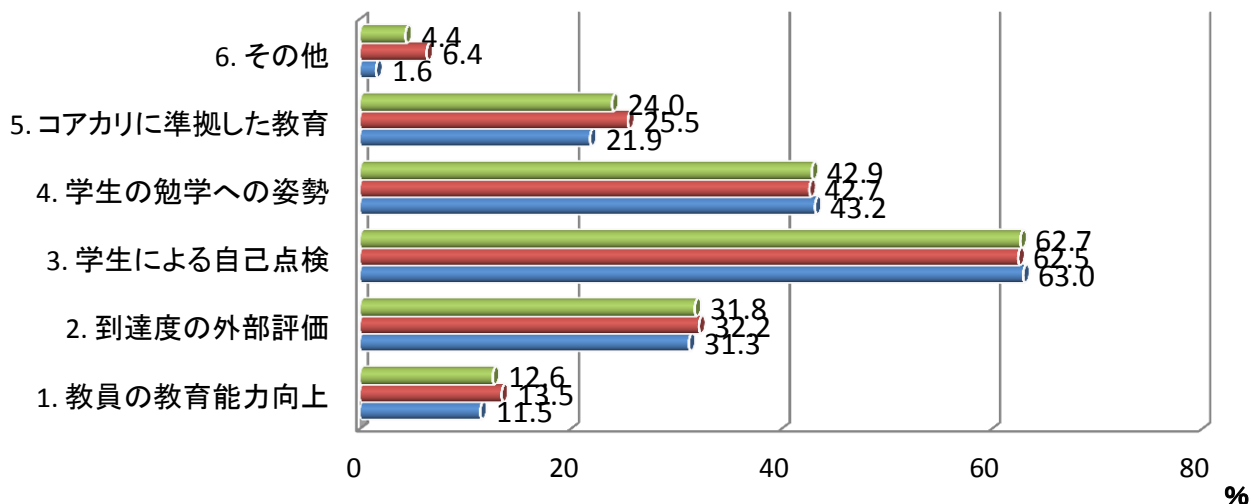
5) 実施前の共用試験について、あなたの持っている印象についてお聞かせ下さい。

問29. 獣医学共用試験導入により良くなると考えられる点は何ですか？（複数回答可）

1. 教員の教育能力向上
2. 到達度の外部評価
3. 学生による教育到達の自己点検
4. 学生の勉学への姿勢
5. コアカリに準拠した教育
6. その他（)

設問/回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	大学名	国公・私別
問29	5	11	17	13	8	2							北大	国公
問29	4	14	27	12	9	1							帯畜	国公
問29	3	5	8	7	2	1							岩大	国公
問29	3	7	6	11	6	2							東大	国公
問29	1	2	9	10	6	1							農工大	国公
問29	0	10	14	4	10	3							岐阜大	国公
問29	1	5	20	19	8	0							鳥取大	国公
問29	3	4	11	8	2	0							山口大	国公
問29	4	6	17	11	5	2							宮崎大	国公
問29	5	7	21	10	4	2							鹿大	国公
問29	7	15	17	9	8	3							府大	国公
問29	7	15	22	15	6	0							酪農学園	私
問29	2	8	29	27	7	1							北里大	私
問29	7	13	24	15	9	0							日獣	私
問29	1	12	15	13	5	1							日大	私
問29	5	12	31	13	15	1							麻布大	私
合計	58	146	288	197	110	20							819	
回答者数	全体: 459		国公立: 267		私立: 192									

29. 獣医学共用試験導入により良くなると考える点（複数回答可）



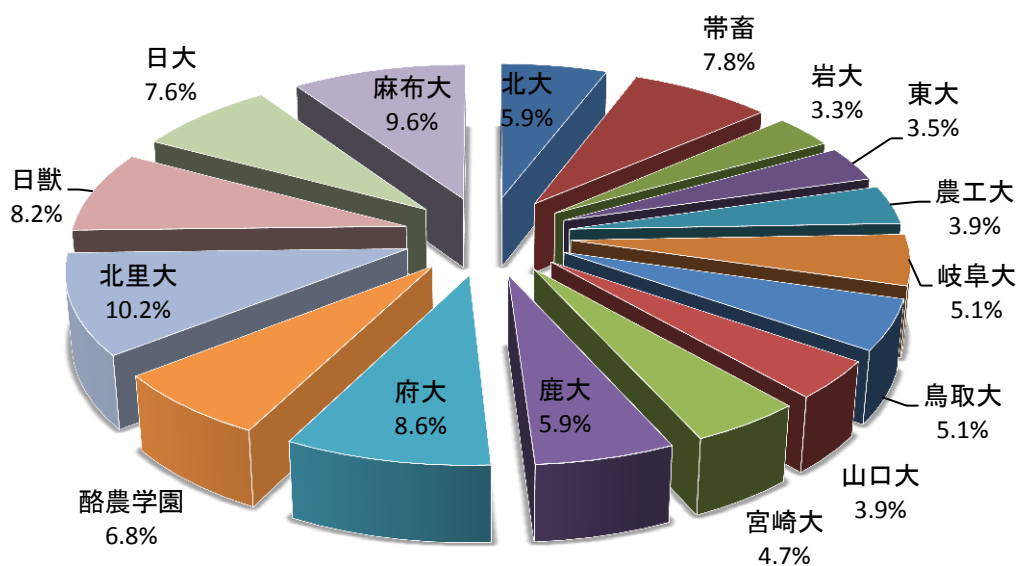
	1. 教員の教育能力向上	2. 到達度の外部評価	3. 学生による自己点検	4. 学生の勉学への姿勢	5. コアカリに準拠した教育	6. その他
■ 全体	12.6	31.8	62.7	42.9	24.0	4.4
■ 国公立	13.5	32.2	62.5	42.7	25.5	6.4
■ 私立	11.5	31.3	63.0	43.2	21.9	1.6

	配布教員数	回答教員数
北大		30
帯畜	45	40
岩大	27	17
東大	38	18
農工大	40	20
岐阜大		26
鳥取大		26
山口大		20
宮崎大	29	24
鹿大	33	30
府大	53	44
酪農学園	58	35
北里大	54	52
日獣	70	42
日大		39
麻布大	59	49

合計	506	512
国公立小計	265	295
私立小計	241	217

: 教員数不明

アンケート回答教員の大学別割合



資料2

vetCBT問題内容検討部会委員名簿(H25.1.16)

分野	部会責任者 (正○、副△)	所属	科目 責任者	科目 副責任者	科目	到達 目標数 (CBT範 囲)	出題数 (H24.7. 10)	科目 主任	所属	科目 委員1	所属	科目 委員2	所属
導入 基礎	○池田正浩	宮大	川崎	鈴木	1-1 獣医学概論	26	18	伊藤伸彦	北里大	土屋 亮	麻布大	芳賀 猛	東大
	△川崎安亮	鹿大	川崎	中島	1-2 獣医倫理・動物福祉学	12	52	橋爪 一善	岩手大	柿沼美紀	日獣大	岡田利也	府大
	△中島崇行	府大	木村	池田	1-3 獣医事法規	20	62	伊藤伸彦	北里大	吉村史朗	日獣大	堀内雅之	帯畜大
	△鈴木浩悦	日獣大	中島	池田	1-4 解剖学	51	480	九郎丸正道	東大	保田昌宏	宮大	佐々木基樹	帯畜大
	△木村和弘	北大	中島	鈴木	1-5 組織学	39	239	小川和重	府大	齋藤 正一郎	岐大	保坂善真	鳥大
			中島	鈴木	1-6 発生学	19	115	尼崎 肇	日獣大	山本雅子	麻布大	中牟田信明	岩大
			鈴木	川崎	1-7 生理学	84	503	志水泰武	岐大	中村洋一	府大	翁長武紀	酪農
			木村	池田	1-8 生化学	63	406	杉谷博士	日大	竹中重雄	府大	浅野 淳	鳥大
			池田	川崎	1-9 薬理学	71	432	堀 正敏	東大	乙黒兼一	北大	白石光也	鹿大
			鈴木	木村	1-10 動物遺伝育種学	18	91	今川和彦	東大	鈴木勝士	日獣大	国枝哲夫	岡山大
			川崎	中島	1-11 動物行動学	36	121	森 裕司	東大	横須賀 誠	日獣大	下鶴倫人	北大
			池田	中島	1-12 実験動物学	39	200	久和 茂	東大	安居院高志	北大	岡田利也	府大
			池田	川崎	1-13 放射線生物学	13	156	稲波 修	北大	遠藤大二	酪農大	浅沼武敏	宮崎大
	小計						491	2875					
病態	○片倉 賢	北大	代田	村瀬	2-1 病理学	96	351	山口良二	宮崎大	桑村 充	府大	内田和幸	東大
	△代田欣二	麻布大	代田	片倉	2-2 免疫学	37	155	池田輝雄	麻布大	西野佳以	京産大	小川健司	理化研
	△村瀬敏之	鳥大	村瀬	片倉	2-3 微生物学	74	338	福士秀人	岐大	前田 健	山口大	佐藤久聡	北里大
			村瀬	代田	2-4 家禽疾病学	37	103	高瀬公三	鹿大	山口剛士	鳥取大	竹原一明	農工大
			片倉	代田	2-5 魚病学	35	71	児玉 洋	府大	森友忠昭	日大	和田新平	日獣大
			片倉	代田	2-6 動物感染症学	41	219	福士秀人	岐大	末吉益雄	宮崎大	芳賀 猛	東大
			片倉	村瀬	2-7 寄生虫病学	60	428	野中成晃	宮崎大	横山直明	帯畜大	加藤大智	北大
小計						380	1665						
応用	○杉山 誠	岐大	樋口	丸山	3-1 動物衛生学	22	165	末吉益雄	宮崎大	迫田義博	北大	村上賢二	岩手大
	△丸山総一	日大	杉山	丸山	3-2 公衆衛生学総論	18	35	田村 豊	酪農大	三澤尚明	宮崎大	荻和宏明	北大
	△樋口 豪紀	酪農大	丸山	樋口	3-3 食品衛生学	19	164	三澤尚明	宮崎大	三宅真実	府大	中馬猛久	鹿大
			樋口	杉山	3-4 環境衛生学	34	101	上野俊治	北里大	佐藤 至	岩手大	植田富貴子	日獣大
			樋口	丸山	3-5 毒性学	43	231	寺岡宏樹	酪農大	佐藤晃一	山口大	石塚真由美	北大
			丸山	杉山	3-6 人獣共通感染症学	22	173	山田章雄	東大	荻和宏明	北大	村松康和	酪農大
			杉山	丸山	3-7 疫学	38	48	坪谷秀樹	農工大	加藤行男	麻布大	蒔田浩平	酪農大
			杉山	丸山	3-8 野生動物学	12	104	坪田敏男	北大	鈴木正嗣	岐阜大	羽山伸一	日獣大
小計						208	1021						
臨床 A	○稲葉 睦	北大	佐藤	稲葉	4-1 内科学総論	18	103	滝口満喜	北大	片本 宏	宮崎大	笹井和美	府大
	△佐藤れん	岩大	稲葉	奥田	4-2 臨床病理学	15	153	松木直章	東大	盆子原 誠	日獣大	大和 修	鹿大
	△亘 敏広	日大	奥田	亘	4-3 臨床薬理学	3	35	堀 正敏	東大	下田 実	農工大	西飯直仁	岐阜大
	△奥田 優	山口大	亘	奥田	4-4 呼吸循環器病学	9	116	竹村直行	日獣大	藤井洋子	麻布大	山谷吉樹	日大
			亘	奥田	4-5 消化器病学	7	75	大野 耕一	東大	坂井 学	日大	滝口満喜	北大
			佐藤	亘	4-6 泌尿生殖器病学	13	77	星 史雄	北里大	大石明広	帯畜大	津曲茂久	日大
			佐藤	奥田	4-7 内分泌代謝病学	5	66	左向敏紀	日獣大	松木直章	東大	西飯直仁	岐阜大
			奥田	稲葉	4-10 血液免疫病学	3	39	盆子原 誠	日獣大	久末正晴	麻布大	山崎真大	北大
			奥田	亘	4-11 皮膚病学	5	66	笹井和美	府大	前田貞俊	岐阜大	西藤公司	農工大
			佐藤	亘	4-12 臨床行動学	6	14	武内ゆかり	東大	入交眞巳	北里大	水越美奈	日獣大
			亘	佐藤	4-20 画像診断学	8	132	宮原和郎	帯畜大	滝口満喜	北大	藤田道郎	日獣大
	小計						92	876					
臨床 B	○山下和人	酪農大	猪熊	田中	4-8 臨床栄養学	6	76	左向敏紀	日獣大	及川 伸	酪農大	西飯直仁	岐阜大
	△猪熊 壽	帯畜大	山下	岡野	4-9 神経病学	9	79	宇塚雄次	岩手大	上野博史	酪農大	神志那弘明	岐阜大
	△田中 知己	農工大	岡野	山下	4-13 外科学総論	13	131	中市統三	山口大	嶋田雅雅	府大	山添和明	岐阜大
	△岡野 昇三	北里大	岡野	山下	4-14 手術学総論	20	119	奥村正裕	北大	大石明広	帯畜大	浅野和之	日大
	△望月 学	東大	山下	岡野	4-15 麻酔学	30	98	永延清和	宮崎大	佐野忠士	酪農大	井芹俊恵	府大
			山下	岡野	4-17 運動器病学	5	46	左近允 巖	北里大	枝村一弥	日大	藤木 誠	鹿大
			岡野	山下	4-18 臨床腫瘍学	7	89	廉澤 剛	酪農大	丸尾幸嗣	岐阜大	岡本芳晴	鳥取大
			山下	岡野	4-19 眼科学	3	76	前原誠也	酪農大	滝山直昭	日大	伊藤良樹	山口大
			猪熊	田中	4-21 産業動物臨床学	45	198	山岸則夫	岩手大	田島誉士	酪農大	大場恵典	岐阜大
			猪熊	田中	4-22 馬臨床学	5	26	及川正明	北里大	佐々木直樹	帯畜大	帆保誠二	鹿大
		田中	猪熊	4-23 臨床繁殖学	57	343	玉田尋通	府大	村瀬哲磨	岐阜大	永野昌志	北大	
小計						200	1281						
合計						1371	7718						

vetCBT 問題精選システム説明会

第1回 vetCBT 問題精選システム説明会（遠藤、システム開発業者）

日時: 2月26日 16:00～18:00

会場: 北海道大学・大学院獣医学研究科・講堂(本館南側)

北海道・東北ブロック

説明者: 稲葉、片倉 (北海道大学)

3月4日 (月) 15:00～ 岩手大学

3月5日 (火) 13:00～ 北里大学

3月8日 (金) 帯広畜産大学

説明者: 遠藤、山下 (酪農学園大学)

3月11日 (月)

13:00～15:00 酪農学園大学・獣医学群中会議室

関東ブロック

説明者: 杉山 (岐阜大学)

3月7日 (木)

10:00～12:00 東京大学・農学部・フードサイエンス棟第一会議室

13:30～15:30 東京農工大学・4号館4階4-429室

17:30～18:00 理化学研究所・和光研究所 (小川健司先生)

3月8日 (金)

9:30～11:30 麻布大学・獣医学部棟7階会議室

13:00～15:00 日本獣医生命科学大学・B311教室

3月9日 (土)

10:00～12:00 日本大学・9号館1F小動物臨床講義室

関西ブロック

説明者: 杉山 (岐阜大学)

3月5日 (火) 13:00～15:00 岐阜大学・第1会議室

3月11日 (月)

11:00～12:30 京都産業大学総合生命科学部 (西野佳以先生)

16:00～18:00 大阪府立大学

3月12日 (火)

10:00～11:30 岡山大学・環境生命科学研究科 (国枝哲夫先生)

16:00～18:00 鳥取大学

九州・中国ブロック

説明者: 池田 (宮崎大学)

3月5日 (火)

宮崎大学 18:00～19:30

3月6日 (木) 10:30～12:00

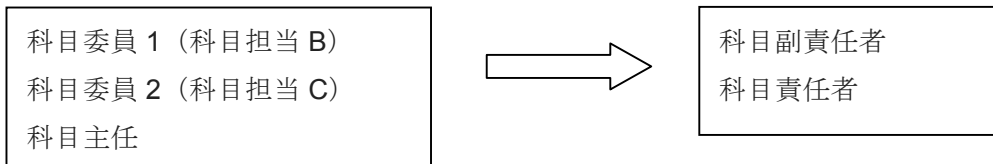
鹿児島大学・組織学特殊実習室 (A棟4階)

山口大学・4番教室 (遠隔システム開催)

2013 年 3 月 2 日

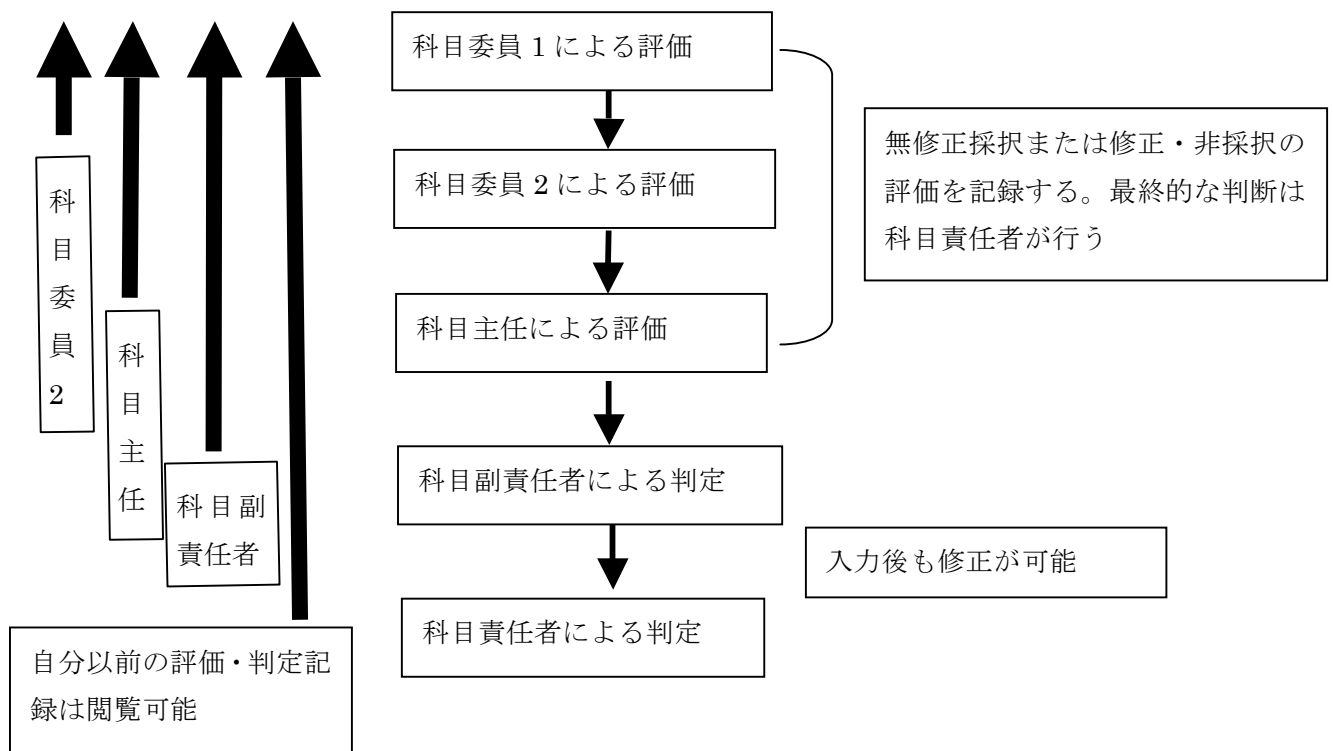
精選作業の概要

科目委員による専門的な立場での評価 → 科目責任者および副責任者: 評価をふまえて判定



精選入力作業の進行順

- 矢印で進行順を示す。基本的に評価は、問題ごとに先行する委員の評価終了後に実施する。
- 基本的に科目委員は評価を担当し、問題についての採否(判定)は科目責任者が判断する。
- 評価が終了した問題について、評価を変更することはできない。次の委員が評価を実施するまで確認はできる。
- 修正・非採択について: 問題に関する科目委員の修正と非採択の評価は、責任者が判定時に参照する。



精選サイト URL

<http://glexa.net/cbt/selection/>

資料 3

CBT 問題精選・修正作業の評価ポイント

無修正採択とする場合の基準

- 一題 1 分程度で解答できる
- 分かりやすい問題・解答選択肢
- 単一の内容のみを含む問題・解答選択肢
- 肯定的な構文である。
- 選択肢の内容は、原則として同一範疇とする。
- 予想正答率は 60%以上

修正・非採択とする場合の基準

評価	理由/修正内容
修正採択	文章の修正
	問題・解答内容の修正
	出題到達目標の修正
	その他の修正(自由記述欄に記述)
非採択	明らかに問題・解答が間違っている
	出題の意図が不明確である
	難易度が高く、正答率 50%未満が予想される
	明らかにコアカリの範囲外である
	学説の変化、法律の改正等により、今後、修正される可能性が高い内容である
	その他(自由記載欄)

マニュアルの参照方法

科目委員と、科目責任者・副責任者で画面が異なります。右上のマニュアル種別で自分の担当のマニュアルのページであることを確認ください。ご質問は support@mail.vet-cato.org にメール下さい。

目次

科目委員用マニュアル.....	3
科目責任者・副責任者用マニュアル.....	10

ログインページ(共通) (ログイン ID とパスワードは別途連絡します)

CBT 問題精選システム

ログインID

パスワード

> [パスワードを忘れた方はこちらへ](#)

資料 3

(次ページから 担当別マニュアル)

① ログイン ID の連絡

- a) メールでログイン ID と初期パスワードを連絡します。複数科目を担当される場合、**ログイン ID は科目ごとに異なります**のでご注意ください。パスワードはログイン ID にかかわらず 1 人 1 つ設定しています。

酪農学園大学
遠藤先生

獣医学共用試験 CBT 用問題の精選をお引き受け
いただきありがとうございます。

この度、先生に精選をご実施いただくための
ログイン ID とパスワードを下記のように用意
いたしましたので、お知らせいたします。

科目 1 基礎生物物理学
役割 科目副責任者
ログイン ID ddendoh1

科目 2 放射線生物学
役割 科目主任
ログイン ID ddendoh2

パスワード mz1f5T

- b) 安全のため、メールを受け取ったら最初にパスワードを変更してください。

利用者情報

タイトル	内容
ログインID	denoch6@rakuno.ac.jp
利用者コード[大学番号(3桁)+利用者番号(4桁)]	001-0678
氏名	遠藤 大六 最初に利用する際にはパスワードを変更してください。
氏名(フリガナ)	えんどう だいりく
権限	科目委員2 (C)
担当科目	• マニュアル用ダミー科目
パスワード	<input type="button" value="パスワードの変更はこちらから"/>

パスワード変更

新しいパスワードを設定	
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワードの確認	<input type="password"/> パスワード変更時には文字が表示されません。
現在のパスワードを入力	
現在のパスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="パスワード変更"/> ← 新旧パスワード入力後クリック	

② ログイン後の基本的な画面



各文字をクリックするとそれぞれの機能に移動します。

利用者情報

この文字をクリックするとマニュアルのダウンロードページに移動します。

タイトル	内容
ログインID	dendoh5@rakuno.ac.jp
利用者コード[大学番号 (3桁)・利用者番号 (4桁)]	001-0677
氏名	遠藤 大五
氏名 (フリガナ)	えんどう だいご
権限	科目委員 1 (B)
担当科目	・ マニュアル用ダミー科目
パスワード	<input type="button" value="パスワードの変更はこちらから"/>

お名前・委員の役割・科目を確認ください。

③ 精選状況の確認 全体の進行状況を閲覧し、自身の担当可能な問題を確認する



メイン画面でこのタブをクリックするとこの画面になります

設問状況一覧

▼ 分野: 導入教育・基礎医学教育分野 ▼ 科目: マニュアル用ダミー科目

一般目標: マニュアル用ダミー目標 到達目標: 植物に関する知識

各委員の評価状況が表示されます。評価・判定順が自分以前の委員については評価結果が表示され、それ以降の委員については「終了」とだけ表示されます

ID	コード	タイトル	本文	科目委員 1	科目委員 2	科目主任	科目副責任者	科目責任者
7149	A114-010000	[サンプル]裸子植物について	次のうち裸子植物にない物はどれでしょう。	修正・非採択	終了	終了	終了	終了
7150	A114-010000	[サンプル]光合成について	光合成は細胞の中のどの部分で行われるか。	修正・非採択	終了	終了		
7151	A114-010000	[サンプル]果実について	果実は何が変化したものか。	修正・非採択	終了			
7152	A114-010000	[サンプル]被子植物を選ぶ	次の選択肢の中から被子植物を選びなさい。	修正・非採択	終了	終了		
7153	A114-010000	[サンプル]植物の分類	桜は次の選択肢のうち、何に分類されるか。	修正・非採択				
7154	A114-010000	[サンプル]双子葉類	次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。					

科目委員 1 については評価結果が、それ以降の委員に関しては終了していることが確認できる。

問題 ID7151 の問題に関しては、科目委員 2 まで終わっている。

- 全ての問題は、先行する委員が修正した結果が表示されます。先行委員による修正があった場合には、その修正を前提として評価を実施してください。
- 修正理由記入中にログアウトすると作業がクリアされてしまいます。途中で終わる場合には修正理由をメモ帳などに保管してください。

資料 3

科目委員用マニュアル

- ④ 設問精選タブ これから実施する問題について「評価」ボタンをクリックする。前の委員がまだ評価をしていない場合、「評価待ち」または「未着手」が表示される。



この文字をクリックするとこの画面になる

設問一覧

▼ 分野: 導入教育・基礎獣医学教育分野 ▼ 科目: マニュアル用ダメー科目

自分の次の委員が評価を終了すると何も表示されなくなる

一般目標: マニュアル用ダメー目標 到達目標: 植物に関する知識

自分の次の委員が評価をしていない間は評価を確認できる

これから評価に着手する場合、このボタンをクリックする

	ID	コード	ステータス	タイトル	本文
	7149	A114-010000	完了	[サンプル]裸子植物について	次のうち裸子植物にない物はどれでしょう。
	7150	A114-010000	評価済み	[サンプル]光合成について	光合成は細胞の中のどの部分で行われるか。
	7151	A114-010000	評価済み	[サンプル]果実について	果実は何が変化したものか。
	7152	A114-010000	評価済み	[サンプル]被子植物を選ぶ	次の選択肢の中から被子植物を選びなさい。
<input type="button" value="確認"/>	7153	A114-010000	評価済み	[サンプル]植物の分類	桜は次の選択肢のうち、何に分類されるか。
<input type="button" value="評価"/>	7154	A114-010000	評価	[サンプル]双子葉類	次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。

- ⑤ 問題の評価画面(上部) 最上部に問題の原文、その下にそれまでの委員の評価結果、その下に前担当者の修正結果が表示される

原文

タイトル [サンプル]双子葉類

問題本文 次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。

選択肢

- 1: どうもろこし
- 2: チューリップ
- 3: クロッカス
- 4: 桜
- 5: 梅

解説 「中学校理科 植物の花と葉のつくり」からの出題です。双子葉類にあたるのはクロッカスです。

予想正解率 60%

タイトル	内容
コアカリキュラムコード	A114-010-000
分野	A1 導入教育・基礎獣医学教育分野
科目	14 マニュアル用ダメー科目
一般目標	010 マニュアル用ダメー目標
到達目標	000 植物に関する知識

評価履歴

科目委員1	区分
	無修正
修正・再選択理由	
その他の理由	
修正箇所の説明	

前担当者

修正者	科目委員1
タイトル	[サンプル]双子葉類
問題本文	次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。
選択肢	1: どうもろこし 2: チューリップ ○ 3: クロッカス 4: 桜 5: 梅
解説	「中学校理科 植物の花と葉のつくり」からの出題です。双子葉類にあたるのはクロッカスです。
予想正解率	60%
評価	無修正
修正・再選択理由	
その他の理由	
修正箇所の説明	

原文

これまでに実施された
評価結果の概要

前担当者の評価結果

資料 3

科目委員用マニュアル

問題の評価画面(続き) 画面下部の修正作業欄に修正を記入してください。続いて、修正・非採択の場合、内容を選択し、理由と説明を記入後、「無修正」か「修正・非採択」のボタンをクリックしてください。この際、修正したのに「無修正」ボタンを間違えて押したり、その逆が無いように気をつけてください。

修正作業欄	
タイトル	[サンプル]双子葉類
問題本文	次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。 <input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません ※アップロードファイル：500kb以下（H 200px W 200pxまで）種類：jpg, pngのみ
選択肢	1: <input type="text" value="とうもろこし"/> 2: <input type="text" value="チューリップ"/> 3: <input type="text" value="クロッカス"/> 4: <input type="text" value="稲"/> 5: <input type="text" value="桜"/>
解答	3
解説	「中学校理科 植物の花と葉のつくり」からの出題です。 双子葉類にあたるのはクロッカスです。
予想正解率	60 %
修正・非採択理由	
その他の理由	
修正箇所の説明	
<input type="button" value="無修正"/> <input type="button" value="修正・非採択"/>	

①この欄の文字を直接編集

②予想正解率を確認または変更

③修正の理由を選択・必要な場合説明を記入

④選択

★編集終了時には下記のボタンのどちらかをクリックしてください。

無修正	修正・非採択
-----	--------

★★★次に表示される確認で「はい」をクリックすれば、それ以降修正はできません。

修正・非採択の場合のポイント 1 予想正解率 将来受験する学生を想定して正解率を予想する

予想正解率	70 %
-------	------

修正・非採択の場合のポイント 2 修正・非採択内容の選択

修正・非採択理由	非採択 (難易度が高く、正答率50%未満が予測される) 修正採択 (文章の修正) 修正採択 (問題・解答内容の修正) 修正採択 (出題到達目標の修正) 修正採択 (その他 自由記載欄に記述)	該当する理由を選択して反転させてからクリックすると理由が選択される
その他の理由	非採択 (明らかに問題・解答が間違っている) 非採択 (出題の意図が不明確である) 非採択 (難易度が高く、正答率50%未満が予測される) 非採択 (明らかにコアカリの範囲外である) 非採択 (学説の変化、法律の改正等により、今後、修正される可能性が高い内容である) 非採択 (その他 自由記載欄に記述)	

修正・非採択の場合のポイント 3 場合によっては理由欄に記入、修正箇所も記入

(図表が不適切な場合には、図表自体を修正せず、修正箇所欄に記入する)

修正・非採択理由	修正採択 (その他 自由記載欄に記述)	修正採択(その他) または非採択(その他) を選んだ場合、その他の理由欄に記入
その他の理由	問題文・選択肢双方について出題意図がわかるようにし、添付されていた図を問題から除くべきである 修正箇所の説明を簡潔に記載 (図を交換する必要などについてもここに記載)	
修正箇所の説明	図を削除。種子等→種子	

★評価終了後に必ず「無修正」または「修正・非採択」ボタンをクリックする

無修正	修正・非採択
-----	--------

設問の修正の最後に確認ボタンが表示されます。このボタンで「はい」を選ぶと、それ以降修正ができません。

⑤ 画面上部の「設問精選」の文字をクリックして他の問題を評価する。評価できるようになった問題から順次評価をお願いします。

★追加注意点

類似した問題がありますが、そのまま単独の問題として評価をしてください。同一項目からは1問しか出題されません。従いまして、類似あるいは同一問題であっても、その中の一題が出題されるだけです。類似・同一問題は重要度が高いと考えることもでき、出題の確率が高まるのはむしろ望ましいと捉えています。

また、違う項目での類似・同一問題であっても、最終の出題の段階でチェックを入れますので、問題となりません。ランダムに出題した400題（未定）の問題群を複数作成し、それをランダムに受験生に割り振ります。この問題群をチェックし、重複問題を排除します。

このシステムは「現在、動いている問題・回答（修正作業欄）を評価する」が基本的な考え方です。本システムは評価を重ねて、より良くなっていくという思想に基づいていま

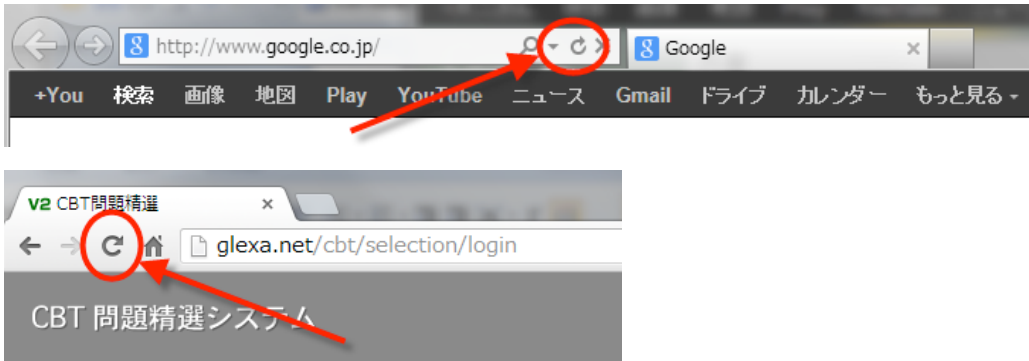
す。原文と前々までの評価結果も履歴として提示しているのは、あくまで参考のためですので、前任者の修正結果に対して評価をお願いします。**前任者が修正した結果がそのまま良いとご判断された場合、「無修正」を選択してください。**

選択肢の修正にあたっては選択肢ごとに以下のように意識してご検討ください。「正しいのはどれか 最も適当なのはどれか 最も適切なのはどれか 誤っているのはどれか 最も疑われるのはどれか 適当でないのはどれか」

資料 3

科目委員用マニュアル

修正後ブラウザのキャッシュ機能で画面が変化しないことがあります。先生方のコンピュータの設定によっては、キャッシュという機能で、修正したことが画面に反映しないことがあります。そのような場合、ブラウザの「再度読み込みボタン(下記)」を押してみてください。



正解率を変更入力したのに変化しない場合があります。そのような問題は精選を進めて頂きながら、問題 ID を下記にお知らせください。原因を調べるとともに正解率を修正します。

★精選システム自体を練習される場合のアカウント
理科の問題でシステムを練習いただけるようにしました。

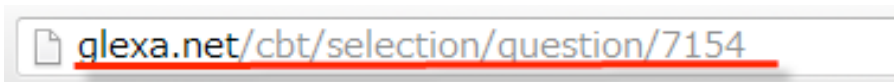
ログイン ID	パスワード	役割
dendoh5@rakuno.ac.jp	dendoh	科目委員 1
dendoh6@rakuno.ac.jp	dendoh	科目委員 2
dendoh4@rakuno.ac.jp	dendoh	科目主任
dendoh2@rakuno.ac.jp	dendoh	科目副責任者
dendoh1@rakuno.ac.jp	dendoh	科目責任者

★★ お問い合わせ

できるだけ下記アドレスにメールでお問い合わせください。

support@mail.vet-cato.org

お問い合わせの際には、ご覧になっているページのアドレスをコピーして本文に貼り付けてください。



問題になっている画面をキャプチャして添付いただくと、より迅速に対応可能です。

○画面キャプチャ方法(一例です)

Windows: <http://allabout.co.jp/gm/gc/20843/>

Mac: <http://hamachan.info/mac/kihon/screen.html>

① ログイン ID の連絡

- a) メールでログイン ID と初期パスワードを連絡します。複数科目を担当される場合、ログイン ID は科目ごとに異なりますのでご注意ください。パスワードはログイン ID にかかわらず 1 人 1 つ設定しています。

酪農学園大学
遠藤先生

獣医学共用試験 CBT 用問題の精選をお引き受け
いただきありがとうございます。

この度、先生に精選をご実施いただくための
ログイン ID とパスワードを下記のように用意
いたしましたので、お知らせいたします。

科目 1 基礎生物物理学
役割 科目副責任者
ログイン ID ddendoh1

科目 2 放射線生物学
役割 科目主任
ログイン ID ddendoh2

パスワード mz1f5T

- b) 安全のため、メールを受け取ったら最初にパスワードを変更してください。

利用者情報

タイトル	内容
ログインID	denoch6@rakuno.ac.jp
利用者コード【大学番号（3桁）・利用者番号（4桁）】	001-0678
氏名	遠藤 大六 最初に利用する際にはパスワードを変更してください。
氏名（フリガナ）	えんどう だいりく
権限	科目委員 2 (C)
担当科目	・ マニュアル用ダミー科目
パスワード	<input type="button" value="パスワードの変更はこちらから"/>

パスワード変更

新しいパスワードを設定	
新しいパスワード	<input type="password" value="....."/>
新しいパスワードの確認	<input type="password" value="....."/> パスワード変更時には文字が表示されません。
現在のパスワードを入力	<input type="password" value="....."/>
現在のパスワード	<input type="password" value="....."/>
<input type="button" value="パスワード変更"/> ← 新旧パスワード入力後クリック	

資料 3

科目責任者・副責任者用マニュアル

① ログイン後の基本的な画面



各文字をクリックするとそれぞれの機能に移動します。

利用者情報

この文字をクリックするとマニュアルのダウンロードページに移動します。

タイトル	内容
ログインID	dendoh5@rakuno.ac.jp
利用者コード[大学番号 (3桁)・利用者番号 (4桁)]	001-0677
氏名	遠藤 大五
氏名(フリガナ)	えんどう だいご
権限	科目委員1 (B)
担当科目	・ マニュアル用ダミー科目
パスワード	<input type="button" value="パスワードの変更はこちらから"/>

お名前・委員の役割・科目を確認ください。

- ② 設問精選タブ これから実施する問題について「評価」ボタンをクリックする。前の委員がまだ評価をしていない場合、「評価待ち」または「未着手」が表示される。責任者・副責任者の場合、評価ではなく「判定」だが、プログラムの事情でこのボタンは「評価」となっている。



この文字をクリックするとこの画面になる

設問一覧

▼ 分野:導入教育・基礎獣医学教育分野 ▼ 科目:マニュアル用ダミー科目

自分の次の委員が評価を終了すると何も表示されなくなる
 一般目標: マニュアル用ダミー目標 到達目標: 植物に関する知識
 自分の次の委員が評価をしていない間は評価を確認できる
 これから評価に着手する場合、このボタンをクリックする

	ID	コード	ステータス	タイトル	本文
	7149	A114-010000	完了	[サンプル]裸子植物について	次のうち裸子植物にない物はどれでしょう。
	7150	A114-010000	評価済み	[サンプル]光合成について	光合成は細胞の中のどの部分で行われるか。
	7151	A114-010000	評価済み	[サンプル]果実について	果実は何が変化したものか。
	7152	A114-010000	評価済み	[サンプル]被子植物を選ぶ	次の選択肢の中から被子植物を選びなさい。
<input type="button" value="確認"/>	7153	A114-010000	評価済み	[サンプル]植物の分類	桜は次の選択肢のうち、何に分類されるか。
<input type="button" value="評価"/>	7154	A114-010000	評価	[サンプル]双子葉類	次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。

資料 3

科目責任者・副責任者用マニュアル

- ③ 問題の評価画面(上部) 最上部に問題の原文、その下にそれまでの委員の評価結果、その下に前担当者の修正結果が表示される

原文	
タイトル	[サンプル]双子葉類
問題本文	次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。
選択肢	1:どうもろこし 2:チューリップ ○ 3:クロッカス 4:稲 5:桜
解説	「中学校理科 植物の花と葉のつくり」からの出題です。双子葉類にあたるのはクロッカスです。
予想正解率	60%

タイトル	内容
コアカリキュラムコード	A114-010-000
分野	A1.導入教育・基礎医学教育分野
科目	14.マニュアル用ダミー科目
一般目標	010.マニュアル用ダミー目標
到達目標	000.植物に関する知識

原文

評価履歴

科目委員1	
区分	無修正
修正・非採択理由	
その他の理由	
修正箇所の説明	

これまでに実施された
評価結果の概要

前担当者

修正者	科目委員1
タイトル	[サンプル]双子葉類
問題本文	次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。
選択肢	1:どうもろこし 2:チューリップ ○ 3:クロッカス 4:稲 5:桜
解説	「中学校理科 植物の花と葉のつくり」からの出題です。双子葉類にあたるのはクロッカスです。
予想正解率	60%
評価	無修正
修正・非採択理由	
その他の理由	
修正箇所の説明	

前担当者の評価結果

資料 3

科目責任者・副責任者用マニュアル

問題の評価画面(続き) 画面下部の修正作業欄に修正を記入してください。続いて、修正・非採択の場合、内容を選択し、理由と説明を記入後、「無修正」か「修正採択」または「非採択」のボタンをクリックしてください。この際、修正したのに「無修正」ボタンを間違えて押したり、その逆が無いように気をつけてください。

修正作業欄											
タイトル	<input type="text" value="[サンプル]双子葉類"/>										
問題本文	<p>次の選択肢の中から双子葉類に分類されるものを選びなさい。</p> <p><input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません</p> <p>※アップロードファイル：500kb以下 (H 200px W 200pxまで) 種類：jpg, pngのみ</p>										
選択肢	<table border="1"><tr><td>1:</td><td><input type="text" value="とうもろこし"/></td></tr><tr><td>2:</td><td><input type="text" value="チューリップ"/></td></tr><tr><td>3:</td><td><input type="text" value="クロッカス"/></td></tr><tr><td>4:</td><td><input type="text" value="稲"/></td></tr><tr><td>5:</td><td><input type="text" value="桜"/></td></tr></table>	1:	<input type="text" value="とうもろこし"/>	2:	<input type="text" value="チューリップ"/>	3:	<input type="text" value="クロッカス"/>	4:	<input type="text" value="稲"/>	5:	<input type="text" value="桜"/>
1:	<input type="text" value="とうもろこし"/>										
2:	<input type="text" value="チューリップ"/>										
3:	<input type="text" value="クロッカス"/>										
4:	<input type="text" value="稲"/>										
5:	<input type="text" value="桜"/>										
解答	<input type="text" value="3"/>										
解説	<p>「中学校理科 植物の花と葉のつくり」からの出題です。 双子葉類にあたるのはクロッカスです。</p>										
予想正解率	<input type="text" value="60"/> %										
修正・非採択理由	<input type="text"/>										
その他の理由	<input type="text"/>										
修正箇所の説明	<input type="text"/>										

①この欄の文字を直接編集

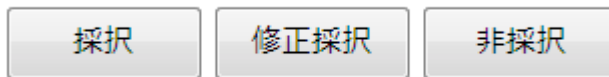
②予想正解率を確認または変更

③修正の理由を選択・必要な場合説明を記入

資料 3

科目責任者・副責任者用マニュアル

★編集終了時には下記のボタンのどれかをクリックしてください。



修正・非採択の場合のポイント 1 予想正解率 将来受験する学生を想定して正解率を予想する

予想正解率	<input type="text" value="70"/> %
-------	-----------------------------------

修正・非採択の場合のポイント 2 修正・非採択内容の選択

修正・非採択理由	<p>非採択 (難易度が高く、正答率50%未満が予測される)</p> <p>修正採択 (文章の修正)</p> <p>修正採択 (問題・解答内容の修正)</p> <p>修正採択 (出題到達目標の修正)</p> <p>修正採択 (その他 自由記載欄に記述)</p>
その他の理由	<p>非採択 (明らかに問題・解答が間違っている)</p> <p>非採択 (出題の意図が不明確である)</p> <p>非採択 (難易度が高く、正答率50%未満が予測される)</p> <p>非採択 (明らかにコアカリの範囲外である)</p> <p>非採択 (学説の変化、法律の改正等により、今後、修正される可能性が高い内容である)</p> <p>非採択 (その他 自由記載欄に記述)</p>

該当する理由を選択して反転させてからクリックすると理由が選択される

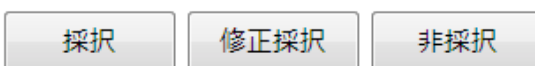
修正・非採択の場合のポイント 3 場合によっては理由欄に記入、修正箇所も記入 (図表が不適切な場合には、図表自体を修正せず、修正箇所欄に記入する)

修正・非採択理由	<p>修正採択 (その他 自由記載欄に記述)</p>
その他の理由	<p>問題文・選択肢双方について出題意図がわかるようにし、添付されていた図を問題から除くべきである</p>
修正箇所の説明	<p>図を削除。種子等→種子</p>

修正採択(その他) または非採択(その他) を選んだ場合、その他の理由欄に記入

修正箇所の説明を簡潔に記載 (図を交換する必要などについてもここに記載)

★評価終了後に必ず「無修正」、「修正採択」または「非採択」ボタンをクリックする



資料 3

科目責任者・副責任者用マニュアル

確認ボタンに「はい」を選択することにより、一旦判定が確定します。修正は可能ですが慎重に実施ください。

CBT 問題精選システム
メインメニュー
設問精選
精選

内容確認

「無修正」または「修正・非採択」をクリックすると確認ボタンが出る確認ボタンを押さなければ、入力内容が消えてしまうので注意

下記内容でよろしいですか？

評価入力後は修正できない

原文

タイトル	[サンプル]果実について
------	--------------

タイトル

コアカリキュラムコード

分野

- ④ 画面上部の「設問精選」の文字をクリックして他の問題を評価する。評価できるようになった問題から順次評価をお願いします。
- ⑤ 副責任者と責任者のみ確定後も修正ができる。ただし、副責任者の再修正中に責任者が入力をする、データ処理上のトラブルが生じる場合もあるため、再修正は慎重に実施してください。

前担当者

修正者	科目責任者	
タイトル	裸子植物について	
問題本文	次のうち裸子植物にない物はどれでしょう。	
選択肢	花 根 果実 クキ 種子	
解説	「中学校理科 植物の花と葉のつくり」からの出題です。	
予想正解率	10%	
評価	修正採択	
修正・非採択理由	修正採択（文章の修正）	副責任者と責任者のみ確定後も修正可能
その他の理由		
修正箇所の説明		

★追加注意

類似した問題がありますが、そのまま単独の問題として評価をしてください。

同一項目からは1問しか出題されません。従いまして、類似あるいは同一問題であっても、その中の一題が出題されるだけです。類似・同一問題は重要度が高いと考えることもでき、出題の確率が高まるのはむしろ望ましいと捉えています。

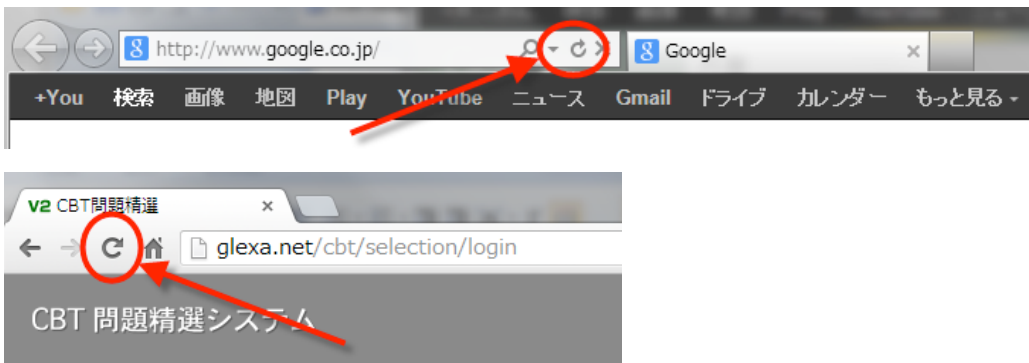
また、違う項目での類似・同一問題であっても、最終の出題の段階でチェックを入れますので、問題となりません。ランダムに出題した400題（未定）の問題群を複数作成し、それをランダムに受験生に割り振ります。この問題群をチェックし、重複問題を排除します。

このシステムは「現在、動いている問題・回答（修正作業欄）を評価する」が基本的な考え方です。本システムは評価を重ねて、より良くなっていくという思想に基づいていま

す。原文と前々までの評価結果も履歴として提示しているのは、あくまで参考のためです。前任者の修正結果に対して評価をお願いします。前任者が修正した結果がそのままで良いとご判断された場合、「採択」を選択してください。

選択肢の修正にあたっては選択肢ごとに以下のように意識してご検討ください。「正しいのはどれか 最も適当なのはどれか 最も適切なのはどれか 誤っているのはどれか 最も疑われるのはどれか 適当でないのはどれか」

修正後ブラウザのキャッシュ機能で画面が変化しないことがあります。先生方のコンピュータの設定によっては、キャッシュという機能で、修正したことが画面に反映しないことがあります。そのような場合、ブラウザの「再度読み込みボタン(下記)」を押してみてください。



正解率を変更入力したのに変化しない場合があります。そのような問題は精選を進めて頂きながら、問題IDを下記にお知らせください。原因を調べるとともに正解率を修正します。

★精選システム自体を練習される場合のアカウント

理科の問題でシステムを練習いただけるようにしました。

ログイン ID	パスワード	役割
dendoh5@rakuno.ac.jp	dendoh	科目委員 1
dendoh6@rakuno.ac.jp	dendoh	科目委員 2
dendoh4@rakuno.ac.jp	dendoh	科目主任

資料 3

dendoh2@rakuno.ac.jp	dendoh	科目副責任者
dendoh1@rakuno.ac.jp	dendoh	科目責任者

科目責任者・副責任者用マニュアル

★★ お問い合わせ

できるだけ下記アドレスにメールでお問い合わせください。

support@mail.vet-cato.org

お問い合わせの際には、ご覧になっているページのアドレスをコピーして本文に貼り付けてください。



qlexa.net/cbt/selection/question/7154

問題になっている画面をキャプチャして添付いただくと、より迅速に対応可能です。

○画面キャプチャ方法(一例です)

Windows: <http://allabout.co.jp/qm/gc/20843/>

Mac: <http://hamachan.info/mac/kihon/screen.html>

資料 4

vetCBT 問題精選・修正マニュアル v2.1

精選・修正作業のポイント

【全体】

- A. 1問1分程度で解答できる問題とするため、出来るだけ**シンプル**な表現に修正してください。
- B. 出来るだけ**肯定的表現**で**単一な内容**となる問題となるよう精選・修正作業をしてください。
- C. 簡単な修正で良問となる場合、可能な限り修正を試みてください。大幅な修正が必要な場合、該当する理由を選択し、不採択と判断して構いません
- D. **類似問題への対応**
類似問題も、そのまま単独の問題として評価してください。

解説:同一項目からは 1 問しか出題されません。したがって、類似あるいは同一問題であっても、その中の一題が出題されるだけです。類似・同一問題は重要度が高いと考えることもでき、出題の確率が高まるのはむしろ望ましいと捉えています。

また、違う項目での類似・同一問題であっても、最終の出題の段階でチェックを入れますので、問題になりません。ランダムに出題した 400 題(未定)の問題群を複数作成し、それをランダムに受験生に割り振ります。この問題群をチェックし、重複問題を排除します。

【設問文】

- A. 試験に対する全体的説明として、「**最も**相応しいものを選びなさい」とします。各設問では、「最も」の記述は原則として必要ありません。
- B. 基本的な設問形態(**肯定型**)
 - 正しいのはどれか
 - 適当なのはどれか
 - 適切なのはどれか
 - 疑われるのはどれか
- C. 認められる否定的な設問
 - 誤っているのはどれか
 - 誤った説明はどれか
 - 間違いを選べ
 - 〇〇(事象)でないのはどれか
- D. 修正を要する表現(修正前 → 修正後)
 - 正しくないのはどれか → 間違っているのはどれか
 - 適当でないのはどれか → 不適當なのはどれか
 - 適切でないのはどれか → 不適切なのはどれか

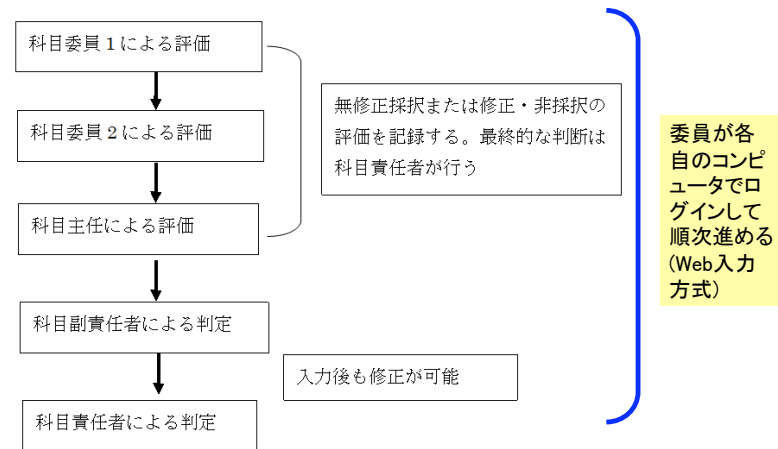
【選択肢】

- A. 選択肢の内容は原則として**同一範疇内**としてください。
- B. 一つの選択肢に**複数の内容を含めない**ようにしてください。
- C. 選択肢の内容を**否定形**としないようにしてください。
- D. 設問を読まなくても、選択肢から間違いと分かるものは、選択肢としては不適としてください。

CBT問題精選プログラム 入力 サーバーの説明

酪農学園大学
遠藤大二

精選入力作業の進行順



Web入力方式を選択した理由

- 限られた教員が
- **限られた予算(旅費)と限られた時間**で
- 問題の精選を**確実に**実施するためには
- Webサーバー上に問題を掲載してそれを編集することが
- **最も効率的な方法**とCBT委員会で判断しました。

しかしながらWebサーバーでの精選作業は

- 先行する医学・歯学・薬学などでは選択されなかった方法です。
- そのため、トラブルに対しては**寛容なお気持ち**で、サポートまでご連絡ください。
- トラブルが解決するまでの間は他の問題を精選してください。
- 優秀なスタッフが障害を可能な限り解決します。

精選サーバーにログインする方法

- 登録いただいているメールに
- support@mail.vet-cato.org から
- ユーザーID (先生方の登録メールアドレス)
- と
- パスワード(こちらで自動生成します)
- が
- 届きます。
- それをご使用ください。

ログインIDの連絡

- メールでログインIDと初期パスワードを連絡します

酪農学園大学
遠藤先生

獣医学共用試験 CBT 用問題の精選をお引き受け
いただきありがとうございます。

この度、先生に精選をご実施いただくための
ログインID とパスワードを下記のように用意
いたしましたので、お知らせいたします。

科目1 基礎生物物理学
役割 科目副責任者
ログインID ddendoh1

科目2 放射線生物学
役割 科目主任
ログインID ddendoh2

パスワード mz1f5T

パスワードの変更

- 安全のため、メールを受け取ったら最初にパスワード
を変更してください

利用者情報

タイトル	内容
ログインID	ddendoh5@rakuno.ac.jp
利用者コード[大学番号 (3桁)・利用者番号 (4桁)]	001-0677
氏名	遠藤 大五
氏名 (フリガナ)	えんどう だいご
権限	科目委員1 (B)
担当科目	マニキュアル用タミー科目
パスワード	パスワードの変更はこちらから

パスワード変更

新しいパスワードを設定

新しいパスワード

新しいパスワードの確認

現在のパスワードを入力

現在のパスワード

パスワード変更

新しいパスワード入力後クリック

ログイン後の基本的な画面



各文字をクリックするとそれぞれの機能に移動します。

利用者情報

この文字をクリックするとマニュアルのダウンロードページに移動します。

タイトル	内容
ログインID	ddendoh5@rakuno.ac.jp
利用者コード[大学番号 (3桁)・利用者番号 (4桁)]	001-0677
氏名	遠藤 大五
氏名 (フリガナ)	えんどう だいご
権限	科目委員1 (B)
担当科目	マニキュアル用タミー科目
パスワード	パスワードの変更はこちらから

お名前・委員の役割・科目
を確認ください。

編集終了時には下記のボタンのどちらかをクリックしてください

科目委員の場合、無修正と修正非採択の2つのボタンが表示されます。

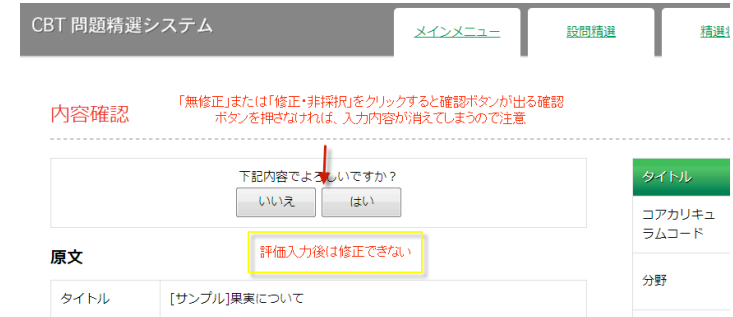


科目副責任者および責任者の場合、採択、修正採択および非採択の3つのボタンが表示されます。



確認ボタンを押すと基本的に修正できなくなります。

確認ボタンに「はい」を押すまでは、入力した内容は保存されません。



次に担当する委員が評価を終えるまでは確認ができます。

そのあとは確認もできなくなります。
(科目副責任者と責任者は担当以降、確認・修正ができます。)



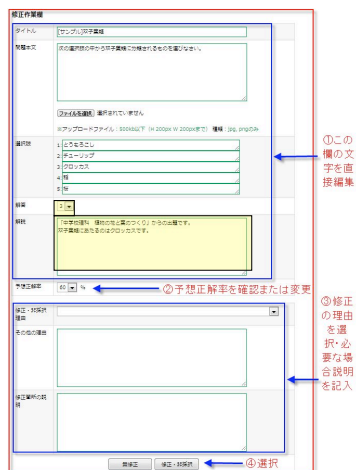
今後予定されている機能の追加

- 説明会でのご要望・ご提案にもとづいて、下記の改善を検討・予定しています。

1. 副責任者・責任者など複数科目担当の先生には、科目ごとにログインIDを発行します。
2. 前担当者を変更した部分について、該当する部分の背景を変更する
3. 作業を一旦保存できるようにする→(来年度以降に検討させていただきます)
4. 図表をダウンロードできないようにする
5. 変更についての告知を表示する

機能の追加 1 前担当者の変更部分

- 該当する領域の色を変えて告知する



機能の追加 5変更についての告知

- 変更があった場合、ログイン後に表示されるようにする



マニュアルは更新されますので、時々ダウンロードしてください。

- トラブルなどを修正することにより、一部の操作が変更される場合があります。その際には、更新されたマニュアルをダウンロードしてください。

マニュアル一覧

クリックするとダウンロードが始まる

[CBT問題精選プログラムマニュアル](#)

[vetCBT問題精選・修正マニュアル](#)

本説明会後の ご質問・ご指摘はメールでお願いします

- support@mail.vet-cato.org
- 問題になっている画面をキャプチャして添付いただけると、より迅速に対応可能です。

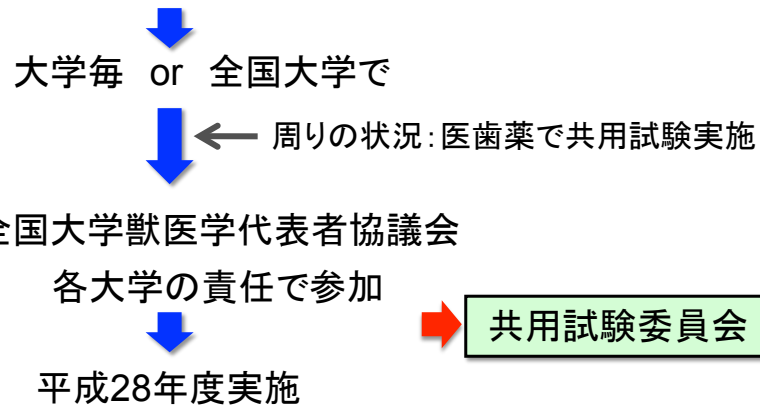
資料6

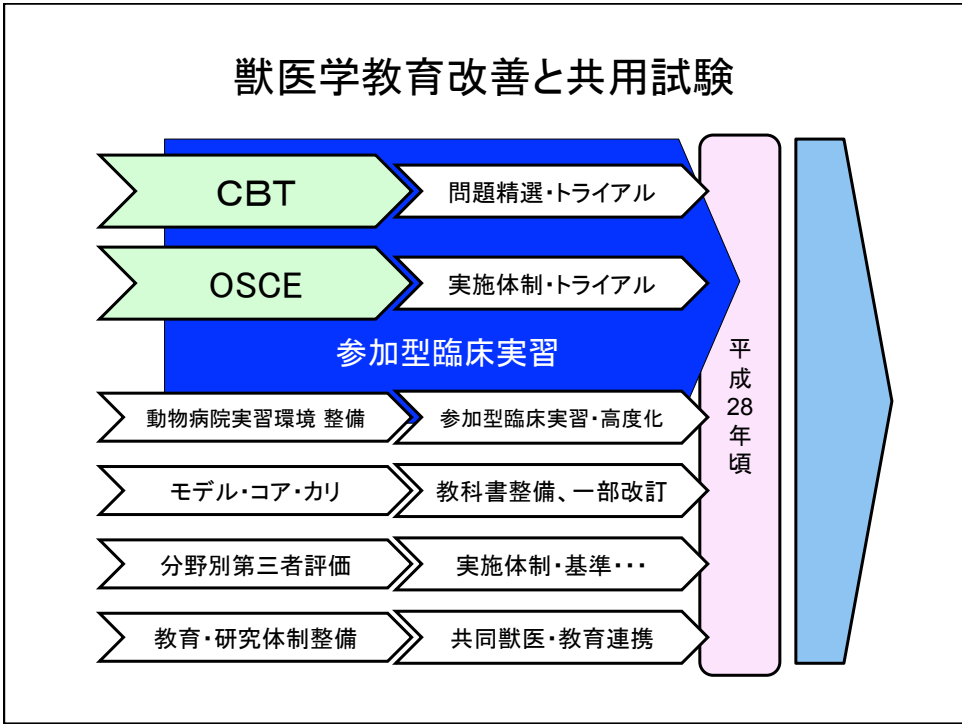
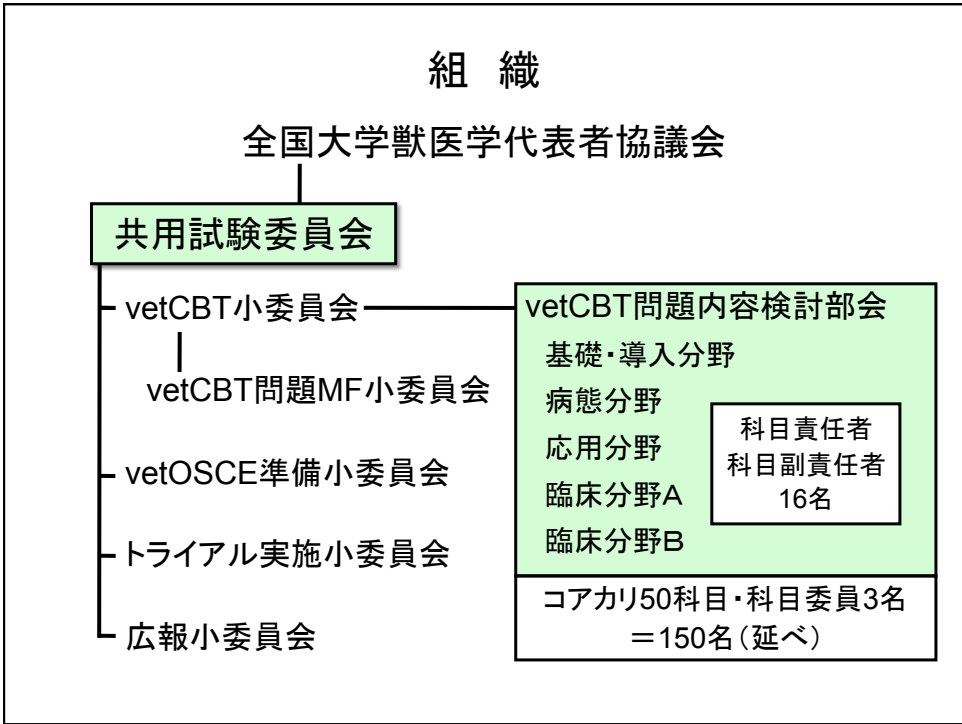
vetCBT問題精選・修正作業

vetCBT小委員会

なぜ、共用試験？

- ◆ 参加型臨床実習の実現
- ◆ 参加する学生の質の保証(対社会)





これがCBT問題だ！



共用試験(CBT)
300題出題／人(仮) $300 \times 1分 = 300分 = 5時間(丸1日)$

獣医師国試: 必須1分、学説1.5分、実地2分
医学・歯学320問(6時間)、薬学310問(6時間)

1問1分
シンプル
肯定型



ひねった問題、凝った問題、難問・奇問排除・・・

精選・修正作業のポイント【全体】

- A. 1問1分程度で解答＝**シンプル**な表現
- B. **肯定的**表現で出来るだけ**単一**な内容
- C. **簡単な修正**で**良問**となる場合→可能な限り**修正**

大幅な修正が必要な場合

→該当する理由を選択し、**不採択**

1問1分
シンプル
肯定型

- D. 類似問題への対応

類似問題も、そのまま単独の問題として評価

←重複排除の仕掛け有り

精選・修正作業のポイント【設問文】

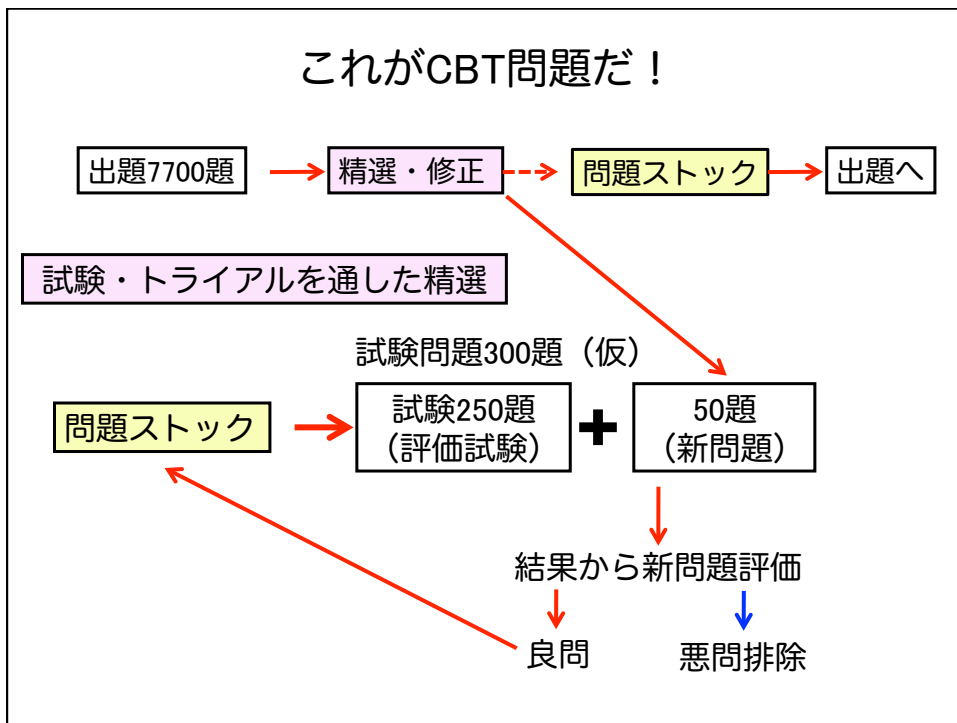
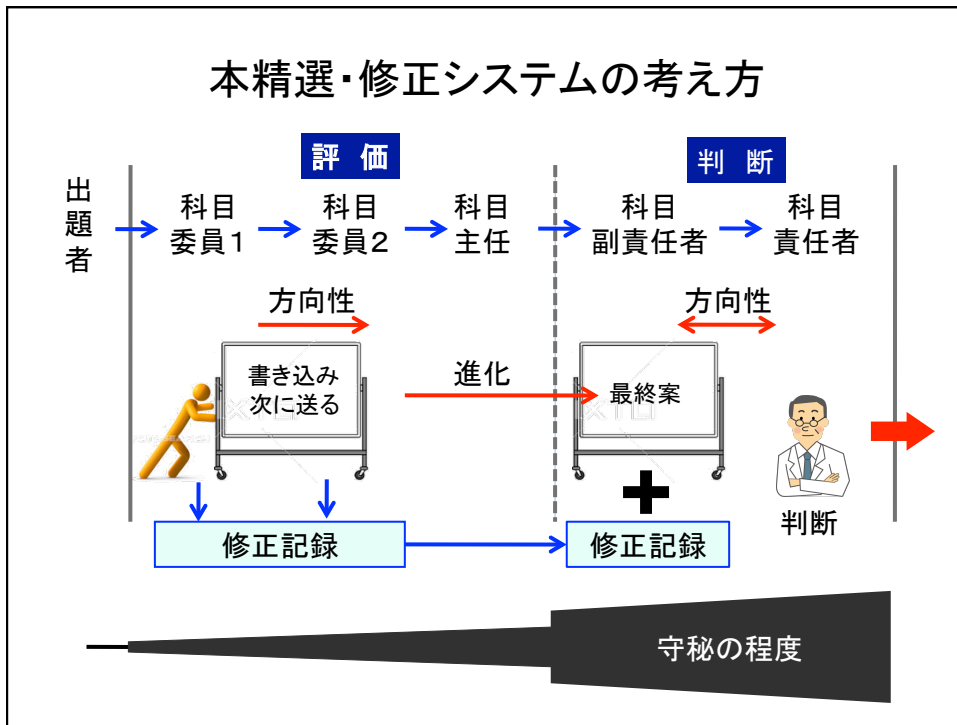
- A. 「最も」の記述は原則として必要ありません。
- B. 基本的な設問形態
- ・ 正しいのはどれか
 - ・ 適当なのはどれか
 - ・ 適切なのはどれか
 - ・ 疑われるのはどれか
- C. 例外的に認められる否定的な設問
- ・ 誤っているのはどれか
 - ・ 誤った説明はどれか
 - ・ 間違いを選べ
 - ・ ○○(事象)でないのはどれか
- D. 修正を要する表現(修正前 → 修正後)
- ・ 正しくないのはどれか → 間違っているのはどれか
 - ・ 適当でないのはどれか → 不適當なのはどれか
 - ・ 適切でないのはどれか → 不適切なのはどれか

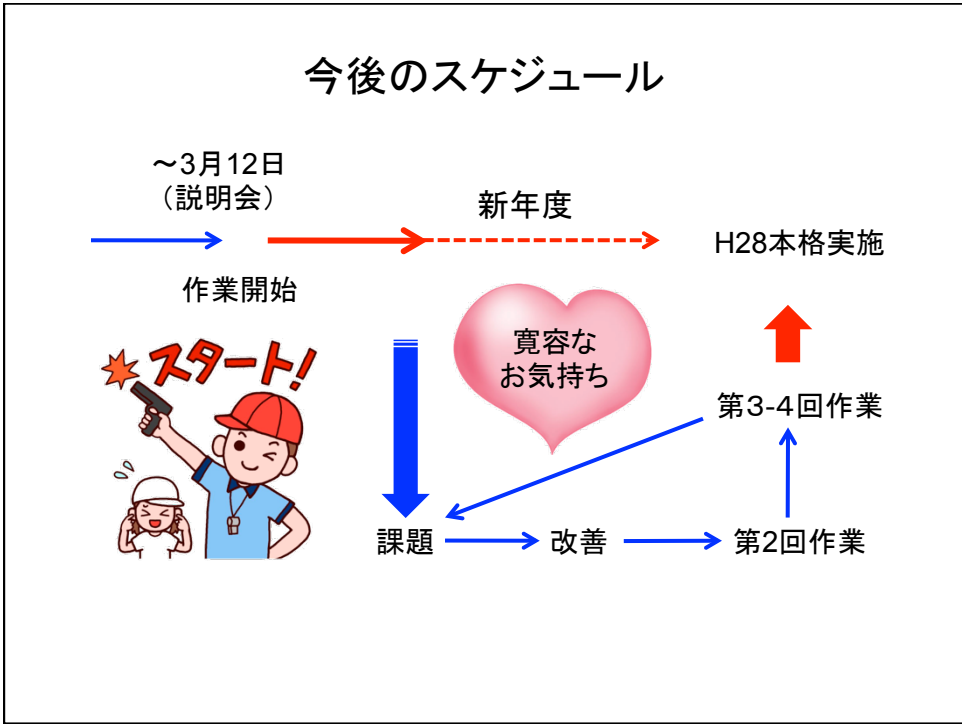
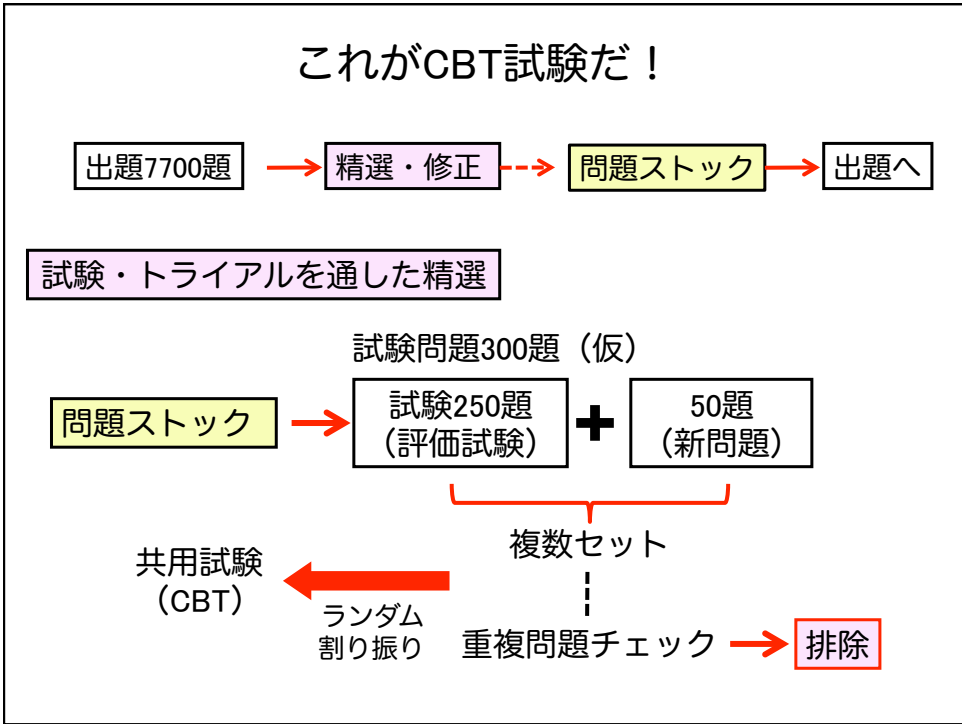
1問1分
シンプル
肯定型

精選・修正作業のポイント【選択肢】

- A. 選択肢の内容は、原則として**同一範疇内**
- B. 一つの選択肢には**単一の内容**(例外: 組合せ問題)
- C. 選択肢の内容は**肯定形**で
- D. 選択肢から**間違い**と分かるものは**選択肢として不適**
→修正可→OK
→修正難→NG

1問1分
シンプル
肯定型





資料 7

VetOSCE 実施要項案 ver 3 (2月7日 2013年)

I. 各大学の vetOSCE 担当者の選定 (候補者 まとめ役、面接担当、実技担当)

- 帯広畜産大学：宮原和郎 (まとめ)、松本高太郎 (面接)、松井基純 (実技)
- 北海道大学：滝口満喜 (まとめ)、山崎真大 (面接)、高木 哲 (実技)
- 岩手大学：山岸則夫 (まとめ)、佐藤れえ子 (面接)、片山泰章 (実技)
- 東京大学：松木直章 (まとめ)、竹内ゆかり (面接)、松木直章 (実技)
- 東京農工大学：田中知美 (まとめ)、佐々木一昭 (面接)、西藤公司 (実技)
- 岐阜大学：北川 均 (まとめ)、柴田早苗 (面接)、西飯直仁 (実技)
- 鳥取大学：竹内 崇 (まとめ)、日笠喜朗 (面接)、柄 武志 (実技)
- 山口大学：奥田 優 (まとめ)、水野 拓也 (面接)、板本 和仁 (実技)
- 宮崎大学：大澤健司 (まとめ)、鳥巢至道 (面接)、日高勇一 (実技)
- 鹿児島大学：川崎安亮 (まとめ)、遠藤泰之 (面接)、藤木 誠 (実技)
- 大阪府立大学：長谷川貴弘 (まとめ)、島田照雅 (面接)、川手憲俊 (実技)
- 酪農大学：打出 毅 (まとめ)、中田健 (面接)、鈴木一由 (実技)
- 北里大学：岡野昇三 (まとめ)、島本良則 (面接)、伊藤直之 (実技)
- 日本獣医生命科学大学：鷺巣月美 (まとめ)、堀 達也 (面接)、森田達志 (実技)
- 麻布大学：久末正晴 (まとめ)、青木卓磨 (面接)、藤井洋子 (実技)
- 日本大学：上地正実 (まとめ)、亙 敏広 (まとめ)、小熊 圭祐 (面接)、安井 禎 (実技)

II. vetOSCE の準備

1. 事前実習の整備 (各大学で準備する)

1) 医療面接

事前トレーニング

コミュニケーションスキルトレーニング実習：内科、外科、産業動物臨床実習で実施
以下の A. B.のどちらかの方法を選択して実施する

A. DVD 視聴による実習 (移行期の処置としたい)

模範的な学生による医療面接の方法を DVD に記録し、実習中に視聴することにより
医療面接の実習とする。

B. 模擬クライアントによる医療面接実習

実習用シナリオ作成 例示 (日獣大および岐阜大で使用しているシナリオ)

進行役 (教員) = 評価者養成 基礎、応用、臨床を問わない 学生 30 名につき 2-3 名
(徐々に増やす)

模擬クライアント養成 (一般市民) 各大学数名

模擬クライアント養成マニュアル・シナリオ委員会 (鷺巣月美 (日獣大) 西飯直仁 (岐
阜大)、柴田早苗 (岐阜大)、村上真美 (岐阜大)、今後拡大する予定)

○模擬クライアントの募集：必ずしもすべてを満たす必要はない

- ◎動物を飼育し、動物病院で診療をしてもらったことがある人 (必須)、◎獣医学教
育に興味がある人、◎実習に定期的に参加可能な人、◎大学近隣に居住している
人、(◎報酬を期待しない人)

資料 7

- 模擬クライアントのまとめ役教員が必要（面接担当者＋α）
- 教員に実習への参加要請（案内文面の例を作成する）
- 面接実習シナリオ：日獣大 鷺巣月美先生、シナリオ作成委員会で準備する
- 必要経費：旅費、お茶程度
- コミュニケーションスキルトレーニング実習
模擬クライアント、進行役教員のトレーニング←日獣大鷺巣月美先生に依頼する
講義と実習 実習で学生を対象にして、実際にやってみる
クライアント呼び込み⇒本人確認⇒自己紹介⇒インタビュー⇒確認
詳細は、別紙で「基本シナリオ」を添付する。（月美先生）

2) 実技試験

- 事前トレーニング a) 教員の指導による実習、b) 自習用スキルラボ設置
使うのはシミュレーターでも生きた動物でもよい
OSCEの手順書を参考にして“一般論”として実習を行う
コアカリキュラム準拠「vetOSCE 対応実習の手引き」作成については何人かの先生
の援助を仰ぐことも可。

担当：

- イヌ身体検査（視診、触診、聴診）、採血時の保定、採血（前肢）⇒上地先生
- ウシ身体検査（視診、触診、聴診）、検温、聴診⇒大澤先生
- 無菌操作（手袋、ガウン装着）、皮膚縫合・結紮⇒藤井先生

2. vetOSCE の準備

1) 全体

- 必要な部屋割と機能
面接、犬身体検査、牛身体検査、無菌操作・皮膚縫合の4室とする。
部屋の移動に時間がかからないように、4室を近接して設置する。

面接	身体検査 1 犬の身体検査 保定・採血 犬シミュレーター —	身体検査 2 牛の身体検査 牛シミュレーター —	無菌操作・皮膚縫合 合 ガウン・マスク・手 袋装着 または 皮膚縫合・結紮
----	--	-----------------------------------	---

面接、身体検査 1、身体検査 2 は必須。無菌操作と皮膚縫合のどちらかを選択。

面接：診察台、椅子 3（クライアント用、評価者、タイムキーパー用）

身体検査：診察台、等

レーン数、ステーションの組み方などは各大学の判断とする。

OSCE 小委員会の試算：国立大学：1 レーン、府大：2 レーン、日獣大：5 レーン、他の私立大学：6 レーン

資料 7

○必要な役割と人員 /30~40 名 学生

黒: 当該大学教員、青: 事務職員でも可、茶: 実施機構から派遣

全体の管理者 1 名

全体の外部評価者 1 名

受付、受験生確認、試験進行説明と誘導 2 名

医療面接: ○管理者 (司会進行、内部評価者) 1 名、○外部評価者 1 名、○補助者 (兼タイムキーパー): 1 名 標準クライアント 2 名 計 5 名

犬身体検査: ○管理者 (内部評価者)、○補助者 (内部評価者) 計 2 名

子牛身体検査: ○管理者 (内部評価者)、○補助者 (内部評価者) 計 2 名

無菌操作・皮膚縫: ○管理者 (内部評価者)、○補助者 (内部評価者) 計 2 名

実技試験タイムキーパー 3 ステーションで 1 名

実技試験ヘルパー (物品補充等) 各実技ステーション 1 名 計 3 名

集計: 実施機構派遣: 評価者 2 名、標準クライアント 2 名 = 4 名

当該大学教員: 全体の管理者 1 名、評価者 4 名、補助者 4 名 = 9 名

当該大学事務職員: 6 名

○必要な設備、器具、消耗品 各ステーションの項を参照

○評価基準

A) vetOSCE 評価

評価基準設定 シナリオ委員会、マニュアル作成委員会

☆各評価項目の判定 (4 段階)

4. 優 (獣医師と違いがないレベル)

3. 良 (学生としては良くできるレベル)

2. 合格境界領域

1. 不合格

B) 評価表作成 各ステーションごとに作成する

氏名、受験番号、評価項目、総合評価

A4 サイズ 1 葉 短時間で記入できるようにする = 評価項目の厳選

○評価者養成

認定システム構築 当面は vetOSCE 小委員会⇒vetCAT 幹事会⇒全国協議会で承認

将来は vetCAT 機構の vetOSCE 評価者認定委員会が実施

評価者の資格 できるだけ多くの教員が可能な基準を作成する

面接と実技を分ける

面接: 助教 (テニュアトラック) 以上の全教員 (獣医師資格にこだわらない)

実技: 臨床系教員が好ましい

研修システム

2) 医療面接ステーション

資料 7

○面接試験室の設定

必要人員 評価者 1 名、補助者 1 名、標準クライアント 1 名、タイムキーパー 1 名
必要品：イヌのぬいぐるみ、筆記用具

○面接シナリオ作成（鷲巢月美先生、シナリオ作成委員会）

○標準クライアント養成 アニコムと協議

実習-SP は各大学で養成。OSCE-SP は別の集団＝当面は全国派遣システム
共用試験実施評価機構が契約

東京および拠点（札幌、名古屋、博多等）から派遣することを前提とする

必要人員、必要経費の試算

全国で 41-42 レーン、各レーン 2 名とすると、延 82-90 名／年

アニコムにビジネスとして依頼⇒vetOSCE 全部の請け負いであれば可能性あり
経費等の試算を依頼する。

地域案

北海道（札幌）：酪農大、北大、帯畜大

関東・東北（東京）：東大、農工大、日獣大、麻布大、日大、北里大、岩手大

中部・関西（名古屋、大阪）：岐阜大、鳥取大、大阪府大

九州（福岡）：宮崎大、鹿児島大、山口大

○評価基準と評価のためのチェックリスト 基本的な項目とする。シナリオ委員会

○面接試験評価者（試験の進行係を兼ねる）養成⇒これから詰める。

・・・評価委員養成・認定委員会 評価委員の認定システム作成

研修受講資格 助教以上の常勤（テニュアトラック）教員

評価者として獣医師資格は不要

コミュニケーションスキルトレーニング実習経験者

講習会：年 1 回、獣医学会時等に開催する

研修内容 講義（DVD？）： vetOSCE の目的、意義、医療面接およびコミュニケーションスキルの基本

医療面接の審査方法（DVD）

可能であれば実習？

評価者認定用標準クライアント、標準学生

研修場所 コミュニケーション実習先行実施大学から各大学に広げる

○ コミュニケーションスキルトレーニング実習見学会

2013 年夏休みに OSCE 仕様の実習を日獣大で実施。

可能であれば岐阜大学でも実施する。

日獣大での見学会は、全国に向けて案内する（受講人員に限りがあるので、2013 年度は関東の大学を優先する）

○ 日獣大のコミュニケーションスキルトレーニング実習見学

2013 年後学期実習の見学を受け入れる（全国の大学を受け入れ）

認定システム

講義内容に関する簡単な試験＝問題作成

実習時の評価

資料 7

認定者による評価

チャーター評価者を考える：

3) 実技

○シミュレーター開発（京都科学と共同開発）

A. イヌシミュレーター（TPR 測定ドッグ）

小動物シミュレーター委員会：堀 達也（日獣大）、上地正実（日大）、藤井洋子（麻布大）、

心音、脈拍、採血用血管、その他の必要機能⇒TPR 測定ドッグのページ参照
京都科学において試作開始

予算：一部は日獣大予算。文部科学省予算獲得が必要。

B. ウシシミュレーター

産業動物シミュレーター委員会：高橋正弘（大阪府大）、田中知己（農工大）、大澤健司（宮崎大）

牛シミュレーター必要機能⇒16 ページ参照

視診、触診、頭部（頭絡装着）、膻と肛門（体温測定）

心臓（心音）、肺（呼吸音）、第一胃聴診（消化器運動音）

その他の必要機能

イメージを確実にするために京都科学技術者による生きた子牛の見学を行う（高橋先生担当）。

シミュレーターの概略を図で示す（高橋先生、田中先生）

予算獲得 文部科学省

C. 皮膚縫合シミュレーター 担当：堀 達也（日獣大）、上地正実（日大）

採点装置は既存の装置を使用する

イヌの皮膚の感触に近い模擬皮膚を選択する⇒素材は既にある（京都科学）。

藤井先生に試行を依頼。

3月30日の担当者会議において展示し、当日参加する担当者に試行をお願いする
（必要器材（針、糸など）の準備を藤井先生に依頼）

3. 広報

1) 担当者会議

獣医学会の際に開催する。

第155回日本獣医学会（東大駒場）3月30日2013年 13:00～14:30

vetOSCEの概要説明

各ステーションおよびシミュレーターの説明と必要器材

事前実習の説明等

第156回日本獣医学会（岐阜大）9月

資料 7

- 2) 教育改革シンポジウムでの広報
- 3) その他学会、研究会等における説明
- 4) 各大学への巡回説明

資料 7

ステーション 1 : 医療面接

1 人員体制 (30-40 名の学生を対象)

- 管理者 (兼評価者) : 1 名
- 評価者 (外部) : 1 名
- 補助者 (兼タイムキーパー) 1 名
- 模擬クライアント : 1 名 (2 名で適宜交代する)

2 手順書

課題 : 待合室に動物を連れてきたクライアントが座っています。診察室に呼び入れ、医療面接を行って下さい。クライアントおよび動物に関する情報はカルテに記載されている通りです。ここでは、必要な検査や診断名は問われません。診察室への呼び入れから身体検査に至るまでの間の医療面接です。

必要物品 : 動物のぬいぐるみ、キャリーケース、リード、首輪
5 - 6 種の課題シナリオを作成する。

3 評価項目

1) 見出しなみ

- 髪の毛はお辞儀をした時に顔にかからないように髪留めで止める、または結ぶ
- 無精ひげ不可
- 華やかな化粧はしない
- 結婚指輪以外の指輪はつけない
- イヤリングは耳たぶに密着するもののみ可とする
- 香水はつけない

2) 服装

- 清潔感のある白衣 (しわ、シミ、ほつれ、落書きなどがなく、ボタンがしっかりついている)
- 靴を履く (サンダル、ハイヒール厳禁)
- 短パン、ミニスカート、ロングスカート、ブルージーンズ禁
- 白衣のボタンはとめる
- フルネームのネームカードをつける

3) オープニング

- 呼び入れ (診察室のドアを開け、クライアントおよび動物の名前を呼ぶ)
- 挨拶
- 自己紹介 (フルネームで)
- クライアントが荷物を持っていた場合、荷物を所定の場所に置くように指示する
- クライアントおよび動物の名前、年齢、性別、不妊手術の有無の確認

4) クライアントの話を聴く (前半)

- 「お話しを伺いますね」ということをまず伝える
- 「今日はどうされましたか？」などの **Open-ended question** で始める (途中で話

資料 7

を遮らない)

- クライアントの訴えに対して、「そのことについて、もう少し詳しくお話下さい。」など **Open-ended question** で話を進める
 - クライアントとのアイコンタクトができる
 - 適切なタイミングで、うなずき、相槌などができる
 - 共感的な対応（「それは大変でしたね」、「ご心配でしたね」など）ができる
 - 適切な声の大きさ、スピード、調子で話す
 - 十分に話を聴いてから、平易な言葉で適切な要約を挟む
- 5) クライアントの話を聴く（後半）
- 前半でクライアントが話さなかったことについて必要な情報を得る
 - Focused question** で要領良く情報を収集する（食欲、飲水量、体重の変化、生活環境／同居動物、犬であれば散歩中に気付いたことなど、必要であれば既往歴、他院での検査や治療）
 - 解釈モデル（症状についてクライアントがどのように考えているか）を理解
- 6) クロージング
- クライアントの話を要約
 - 聞き洩らしや質問がないか確認
 - 挨拶
 - これから身体検査を行うことをクライアントに伝える（クライアントはどこで待てば良いかも伝える）

資料 7

ステーション 2 : 犬身体検査

1. 人員体制

- 1) 管理者 (内部評価者) : 1名
- 2) 補助者 (内部評価者) : 1名

2. 手順書 (課題内容)

課題「動物の身体検査をして下さい。」

必要機材 : 白衣、聴診器

3. 評価項目と基準

1) 準備

- 身だしなみを整えている
- 白衣を着用する
- シューズを着用している

2) 身体検査 (視診、触診)

- 頭部の検査 (鼻、目、歯周・口腔粘膜、耳、被毛の観察)
- 頸部 (触診、頸静脈、被毛の観察)
- 胸部 (背側、心拍動の確認、打診)
- 腹部 (背側、上腹部、中腹部、下腹部、膀胱、陰部、肛門、尾の観察)
- 前肢および後肢 (触診、伸展、屈曲、爪、パッドの観察)

評価基準 : 手順通りに漏れなく視診および触診の動作ができているか。

3) 聴診 (頸部、胸部、腹部)

- 頸部 (気道音、動脈拍動音の聴診)
- 胸部 (両側心尖部、両側心基部および両側前胸部の聴診。インキングができているか確認する)
- 腹部 (胃腸音の聴診。インキングができているか確認する)

評価基準 : 手順通りに漏れなく聴診の動作ができているか。

4) 保体 (採血および処置等に必要なた立位および側臥位の保体)

- 頸静脈採血および頭頸部検査 (動物の背側に廻り、保体者は脇をしめて両側顎部分を保体する。必要に応じて左右に頭を向ける。)
- 前肢からの採血及び検査 (動物の背側に廻り、保体者は脇をしめて左右いずれかの前肢の肘を持ち、前方方向に上げる。静脈採血の場合はとう側皮静脈を怒張させる。)
- 後肢の検査および採血 (側臥位にて保体する。保体者は脇をしめて前肢の保体と肩部の固定。上方に来た左右いずれかの後肢を確保してサフェナ静脈を怒張させる。)

評価基準 : 手順通りに適切な保体の姿勢ができているか。

5) 採血 (シュミレーターを使用して採血)

- 採血の準備 (シリンジと針を袋から取り出す。シリンジの目盛と針の先が合

資料 7

うように組む。シリンジの内筒を 0 の目盛に合わせる。アルコール綿花を準備する。）

- 採血部位の消毒（血管の怒張を確認し、アルコール綿花を取って採血部位を消毒する。）
- 採血（シリンジを利手で持ち、血管に対して約 30° 前後の角度で刺入する。模擬血管内の液体を数 ml 吸引する）
- シリンジの片付け（採血後のシリンジを医療廃棄箱に廃棄する。）

評価基準：シリンジと針の取扱が出来、模擬血管に適切に刺入して液体の吸引が出来る。

資料 7

ステーション 3 : 子牛身体検査

(注 1) 本手順書は Vet-OSCE を開始するにあたり最低限の基本的な試験課題を提案するものであり、参加型臨床実習を行うために学生が備えるべき全てのスキルを網羅したものではない。したがって、各大学では、参加型臨床実習前 (Vet-OSCE 前) の臨床実習について、常に充実を図る。

(注 2) 今後とも Vet-OSCE の課題ならびに実施方法については見直しを行い、国際水準に適合した内容に改善する必要がある。

1. 人員体制

- 1) 管理者 : 1 名 (評価者を兼ねる)
- 2) 補助者 : 1 名 (評価者を兼ねる)

2. 課題

牧場主 : 田中一郎さん

動物 : 牛, ホルスタイン種, メス, 5 ヶ月齢

稟告 : 健康診断をしてほしい

- 指示に従って、下記の課題 (課題 1 ~ 7) の診察を行ってください。
- 実施する課題は、課題 1 ~ 3 (必須課題) の全て、ならびに課題 4 ~ 7 (選択課題) の中から 1 課題です。なお、選択課題は、管理者が指示します。
- 制限時間は 8 分です。

(必須課題)

課題 1. 牛への近づき方、頭絡の装着および柱への係留を実演しなさい。

課題 2. 可視粘膜の検査の仕方を説明しなさい。

課題 3. 指示する牛の体の部位に触れて示しなさい。

(選択課題)

課題 4. 牛の体温の測定法および正常範囲を説明しなさい

課題 5. 心臓の聴診をし、心拍数を計測しなさい

課題 6. 肺野の聴診し、呼吸数を計測しなさい

課題 7. 第一胃運動の聴診部位ならびに正常な収縮音と回数を説明しなさい

3. 評価項目と基準

(必須課題)

課題 1 : ハンドリング (実地説明) : 近づき方, 保定 (頭絡の装着, 柱への係留)

- 1) 動物への近づき方、ファーストコンタクトの方法が適切である。
- 2) 頭絡の使い方を知っている
- 3) ロープの結び方 (縛り方) を知っている

課題 2. 可視粘膜の検査 (検査方法の実地説明)

- ・可視粘膜の評価部位 (眼結膜, 口腔粘膜, 膣粘膜) を知っている。

資料 7

- ・ 検査の方法を知っている（実地説明できる）。
- ・ 可視粘膜を評価することの意義を説明できる。

課題 3. 指示する牛の体の部位の説明。

- ・ 指示する部位 3 か所を触れて示すことができる。
- ・ 部位の例：鼻鏡、頸溝、胸垂、き甲、前膝、前肢の球節、後肢の球節、第 13 肋骨、十字部、臀部、腰角、

（選択課題）

課題 4：体温の測定（測定法の実地説明）・・・実施するが、体温は測定しない

1) 体温の測定

- ・ 「直腸温を測定すること」であることを知っている。
- ・ 水銀体温計の使用法を知っている（事前に温度を下げる、読める、アルコール綿花等で清拭して使用する）。
- ・ 正確に直腸に挿入できる（腔に間違って挿入しない）
- ・ 正常範囲を説明できる

課題 5. 心臓の聴診（聴診部位の実地説明）、心拍数（実際に測定）・・・測定する

2) 心拍数の測定

- ・ 聴診器を適切に扱える
- ・ 聴診部位が適切である
- ・ 心拍数が計測できる（シミュレーターに音源を用意する）
- ・ 正常範囲を説明できる

課題 6. 肺野の聴診（聴診部位の実地説明）、呼吸数測定（測定法説明）・・・測定する

1) 呼吸数の聴診

- ・ 左右いずれかの肺野の聴診によって呼吸数を測定できる。
- ・ 聴診以外の方法について説明できる呼気、胸壁の動き）
- ・ 正常範囲を説明できる

課題 7. 第一胃運動の聴診（聴診の部位と方法の実地説明）・・・測定しない

- ・ 左臍部における聴診の方法を説明できる
- ・ 第一胃運動の回数の計測の方法と意義について説明できる

☆各評価項目の判定（4段階）

4. 優（獣医師と違いがないレベル）
3. 良（学生としては良くできるレベル）
2. 合格境界領域
1. 不合格

4. 必要物品　　・・・産業動物シミュレーター委員会において検討中

1) 子牛のシミュレーター

2) その他の消耗品類：

ロープ（頭絡）、体温計、聴診器、柱（頭絡を繋ぐためのもの）

資料 7

評価基準（評価項目）を加える（山岸先生に依頼）

ステーション 4： 無菌テクニックまたは皮膚縫合

1. 人員体制

- 1) 管理者（内部評価者）： 1名
- 2) 補助者（内部評価者）： 1名

無菌テクニック

2. 手順書（課題内容）

課題「手術用ガウンおよび手袋を適切に装着してください。」

必要機材：帽子、マスク、消毒液、滅菌タオル、ガウン、手袋

3. 評価項目と基準

1) 準備

- 爪を短く切っており、装飾品およびつけ爪をつけていない
- 手術着を着用する
- 頭髪が露出しないように手術用帽子を着用する
- 口、鼻、顎を完全に覆うように手術用マスクを着用する

2) 手順

○滅菌ガウンの装着（手袋を閉鎖型装着法[クローズド・カフ法]で実施する場合）

- 補助者に自己紹介し、介助を依頼する
- 滅菌ガウンを無菌的に取り出す。
- 周囲に触れないように、手を伸ばしてガウンを広げる
- ガウンの外側面に触れないようにしながら袖に腕を通す。このとき袖から出を出さないようにする。
- 滅菌ガウンが周囲に触れないように注意しながら、補助者にガウンの肩と腰部の紐を結んでもらう
- 滅菌ガウン装着後の清潔状態を保つ。

○滅菌手袋の装着（閉鎖型装着法）

- 滅菌手袋の入った紙袋を安定した処置台等に置き、手袋に接触しないように広げる。
- ガウンの袖の中に手を隠したまま、右手（あるいは左手）で左（あるいは右）手袋をとり上げる。
- 左手（あるいは右手）に清潔にかつスムーズに手袋を装着する。この際、手袋外部表面の無菌性を保たなければならない。手袋の外部表面の無菌性を保たなければならない。手袋の外表側が手指、着衣などにわずかでも触れると無菌性が失われたものと判断する。
- 左手（あるいは右手）の 4 本の指を反対側手袋の折り返しの部分に入れて取り上げる。
- 右手（あるいは左手）に清潔かつスムーズに手袋を装着する。
- 手袋の折り返しを伸ばし、手袋を手十分にフィットさせる。
- 無菌手袋装着後の清潔状態を保つ。

資料 7

皮膚縫合

2. 手順書（課題内容）

課題「皮膚縫合を行ってください。」

必要機材：縫合練習器、持針器、鑷子（ピンセット）、ハサミ、角針（サイズ）、絹糸あるいは針付ナイロン糸（2-0、1-0）

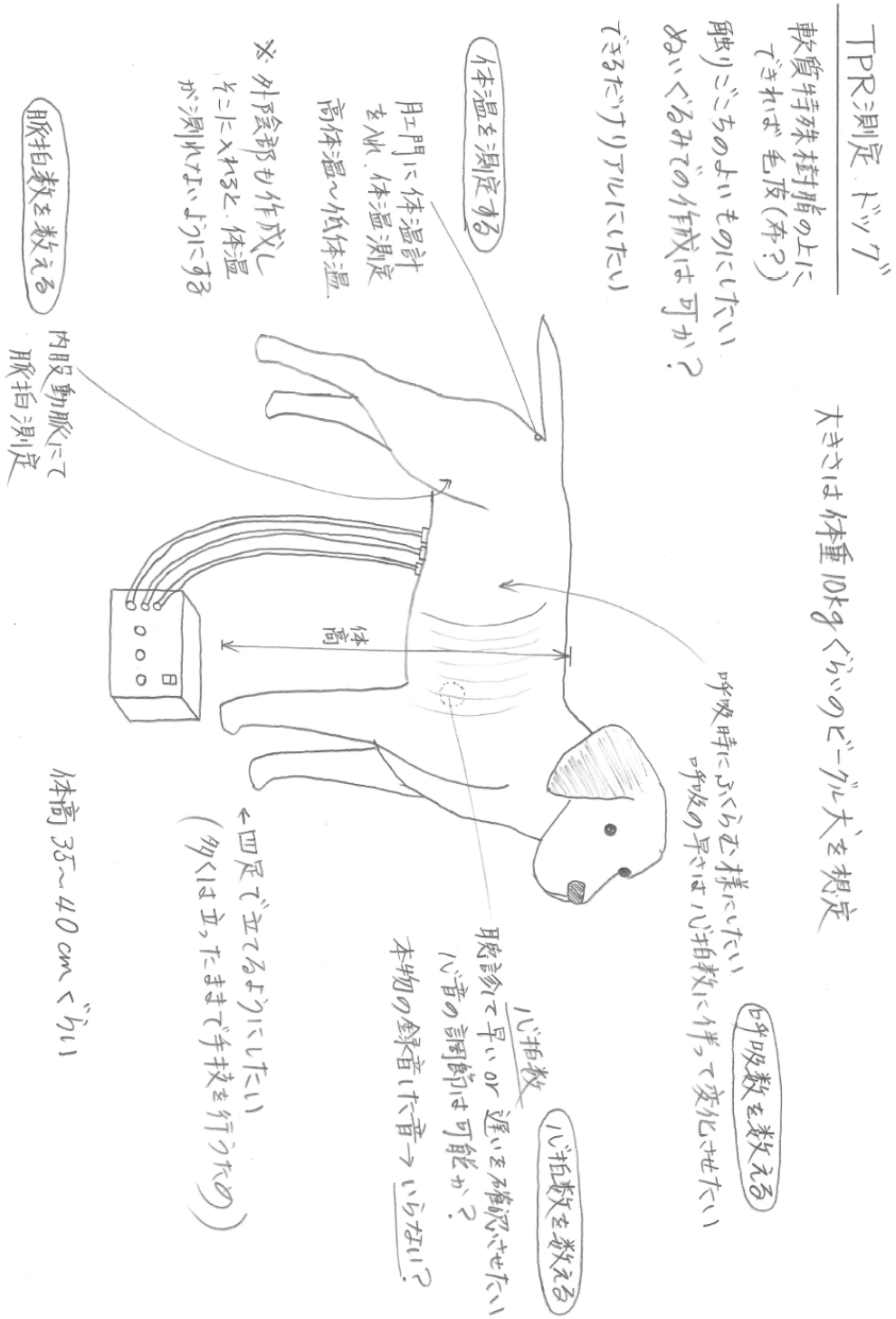
3. 評価項目と基準

- 持針器を選択し、針の先端から 3/4 程度の部分を張り先が向かって左に位置するように持針器の先端近くで把持する（右利きの場合）。
- 針に糸を折り返し適切な長さで装着する
- 鑷子（ピンセット）を選択し、鉛筆を持つように左手の母指と示指、中指でその基軸を手背に向かわせるように把持する
- 持針器を器種に合わせて適切に把持する
- 創縁から針の半径よりやや短い距離の部位に、皮膚および創縁に対して直角に針を挿入する
- 針の湾曲に沿って運針する
- 創縁を軽く持ち上げるなど、鑷子を補助的に使用する
- 刺入分と対称になるように、反対側に針先を出す
- 反対側に出た針を、針先を損傷ないように把持器で把持する
- 針の湾曲に沿って針を皮膚から抜く
- 機械結びを適切に行う
- 結び目から 5mm~1cm 程度残して余分な糸を切る
- 評価者は、1 糸 1 分以内程度で、1 糸以上、上限 3 分以内に縫い終わることを確認し、糸のたるみが適切か、結びがほどけないかチェックする。

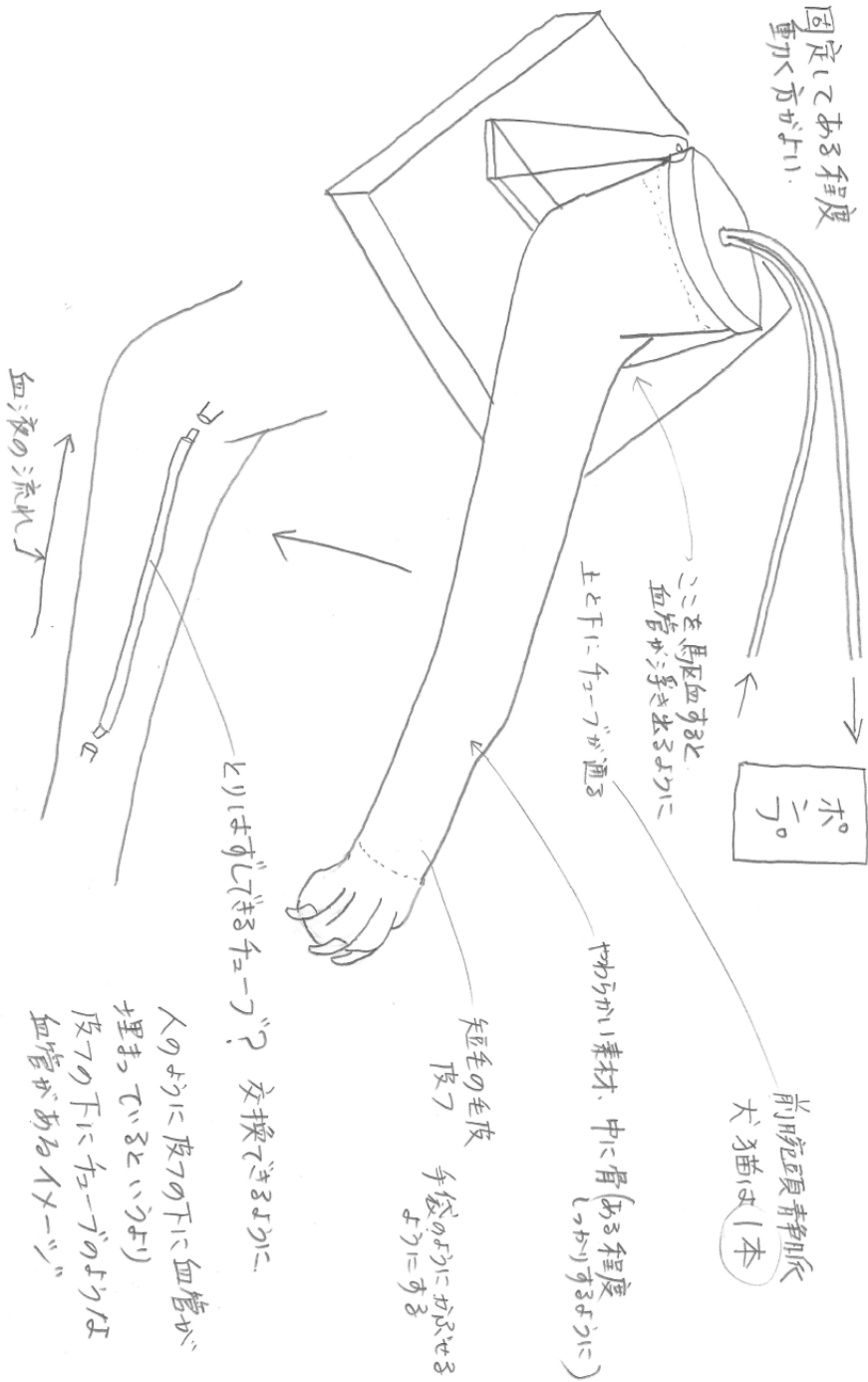
皮膚縫合評価シミュレーターを使用する

資料 7

犬シミュレーター案 (日獣大 堀達也) 京都科学と打ち合わせ開始



「小児の手背静脈注射シミュレータ」を応用する。



資料 7

子牛シミュレーター必要機能（青字部分）

産業動物シミュレーター委員会：高橋、大澤、田中

ハンドリング

頭部保定ができる（頭絡の装着，柱への係留）

頭絡は統一。

柱はコートハンガーなど各大学で対応。



角と外耳は明瞭に作製。

被毛を有する。粘膜との境目付近がかなり難しいとのこと。

体躯は中空のシリコン製（重い）かウレタン製（軽い）。

肋骨有り（体表面の凹凸）。関節無し。

体温測定（測定法の実地説明）

肛門と膣の外観は本物と同様な形態や質感で、水銀体温計を挿入可能な穴を有する。

体温計のクリップを挟む尾根部の襞。

可視粘膜の検査

本物と同様な形態や色調（可能であれば質感も）を有した口腔粘膜、鼻粘膜、眼結膜（眼球）、陰唇粘膜。

心臓の聴診（聴診法・聴診部位の実地説明）、心拍数の測定（測定法の実地説明）

・・・心拍数の精度は問わないが、**正常な心音**を準備する。

肺野の聴診（聴診法・聴診部位の実地説明）、呼吸数の測定（測定法の実地説明）

・・・呼吸数の精度は問わないが、**正常な肺音**を準備する。

呼吸数の計測

左右の聴診，複数個所の聴診について説明できる。

聴診による呼吸数の計測の仕方について説明できる。

呼気、胸壁・腹壁の動きは不要とする。

第一胃運動の聴診（聴診の部位と方法の実地説明）

左臍部における聴診の方法を説明できる。

・・・ルーメン音の聴診に関する精度は問わないが、**正常なルーメン音**を準備

シミュレーター委員会で課題数はこれだけでいいか？少ない？との意見もあり。課題数を増やす可能性があるのであれば、今後検査できる部位（リンパ節、乳房・乳頭、尿道など）もあらかじめシミュレーターに盛り込む必要有り⇒**欲張らないことにする。**

→時間配分として 10 分（入室と説明 1 分、退室・片づけと次の準備・移動 1 分、実質 8 分）を考慮する。

農工大 田中先生：先日、この前いただいた手順書をもとに学生に実際に実施。一人は牛を

資料 7

研究材料に使っていて牛の扱いに慣れ NOSAI 実習の経験もある学生（女子）、もう一人は基礎系の研究室で産業動物の学外実習経験のない学生（女子）です。牛はおとなしい四ヶ月齢を使いましたが、保定するところから体温、心拍数、呼吸数の測定までの実演で前者が4分半、後者が9分半でした。途中ちょっとつかかるとそこでずいぶん時間がかかると感じました。シュミレーターだったらもっと時間が短縮できるでしょうね。

資料 8

平成 25 年 2 月 25 日

岩手大学 山岸先生
宮崎大学 大澤先生
東京農工大学 田中先生
大阪府立大学 高橋先生
日本獣医生命科学大学 堀先生

vetOSCE 小委員長
岐阜大学 北川 均

シミュレーター委員会開催案内

下記のように vetOSCE シミュレーター委員会を開催しますのでご参集ください。

記

1. 日時： 平成 25 年 3 月 14 日（木）15 時から 18 時まで
2. 場所： 東京大学農学部フードサイエンス棟 1 階（半地下） 小会議室
3. 議題：
 - 1) 実施案の整理と評価方法の検討
 - 2) 身体検査用のシミュレーターの具体案
 - 3) 担当者会議プレゼンテーション内容の確認
 - 4) その他

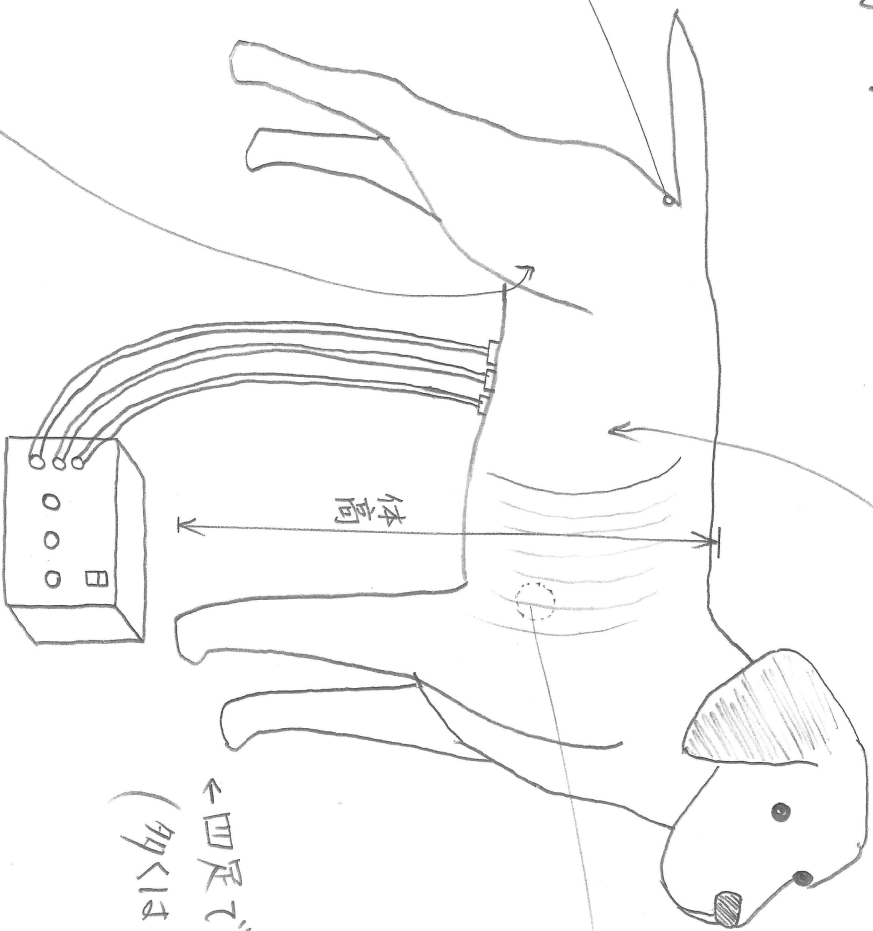
TPR測定 ボッグ

軟質特殊樹脂の上に
できれば毛皮(布?)

触りごちのよいものにしたい
ぬいぐるみでの作成は可か?

できるだけリアルにしたい

大きさは体重10kgぐらいのビーグル犬を想定



呼吸時にふらむ様になりたい
呼吸の早さは心拍数に伴って変化したたい

呼吸数を数える

心拍数

心拍数を数える

聴診して早い or 遅いを確認したい
心音の調節は可能か?
本物の録音した音 -> いらかい?

体温を測定する

耳門に体温計をいれ、体温測定
高体温 ~ 低体温

※ 外陰部も作成しそこにいれると、体温が測れるようにする

脈拍数を数える

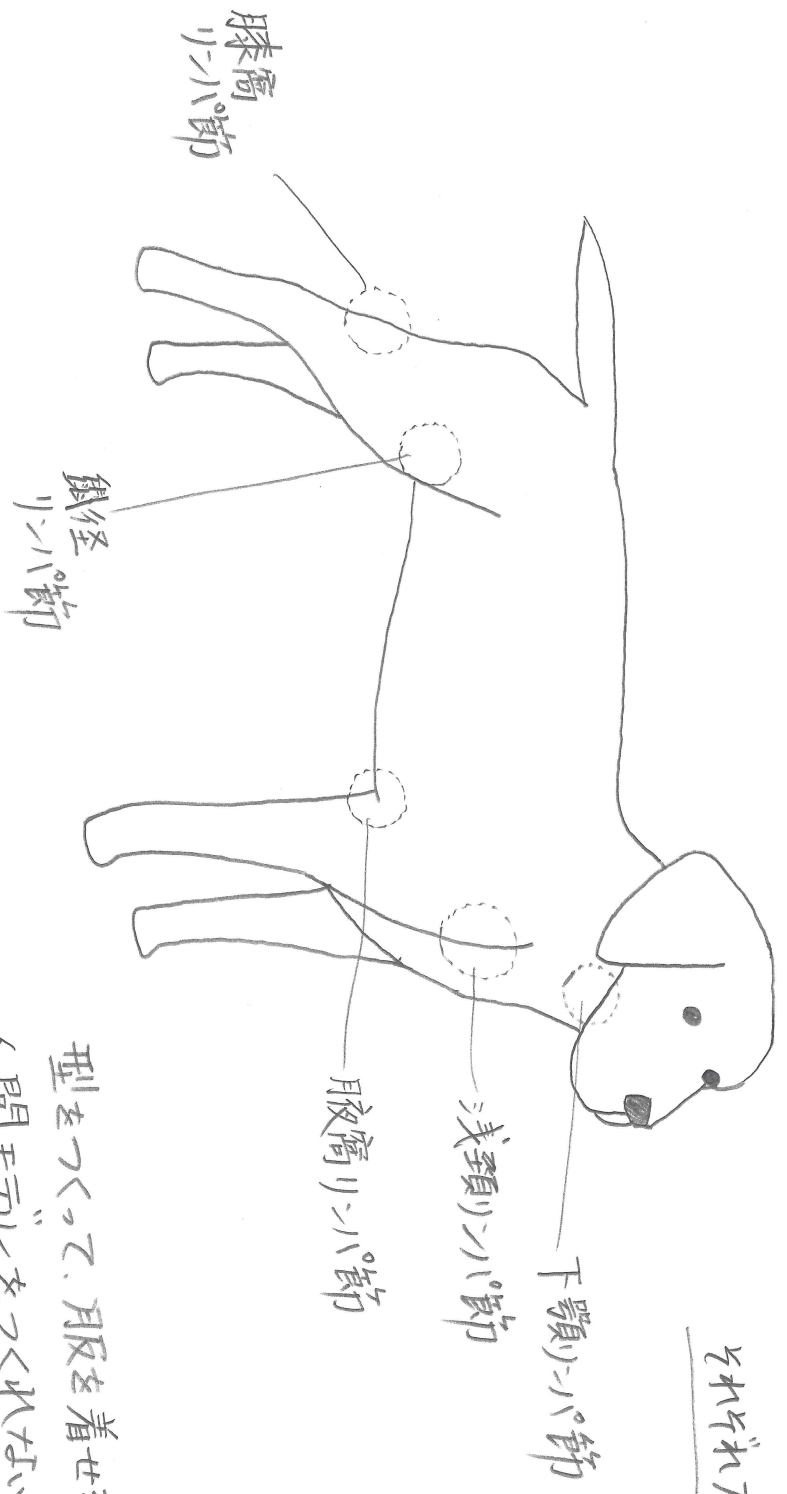
内股動脈にて脈拍測定

← 四足で立てるようになってほしい (多くは立、たまたまで手足を行うため)

体高 35 ~ 40 cm ぐらい

これを型として、リンパ節 角虫 幼虫
モデルをつくることか
可能か？

それぞれ左右対称



型をつくらせて、服を着せるように
人間モデルをつくらぬか？

- ・ 正常モデル
- ・ どこかのリンパ節が腫大しているモデル
- ・ 脱毛があるモデル
- ・ どこかに腫瘍(腫瘍)があるモデル etc

「小児の手背静脈注射シミュレータ」を応用する。

固定してある程度
重かた方がいい。

